

第5節　まとめ

1. 地質調査成果

玉泉院丸確認調査等に係る地質調査では、当初の目的であった旧地形や庭園遺構の把握に留まらず、作庭以前の大型遺構や近・現代の盛土に関する情報まで、郭を構成する土層について、実に膨大なデータを得ることができた。本報告では、これらのデータと発掘調査所見を含めた柱状配列断面図、探査測線断面図を提示し、それらを基に郭の旧地形や各盛土及び遺構堆積層の広がり、遺構の形状や変遷について検討した。本節では、郭全体を構成する地盤や近世の大型遺構について確認できた様相を述べ、まとめとしたい。

(1) 郭全体の地盤構成

位置と地形（郭の自然地形）（柱状断面配列図②～⑪、第132図）

検出地点の黒ボク層最下部高は、泉水縁石垣裏斜面（BP-66）の31.8mを最高とする。郭内では郭南東部の29.1m（BP-57）、出島周辺の28.3m（BP-42）が高く、北西域の低い地点では26.6m（BP-89）となる。また、黒ボク層上面高は郭北西域で見ると南29.5m、北28.8～27.4m、第1地点西で30.5mと、南東から北西へ下る。これらのデータより、二ノ丸面と玉泉院丸の間に段丘崖を伴うこと、郭内ではほぼ平坦で、南東域が高く北西方向に向かって緩やかに下る段丘面であることを確認した。

近世盛土（造成土）

(i) 作庭以前の造成（柱状断面配列図⑨）

近世盛土1とした地山直上の造成土は、旧地形の高低差により厚みが異なり、ほとんどの地点で上面高が標高30～29m前後となっていることから、郭全体を屋敷地として造成した土層と推測している。発掘調査基本土層では、築城以後作庭以前にあたる地山直上の造成土で下層遺構の基盤をなす「下層盛土」【IV b】に該当する可能性がある。

(ii) 大規模造成に伴う盛土（各柱状断面配列図参照）

郭北西域で確認した近世盛土1～3について、(ア) 作庭後の庭園改修に伴う造成土、(イ) 作庭に伴う造成土、(ウ) 作庭以前の造成土と仮定した場合、(ア) の上面は凡そ32.5～31.5m、(イ) の上面は凡そ31.5～30m、(ウ) の上面は30～29mで、いずれも1.5～1mの非常に厚い盛土である。外周に近い地点では、庭園や建物の改修等様々な影響を受け、対応関係は追えない。

(2) 初期の堀と郭（築庭以前の玉泉院丸）

全体プラン（第131図）

玉泉院丸東部で確認した堀の埋土は一貫して池の堆積層より下層に位置し、池に先行する作庭以前の堀（旧堀）と位置付けている。これまでの絵図調査等では未確認で、第1地点発掘調査において存在が明らかになった。遺構の形状や範囲は、各ボーリング地点で確認した遺構深度や高密度表面波探査の成果により推定した。旧堀は段丘崖の裾を掘削し、山側に段丘崖を形成した急斜面（切岸）を伴う。段丘地形と空堀との構成は、北堀の延長上の数寄屋敷西堀や、三ノ丸北堀に近いものである。

また、出島付近を掘り残し、郭北部、南東部外周下の2箇所に分かれることも明らかになった。それぞれを北堀、南堀と呼称し、第131図に旧堀推定範囲を示している。両堀間は土橋となっており、南堀南にも存在したものと見ている。

北堀（柱状断面配列図⑤・⑧～⑪・⑯～⑯・⑯、第128・131図）

北堀は紅葉橋南から数寄屋敷西堀縁石垣付近に位置し、規模は数寄屋敷西堀縁石垣を北端とすると、上端で南北約70m、東西は紅葉橋付近の広い部分で約20m、第1地点で約12m、深さは第1地点で約4mを測る。断面形は堀底を水平に整えた箱堀形を呈する。堀底は27.6～26.6mと北側に緩やかに下がる。埋土の上面高は29～27mである。また、第1地点の調査から西岸は急角度に

立ち上がる形状が判明している。作庭に伴い、ほとんどの地点で自然堆積層上に0.3～0.8mの厚みで土を入れ、上面の平均高を27.5m程度として埋めずに池として利用している。発掘調査第1地点では石垣前面の部分的な整地程度で済んでいる。紅葉橋付近のみ埋め立てられ斜面に取り込まれていることが判明した。

土橋（柱状断面配列図②・⑪・⑫・⑬、第131図）

北堀と南堀の間で掘り残した卯辰山層を確認し、位置や規模から玉泉院丸から二ノ丸へ至る経路として機能した土橋と見ている。土橋上面は搅乱を受けているが、低くとも28.9mである。旧堀の推定範囲から、幅は上端で約12m、延長は15m以上と推測している。また、旧堀の中心線は、北堀南端が南堀北端に対して約5m西にずれた位置にあり、土橋の平面形状は直線ではない可能性もある。

南堀（柱状断面配列図②・⑪・⑫・⑬・⑭、第125・126・131図）

南堀は玉泉院丸東斜面裾に位置し、規模は上端で南北約84m、東西は北側の広い部分で約20m、南側では約7mを測る。断面形は高密度表面波探査によりV字型を呈することが判明している。堀底に顯著な高低差ではなく、26.7～26.6mである。北堀底（北側26.6～南側27.5m）と比較すると、土橋周辺では南堀底が約1m低い。作庭に伴い、2～25mの厚みで土を入れて堀自体を埋め戻し、上面高を28.7～28.3m程度としている。

南土橋（柱状断面配列図⑨・⑩・⑪・⑫、第131図）

南堀はいもり堀まで抜けていない。南堀南端（BP-58）底とその南地点（BP-10）では、地山1.2mと盛土1.8mで3mの比高差があり、土橋であった可能性がある。

郭面（柱状断面配列図②～④、第131図）

旧堀の遺構面として、近世初期の屋敷地造成土と推定する地山直上の造成土（近世盛土1）上面が対応すると考えられる。上面高が標高30～29m前後となっており、発掘調査の基本土層では地山直上の造成土で下層遺構の基盤をなす「下層盛土」【IV b】と位置付けている。

（3）池泉（池、出島、中島【大・中・小】）

作庭時の造成（柱状断面配列図⑨、第130図）

発掘調査第1地点では、作庭に伴う池北部の整備は北堀の形状を踏襲して行われたことが判明した。ボーリング地点では、池底高（27.5m程度）の調整を目的とする整地層が若干認められるが、基本的には、第1地点のように石垣前面の整地のみで利用していると推測する。北堀の南端は埋め立て、土橋を北側に拡幅し、土橋西方をC形に断ち割り北堀と接続させて出島を造成しているものと見られる。また、南堀は北東から東側の切岸を掘削して28.7～28.3mまで埋め立て、掘削跡地を含めて池に取り込まれている。絵図等の情報から、池は南堀西側をC形に掘削し、掘り残した中央部を中島とする。この段階では中島（大）のみと推定している。

池の範囲と池底の高底（柱状断面配列図⑦～⑨、第129・130図）

池底堆積層を検出、あるいは発掘調査で池の存在を確認した範囲を第129・130図に示した。池底堆積層は南東斜面裾のBP-58まで検出し、これは南堀に伴う南土橋を残したためと推測する。池の高底は池の北東（28.53m）を最高所とし、北池の北端では27.06mを最低所とする。

池底の壌状施設（柱状断面配列図⑦～⑨、第127・129図）

出島の北西、北池南部、北堀の南西隅に隣接した場所において池底の壌状施設を確認した。作庭に伴い新たに掘削した池が、既設の北堀に連結する直前の位置にあたる。BP-81・16付近をピークとし、南はBP-43、北はBP-40付近にかけて南北約25m程度の広がりを持つ緩やかに盛り上がった土手状の高まりである。この高まりは地山の削り出しで形成され、頂部付近は盛土で嵩上げされている。地山削り出しの手法をとることから、作庭当初からの施設であると推定している。高まりの上面高は、約28.5（BP-16）～29.0（BP-81）mであり、池中央部の水面高を知る手がかりの一つとなる。第3

地点の極へ水を流すには少なくとも 29.1 m の水位が必要であるが、調査ポイントが堰状施設の最高位とは限らないため、二つの施設が連動して機能するよう高さ調整された可能性は高いと見ている。また、池後期の中島（中・小）追加造成時の池底の掘り下げは、水面の引き上げより、水深の拡大を目的としたものと捉えられる。

池の改修（柱状断面配列図⑯～⑲、第 127・129 図）

池の範囲は、庭園最終段階には庭園初期より範囲が縮小される。それに伴い池中央部では底高が低く掘り下げられるが、池北部では大規模な掘り下げは認められない。

（i）南東池の埋め立てと中島の追加造成（柱状断面配列図⑯・⑰・⑱・⑲・⑳、第 129・130 図）

近世後期の絵図に見られる 3 つの中島のうち、（中）と（小）に該当する地点では、造成土の下に池底堆積層を確認し、池を埋め立て造成するという変遷を捉えた。これにより、地山直上に造成された中島（大）との基盤層や造成時期の違いが判明した。この南東斜面裾に伸びる庭園初期の池は底が 28.7～28.3 m で、埋め立て造成時またはその後、新たに整備された池の底は 70cm 程度低くなる。

（ii）出島の拡幅（柱状断面配列図⑪・⑫・⑬・⑭・⑮、第 129・130 図）

出島は、作庭時に造成され、庭園改修に伴い南東部が新たに盛土造成されたことが判明した。発掘調査第 4 地点でも同様のデータが得られている。

（iii）北池の補修（柱状断面配列図⑧～⑩、第 35・36・43 図）

池の北部では、発掘調査により池の西岸盛土、東石垣前面整地層の存在が明らかとなり、いずれも石垣修理を契機とする造作である可能性が高い。修理を重ねて池幅が狭くなり、池底も上がる。

池底高や形状と規模の変遷については、今後、絵図や北東部第 4 地点発掘調査の情報も含め、さらなる詳細な検討が望まれる。

（4）その他

石垣裏込め及び前面盛土等

（i）石垣裏込め（柱状断面配列図⑤～⑪・⑬～⑯）

石垣背面の地山と造成土の状況は、数寄屋門下泉水縁石垣（BP-64～66）に見られるように同じ石垣面の隣接する調査地点の比較により、石垣面から一定の距離であっても背面造成土の厚みに差があることを確認し、旧地形の緩やかな凹凸を盛土造成することで直線的な石垣面を形成していることが窺える。

（ii）石垣前面盛土（柱状断面配列図①～⑯）

玉泉院丸北石垣離墻下段南面の背面（BP-73）及び二ノ丸南石垣納戸土蔵下南面の前面（BP-74）では、2.5～3 m の厚みをもつ栗石層を確認している。玉泉院丸外周石垣の構築技術や修築・改修履歴に関する重要な知見と見ている。

2. 結 語

以上のとおり、玉泉院丸確認調査等に係る地質調査では、豊富なデータと発掘調査成果等も含む総合的な検討から、（1）郭全体の地盤構成、（2）金沢城初期の大型造構【北堀・土橋・南堀・南土橋】と郭、（3）池泉【池、出島、中島（大・中・小）】、（4）石垣裏込め及び前面盛土について知見を得ることができた。また、近代以後は、庭園の高所削平や馬場整備によるすき取り、体育馆基礎のような地下破壊造作もあるものの、全体的には存外厚く盛土造成されたことも判明した。この造成土は、近世の造構や造成土を覆い、破壊から保護してきた存在であり、玉泉院丸の現況を構成する大きな要素として捉えられよう。ともあれ、これらの地中データを基礎資料として、本報告以後も発掘調査や各種地質調査成果、絵図・文献のデータを積み重ね考察することで、より詳細な郭の変遷を追究できるものと期待する。

第33表 ポーリング地点一覧表(1/2)

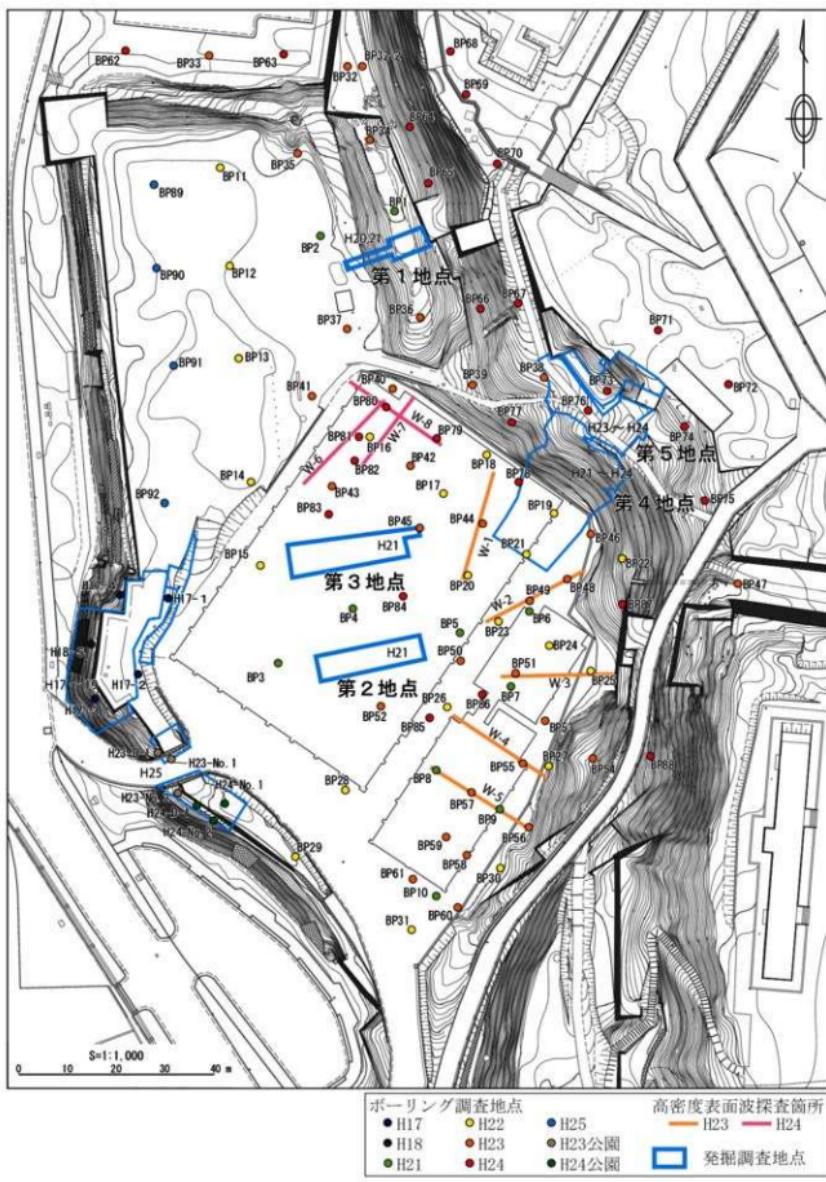
地点	調査年度	位置【地図上の位置】	深度 (m)	特徴・成果等
H17-1	平成 17 年	玉泉院丸南西石垣 [石垣背面]	10.52	玉泉院丸南西石垣背面の旧地形・造成状況を確認(平成 17 年度県別造事業による)
H17-2	平成 17 年	玉泉院丸南西石垣 [石垣背面]	13.45	玉泉院丸南西石垣背面の旧地形・造成状況を確認(平成 17 年度県別造事業による)
H17-3	平成 17 年	玉泉院丸南西石垣 [石垣前面]	10.45	玉泉院丸南西石垣前面の旧地形・造成状況を確認(平成 17 年度県別造事業による)
H17-4	平成 17 年	玉泉院丸南西石垣 [石垣前面]	10.5	玉泉院丸南西石垣前面の旧地形・造成状況を確認(平成 17 年度県別造事業による)
H18-5	平成 18 年	玉泉院丸南西石垣 [石垣前面]	10.25	玉泉院丸南西石垣前面の旧地形・造成状況を確認(平成 18 年度県別造事業による)
H23-D-1	平成 23 年	玉泉院丸南石垣 [石垣前面]	39	玉泉院丸南石垣前面の旧地形・造成状況を確認(平成 23 年度県別造事業による)
H23-N-1	平成 23 年	玉泉院丸南石垣 [石垣背面]	10.5	玉泉院丸南石垣背面の旧地形・造成状況を確認(平成 23 年度県別造事業による)
H23-N-2	平成 23 年	玉泉院丸南石垣 [石垣前面]	12.5	玉泉院丸南石垣前面の旧地形・造成状況を確認(平成 23 年度県別造事業による)
H24-D-1	平成 24 年	玉泉院丸南石垣 [石垣前面]	45	玉泉院丸南石垣前面の旧地形・造成状況を確認(平成 24 年度県別造事業による)
H24-N-1	平成 24 年	玉泉院丸南石垣 [石垣背面]	7.5	玉泉院丸南石垣背面の旧地形・造成状況を確認(平成 24 年度県別造事業による)
H24-N-2	平成 24 年	玉泉院丸南石垣 [石垣前面]	45	玉泉院丸南石垣前面の旧地形・造成状況を確認(平成 24 年度県別造事業による)
BP-1	平成 21 年	玉泉院丸北部〔北部池〕	80	玉泉院丸北部池や旧堰(南堰)の深度等を確認
BP-2	平成 21 年	玉泉院丸西北部〔武具役所〕	120	玉泉院丸西北部の旧地形・造成状況を確認
BP-3	平成 21 年	玉泉院丸西北部〔露地方没〕	80	玉泉院丸西北部の旧地形・造成状況を確認
BP-4	平成 21 年	玉泉院丸中央部〔池〕	90	玉泉院丸中央部の旧地形・池の深度を確認
BP-5	平成 21 年	玉泉院丸東部〔中島(大)〕	10.0	玉泉院丸東園庭池の中島(大)造成状況を確認(地山掘り残し上に造成)
BP-6	平成 21 年	玉泉院丸東部〔中島(小)〕	13.0	玉泉院丸東園庭池の中島(小)造成状況を確認(旧堰→池→中島)
BP-7	平成 21 年	玉泉院丸東部〔中島(中)〕	10.0	玉泉院丸東園庭池の中島(中)造成状況を確認(旧堰→池→中島)
BP-8	平成 21 年	玉泉院丸東南部〔池南(高台)〕	11.0	玉泉院丸東南部の旧地形・造成状況を確認
BP-9	平成 21 年	玉泉院丸東南部〔飛揚〕	10.0	玉泉院丸東南部の近・現代擾乱状況を確認
BP-10	平成 21 年	玉泉院丸東南部〔東側斜面〕	10.0	玉泉院丸東南部の旧地形・造成状況を確認(黒ボク検出なし)
BP-11	平成 22 年	玉泉院丸北西部〔土蔵(南)〕	10.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-12	平成 22 年	玉泉院丸北西部〔武具役所〕	80	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-13	平成 22 年	玉泉院丸北西部〔鼠多賀車〕	9.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-14	平成 22 年	玉泉院丸北西部〔露地方没北〕	7.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-15	平成 22 年	玉泉院丸中央部〔路旁方役所〕	6.0	玉泉院丸中央部の旧地形・造成状況を確認
BP-16	平成 22 年	玉泉院丸中央部〔紅葉樹南池〕	80	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-17	平成 22 年	玉泉院丸中央部〔出島〕	8.0	玉泉院丸出島の造成状況を確認(地山掘り残し上に造成)
BP-18	平成 22 年	玉泉院丸東部〔出島北東～園路〕	80	玉泉院丸出島の近・現代擾乱状況を確認
BP-19	平成 22 年	玉泉院丸東部〔池岸〕	7.0	玉泉院丸東部斜面の旧堰(南堰)深度や造成状況を確認
BP-20	平成 22 年	玉泉院丸中央部〔池〕	8.0	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-21	平成 22 年	玉泉院丸東部〔池〕	8.0	玉泉院丸東部池や旧堰(南堰)の深度等を確認
BP-22	平成 22 年	木丸段西側石垣下段北斜面	6.0	玉泉院丸東部斜面の旧地形・造成状況を確認
BP-23	平成 22 年	玉泉院丸東部〔池〕	8.0	玉泉院丸東部池や旧堰(南堰)の深度等を確認
BP-24	平成 22 年	玉泉院丸東部〔池〕	8.0	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-25	平成 22 年	木丸段西側石垣下段斜面	8.0	玉泉院丸東部石垣前面造成状況と造成以前の池底を確認
BP-26	平成 22 年	玉泉院丸東南部〔池〕	8.0	玉泉院丸東南部の近・現代擾乱状況・地山の状況を確認
BP-27	平成 22 年	玉泉院丸東南部〔東側斜面〕	8.0	玉泉院丸東南部斜面の造成状況を確認
BP-28	平成 22 年	玉泉院丸南部〔高台〕	6.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認
BP-29	平成 22 年	玉泉院丸南石垣上層下〔石垣背面〕	6.0	玉泉院丸南石垣の旧地形・造成状況を確認
BP-30	平成 22 年	玉泉院丸南部〔南部斜面〕	7.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認(黒ボク検出なし)
BP-31	平成 22 年	玉泉院丸南石垣上層下〔石垣背面〕	7.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認(黒ボク検出なし)
BP-32	平成 23 年	敷石屋敷西側縁石組〔石垣背面〕	50	敷石屋敷西の右側背面状況を確認(栗石縁)
BP-32-2	平成 23 年	敷石屋敷西側縁石組〔石垣背面〕	50	敷石屋敷西の右側背面状況を確認(斜面造成)
BP-33	平成 23 年	敷石屋敷西縁〔塀〕	60	敷石屋敷西縁の深度を確認
BP-34	平成 23 年	玉泉院丸北部池〔北池〕	5.0	玉泉院丸北部池や旧堰(北堰)の深度等を確認
BP-35	平成 23 年	玉泉院丸北部〔土蔵(東)〕	7.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-36	平成 23 年	玉泉院丸北部池〔北池〕	6.0	玉泉院丸北部池や旧堰(北堰)の深度等を確認
BP-37	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔紅葉樹西詰〕	9.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-38	平成 23 年	玉泉院丸北東部〔松坂下字路〕	7.0	玉泉院丸北東部斜面の旧地形・造成状況を確認
BP-39	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔紅葉樹東詰〕	8.0	玉泉院丸北東部斜面の旧堰(北堰)・埋め立て後の造成状況を確認
BP-40	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔紅葉樹南池〕	6.0	玉泉院丸中央部池や旧堰(北堰)深度を確認
BP-41	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔紅葉樹南西〕	9.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-42	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔出島北〕	6.0	玉泉院丸出島の造成状況を確認(地山掘り残し上に造成)
BP-43	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔紅葉樹南池〕	6.0	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-44	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔出島北側〕	8.0	玉泉院丸出島造成下で旧堰(南堰)底と埋め立て後の池底を確認
BP-45	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔出島南〕	6.0	玉泉院丸出島の造成状況を確認(地山掘り残し上に造成)
BP-46	平成 23 年	玉泉院丸東部〔東側斜面〕	7.0	玉泉院丸東部斜面の造成状況を確認
BP-47	平成 23 年	極楽橋下空堀	5.0	木丸段西側石垣北面の前面造成状況を確認
BP-48	平成 23 年	玉泉院丸東部〔中島(小)北側状の付楓〕	6.0	玉泉院丸東部の造成状況を確認
BP-49	平成 23 年	玉泉院丸東部〔中島(小)〕	10.0	玉泉院丸庭園池の中島(小)造成状況を確認(旧堰→池→中島)
BP-50	平成 23 年	玉泉院丸中央部〔中島(大)〕	6.0	玉泉院丸庭園池の中島(大)造成状況を確認(地山掘り残し上に造成)

第34表 ポーリング地点一覧表(2/2)

地点	調査年度	位置(絵図上の位置)	深度(m)	特徴・成果等
BP-51	平成23年	玉泉院丸東部【中島(中)】	6.0	玉泉院丸東園池の中島(中)造成状況を確認(旧堤→池→中島)
BP-52	平成23年	玉泉院丸中央部【池】	7.0	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-53	平成23年	玉泉院丸東部【中島(中)東側斜面】	6.0	玉泉院丸東部の造成土(池岸付近)を確認
BP-54	平成23年	玉泉院丸南東部【東側斜面】	5.0	玉泉院丸南東部の斜面造土を確認
BP-55	平成23年	玉泉院丸東部【池南方幅中央】	9.0	玉泉院丸庭園池や旧堤(南側)の深度等を確認
BP-56	平成23年	玉泉院丸南東部【よりも東西側斜面】	9.0	玉泉院丸南東部斜面刷の造成状況を確認
BP-57	平成23年	玉泉院丸東部【池南(高台)】	7.0	玉泉院丸東部の旧地形・造成状況を確認
BP-58	平成23年	玉泉院丸南東部【池南方幅南】	9.0	玉泉院丸庭園池や旧堤(南側)の深度等を確認【南側南端付近】
BP-59	平成23年	玉泉院丸南東部【池南(高台付近)】	9.0	玉泉院丸南東部の旧地形・造成状況を確認
BP-60	平成23年	玉泉院丸南側【東側斜面】	5.0	玉泉院丸東部斜面の造成状況を確認
BP-61	平成23年	玉泉院丸南側	5.0	玉泉院丸南端の旧地形・造成状況を確認
BP-62	平成24年	寄宿屋敷西側【塀】	9.0	寄宿屋敷敷地の深度を確認
BP-63	平成24年	寄宿屋敷西側【塀】	7.0	寄宿屋敷西側の深度を確認
BP-64	平成24年	寄宿屋敷門下【泉水縁石垣(石加背面)】	5.0	寄宿屋敷門下泉水縁石垣の背面状況を確認(斜面造成)
BP-65	平成24年	寄宿屋敷門下【泉水縁石垣(石加背面)】	6.0	寄宿屋敷門下泉水縁石垣の背面状況を確認(斜面造成)
BP-66	平成24年	寄宿屋敷門下【泉水縁石垣(石加背面)】	6.0	寄宿屋敷門下泉水縁石垣の背面状況を確認(斜面造成、黒ボク検出)
BP-67	平成24年	二ノ丸南石垣前開土下石垣(右側斜面)【右側斜面】	6.0	二ノ丸南石垣前斜面の造成状況を確認
BP-68	平成24年	寄宿屋敷西跡巻石垣右【右側背面】	7.0	寄宿屋敷西跡巻石垣右側背面の造成状況を確認
BP-69	平成24年	寄宿屋敷西跡巻石垣右【右側背面】	5.0	寄宿屋敷西跡巻石垣右側背面の造成状況を確認
BP-70	平成24年	寄宿屋敷西跡巻石垣右【右側背面】	5.0	寄宿屋敷西跡巻石垣右側背面の造成状況を確認
BP-71	平成24年	二ノ丸石垣前開土間開【池】	5.0	二ノ丸石垣右側背面の造成状況と池底を確認
BP-72	平成24年	二ノ丸石垣前開戸戸式【土蔵東】	6.0	二ノ丸南右側背面の造成状況を確認
BP-73	平成24年	玉泉院丸北右石垣壘墻下段右【右側背面】	7.0	玉泉院丸北右石垣壘墻下段右の背面構造を確認。(下半部が栗石層)
BP-74	平成24年	二ノ丸南石垣前開戸戸式【右側前面】	7.0	玉泉院丸北右石垣前開戸戸式右側前面の背面構造を確認(上部まで栗石層)
BP-75	平成24年	二ノ丸南石垣坂坂門大将橋下【松坂門西】	5.0	玉泉院丸北東部の造成状況を確認(松坂)
BP-76	平成24年	玉泉院丸北右石垣壘墻下段【松坂】	5.0	玉泉院丸北右石垣前斜面の造成状況を確認
BP-77	平成24年	玉泉院丸北東部【出鳥付根】	5.0	玉泉院丸北東部斜面の造成状況を確認
BP-78	平成24年	玉泉院丸北東部【出鳥東】	6.0	玉泉院丸北東部斜面裏の造成状況を確認
BP-79	平成24年	玉泉院丸中央部【出鳥】	6.0	玉泉院丸中央部の旧堤(北側)深度等を確認【北側南端付近】
BP-80	平成24年	玉泉院丸中央部【北側池】	7.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認
BP-81	平成24年	玉泉院丸中央部【紅葉鶴南池】	6.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認(周囲より高い)
BP-82	平成24年	玉泉院丸中央部【紅葉鶴南池】	6.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認
BP-83	平成24年	玉泉院丸中央部【紅葉鶴南池】	6.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認
BP-84	平成24年	玉泉院丸中央部【池(出島)】	6.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認
BP-85	平成24年	玉泉院丸南側【池 中島(大)】	5.0	玉泉院丸南側の池底高を確認
BP-86	平成24年	玉泉院丸南東部【池 中島(大・中間)】	7.0	玉泉院丸南東部の古・現代埋没状況と地山の状況を確認
BP-87	平成24年	本丸附段階石垣下段北壁	5.0	本丸附段階石垣下段前面の造成状況を確認(大ききり下げられる)
BP-88	平成24年	玉泉院丸東部【東側斜面】	4.0	玉泉院丸東部斜面の造成状況を確認
BP-89	平成25年	玉泉院丸北西部【北西土蔵 東】	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-90	平成25年	玉泉院丸北西部【北西土蔵 南東】	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-91	平成25年	玉泉院丸北西部【鼠多門東】	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-92	平成25年	玉泉院丸北西部【南土蔵】	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認

第35表 高密度表面波探査線一覧表

地点	調査年度	位置	測量長(m)	特徴・成果等
W-1	平成23年	玉泉院丸中央部	21	大型造構(旧南側)とみられる落ち込みの一角を確認
W-2	平成23年	玉泉院丸東部	23	大型造構(旧南側)とみられる落ち込みには直交。緩やかな落ちを確認
W-3	平成23年	玉泉院丸東部	23	大型造構(旧南側)とみられる落ち込みに直交。緩やかな落ちを確認
W-4	平成23年	玉泉院丸東部	20	大型造構(旧南側)とみられる落ち込みには直交。断面V字形状を確認
W-5	平成23年	玉泉院丸東部	24	深い落ち込みを確認(体骨基礎の攢乱か)
W-6	平成24年	玉泉院丸中央部	24	玉泉院丸庭園の池底形状
W-7	平成24年	玉泉院丸中央部	19	玉泉院丸庭園の池底形状
W-8	平成24年	玉泉院丸中央部	23	玉泉院丸庭園の池底形状と大型造構(旧北側)の一角



第98図 地質調査地点・測線位置図 (S=1/1,000)

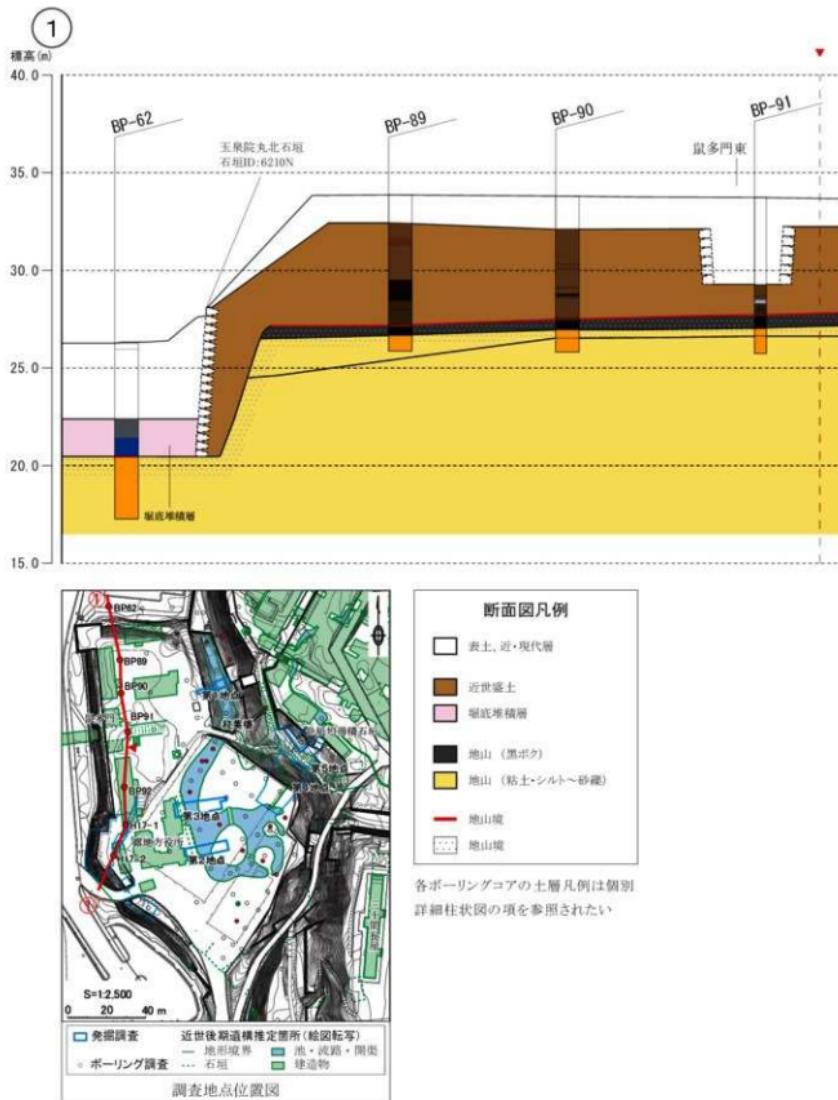


転写絵図は幕末期(御城分間御図)彦3年)
近世後期遺構推定箇所(絵図転写)
— 地形境界 ■ 池、流路、開渠
--- 石垣 □ 建造物

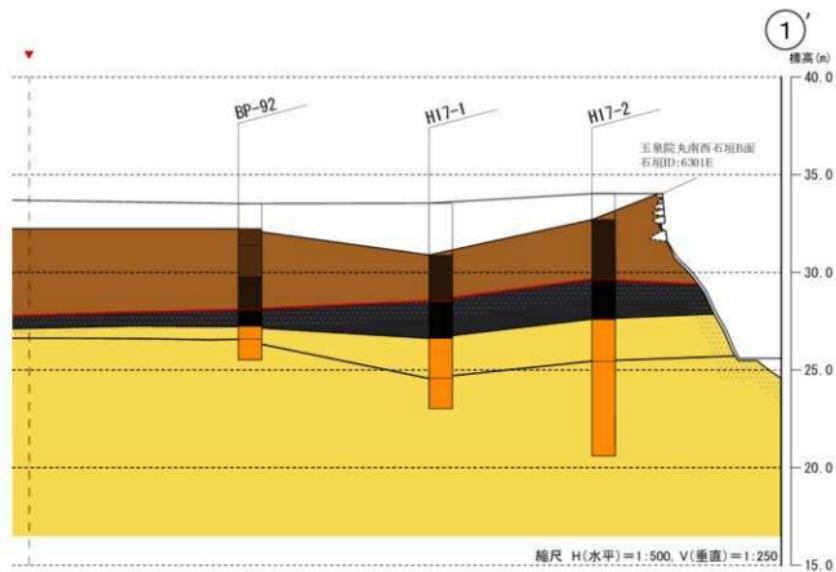
ボーリング調査地点
 ● 堀底検出
 ○ 地山(黒ボク)検出
 ■ 池底堆積層検出

高密度表面波探査箇所
 — H23 ■ H24
 □ 発掘調査地点

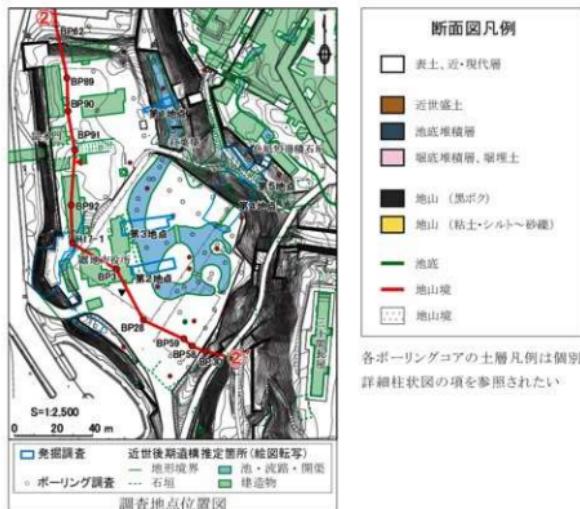
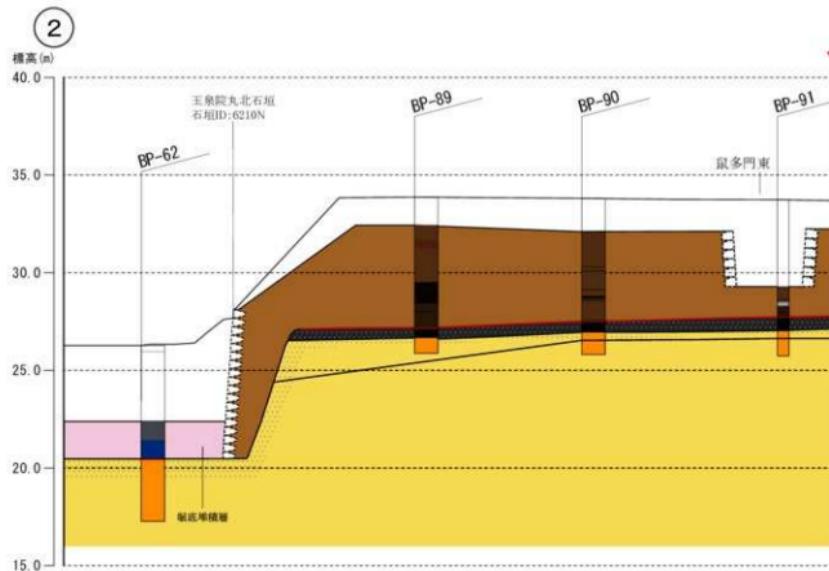
第100図 柱状断面配列図位置図 (S=1/1,000)



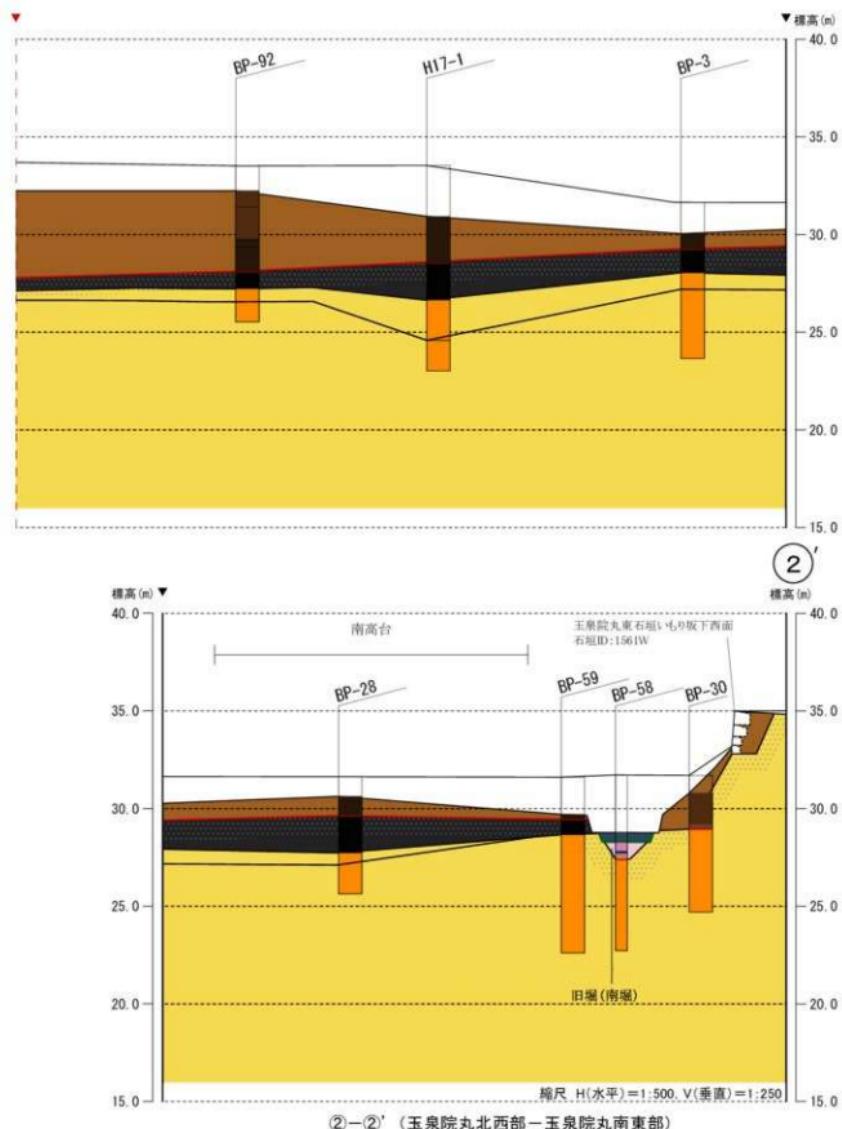
第101図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図1 (1)



第101図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図1 (2)

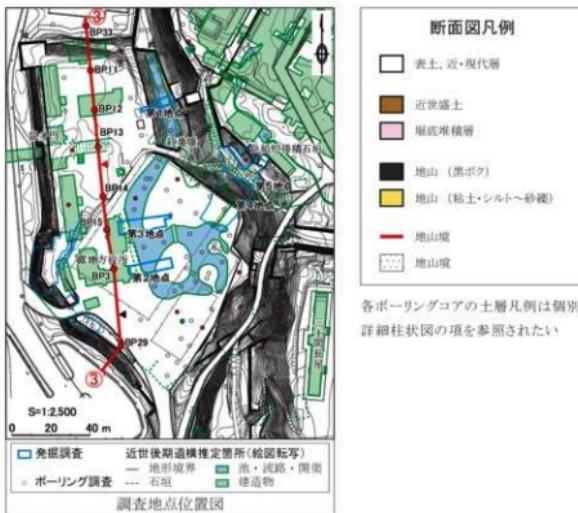
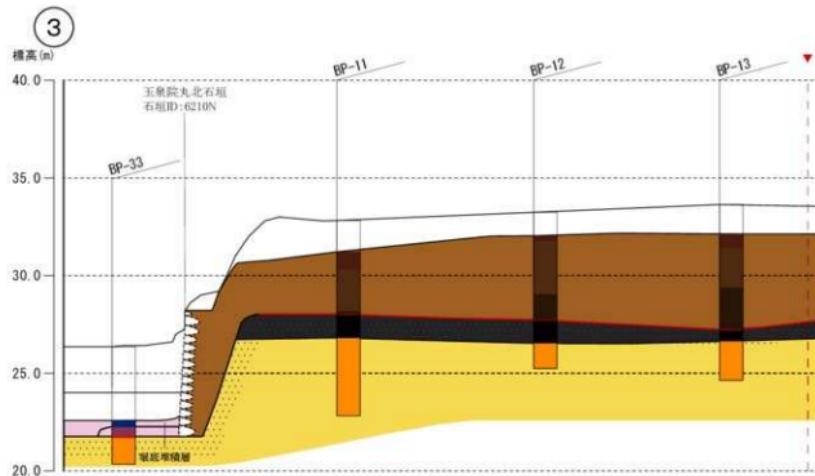


第102図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図2 (1)

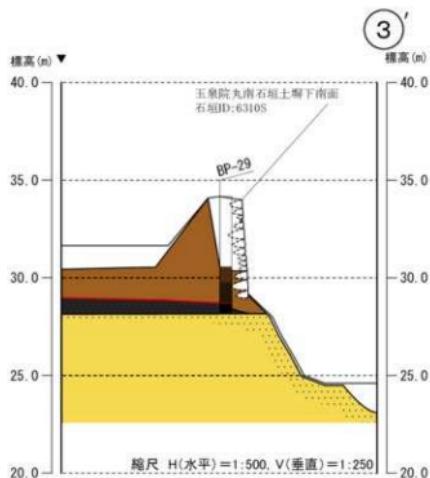
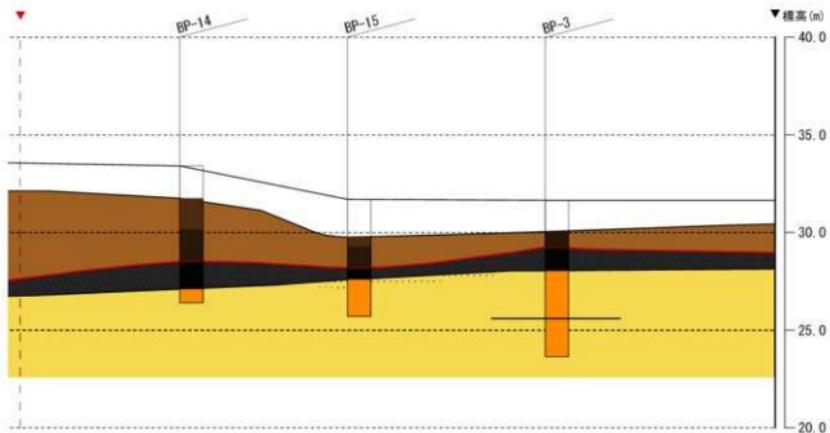


②-②' (玉泉院丸北西部-玉泉院丸南東部)

第 102 図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 2 (2)

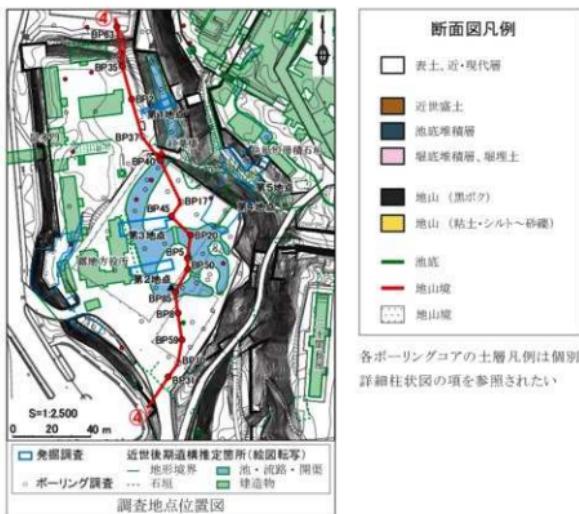
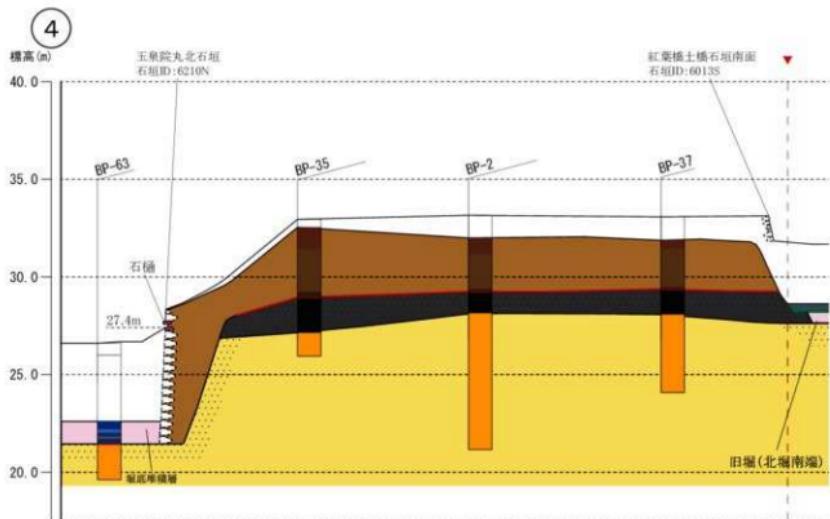


第103図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図3 (1)

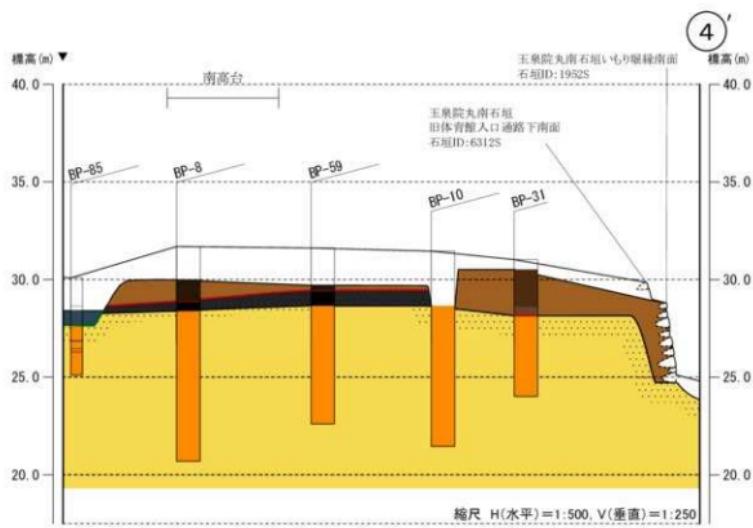
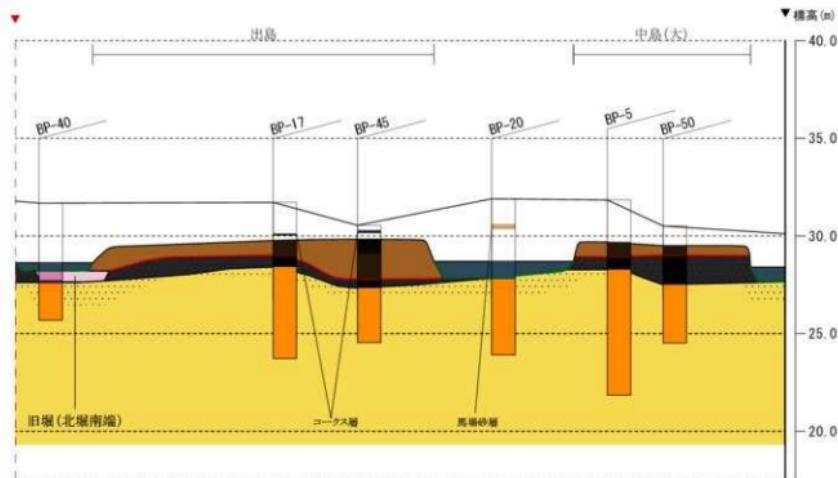


③-③' (玉泉院丸北西部-玉泉院丸南部)

第103図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図3 (2)

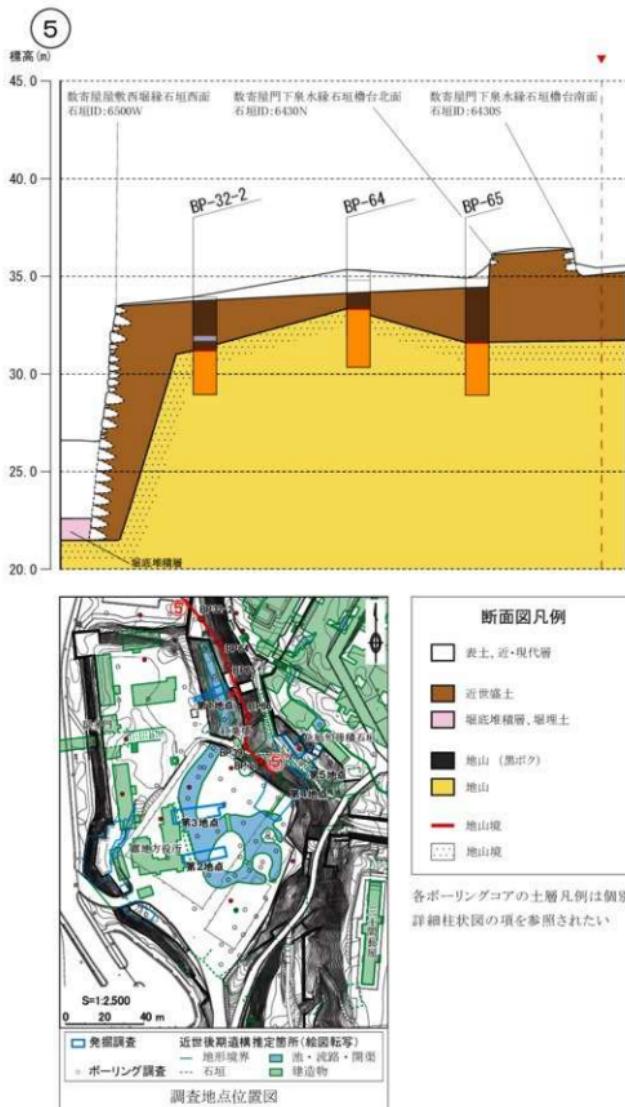


第104図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図4(1)

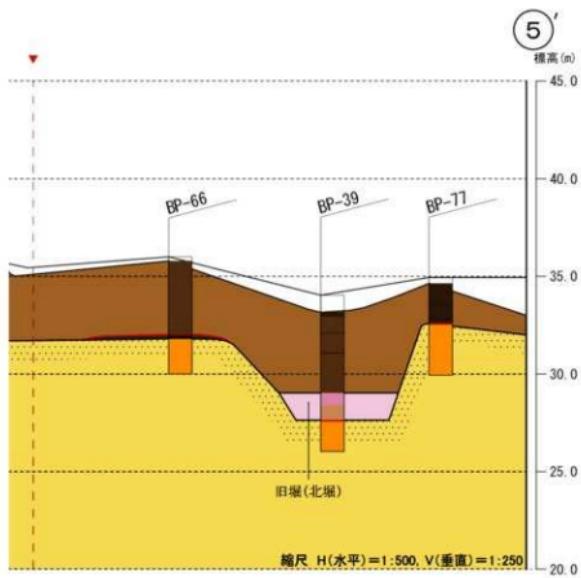


(4-4') (玉泉院丸北部—玉泉院丸南部)

第104図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図4 (2)

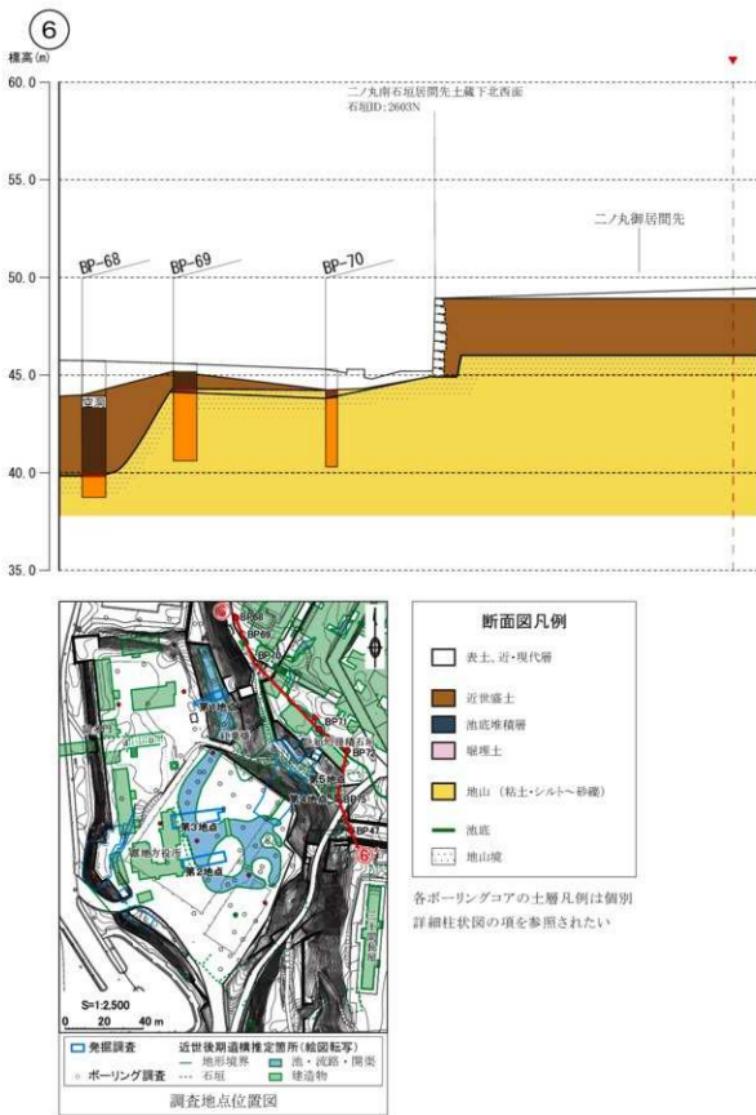


第105図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図5 (1)

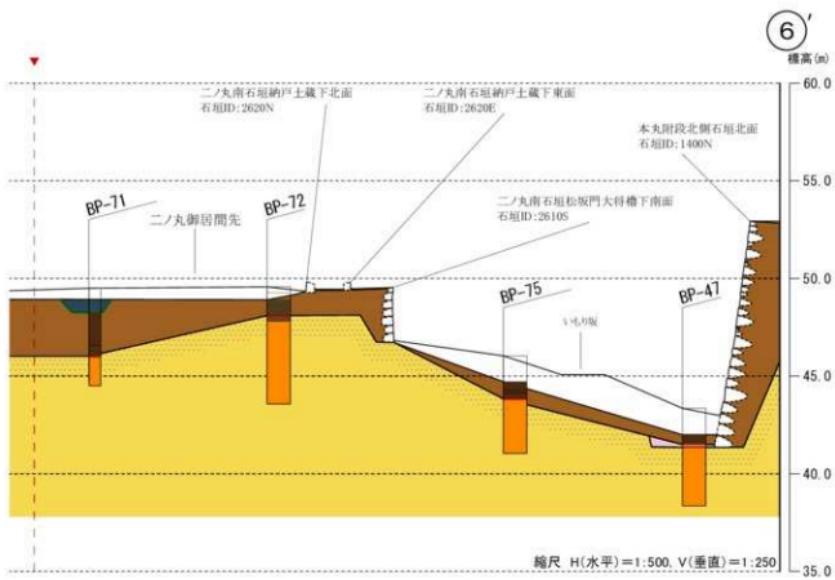


⑤-⑤' (数寄屋敷西堀縁石垣背面—玉泉院丸北東斜面)

第105図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図5 (2)

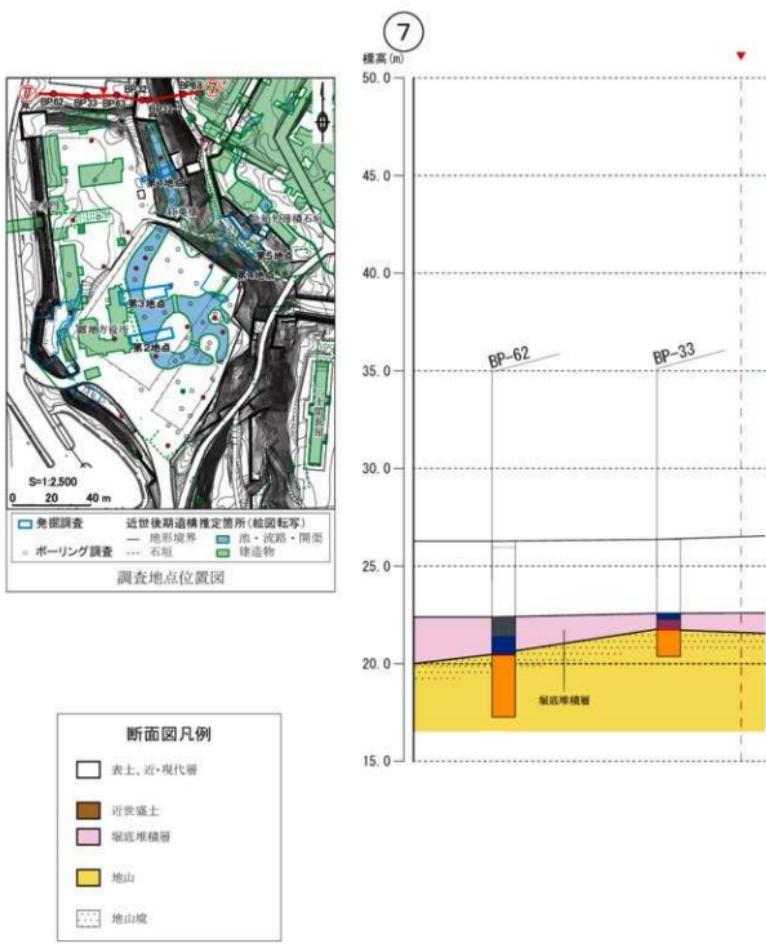


第106図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図6 (1)



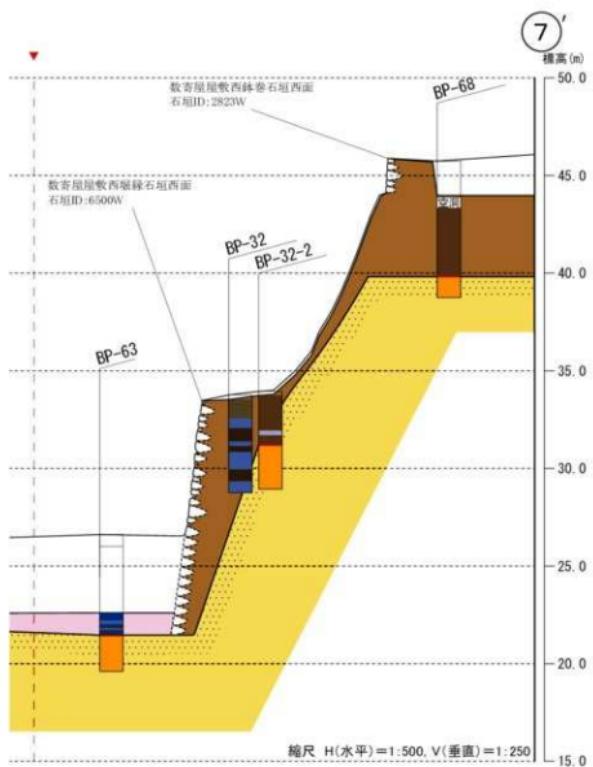
⑥—⑥'（数寄屋敷西鉢巻石垣背面一極楽橋下空堀）

第106図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図6（2）



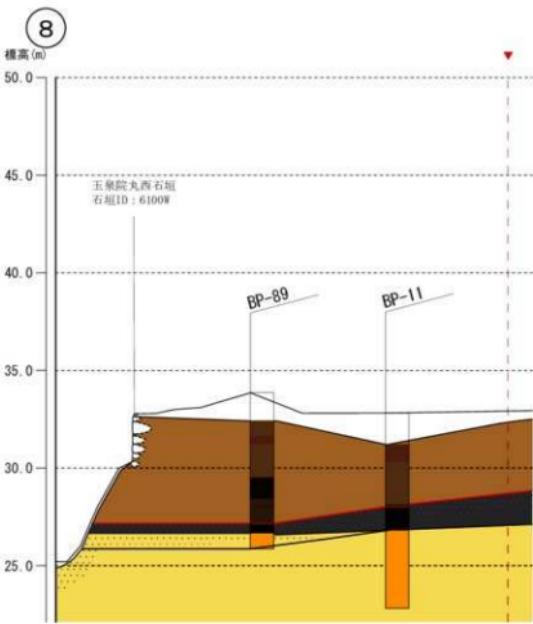
各ポーリングコアの土層凡例は個別
詳細柱状図の項を参照されたい

第107図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図7 (1)

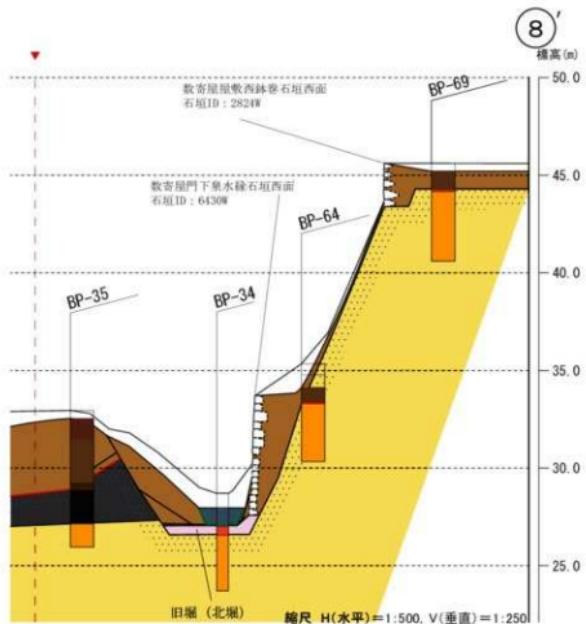


⑦-⑦' (数寄屋敷西堀 - 数寄屋敷西鉢巻石垣背面)

第 107 図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 7 (2)

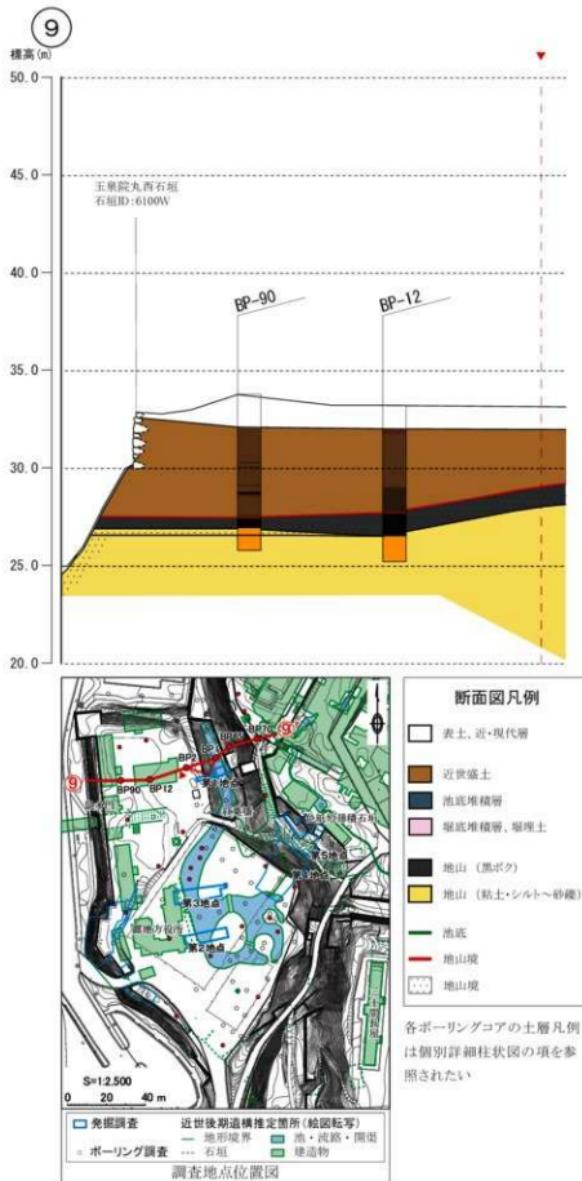


第108図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図8 (1)

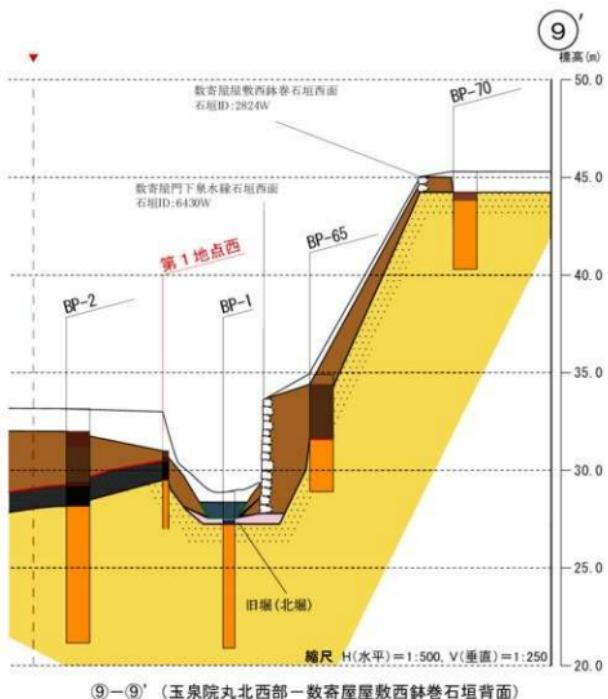


⑧-⑧' (玉泉院丸北西部-数寄屋門敷西鉢巻石垣背面)

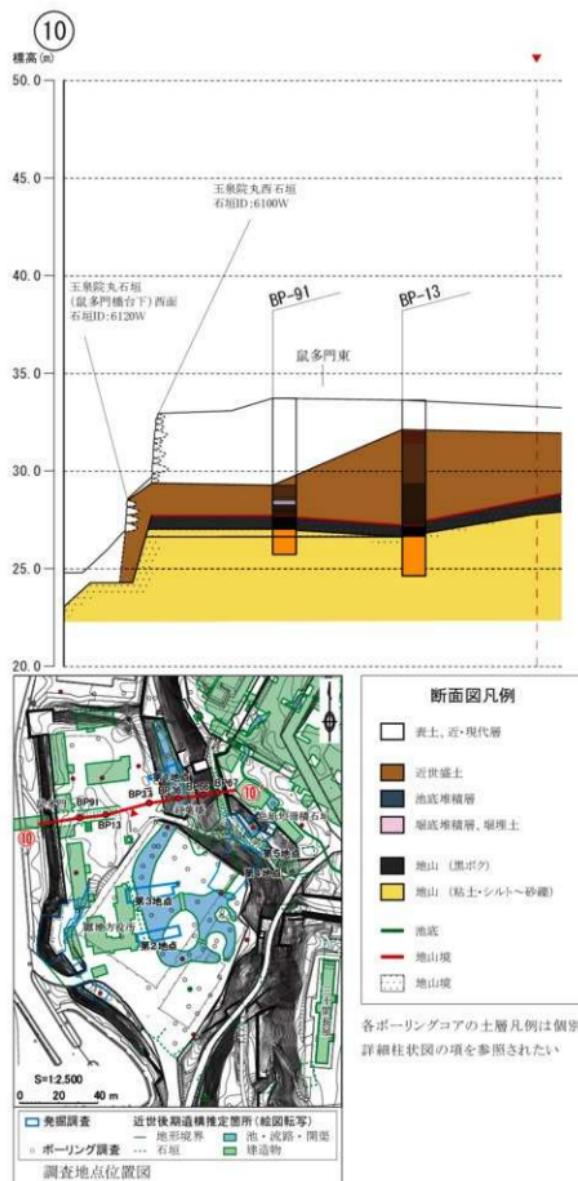
第108図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図8 (2)



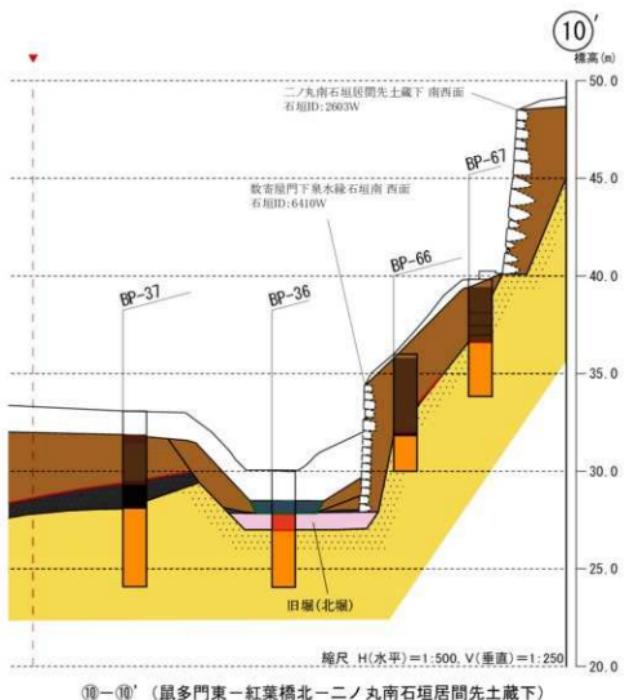
第109図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図9(1)



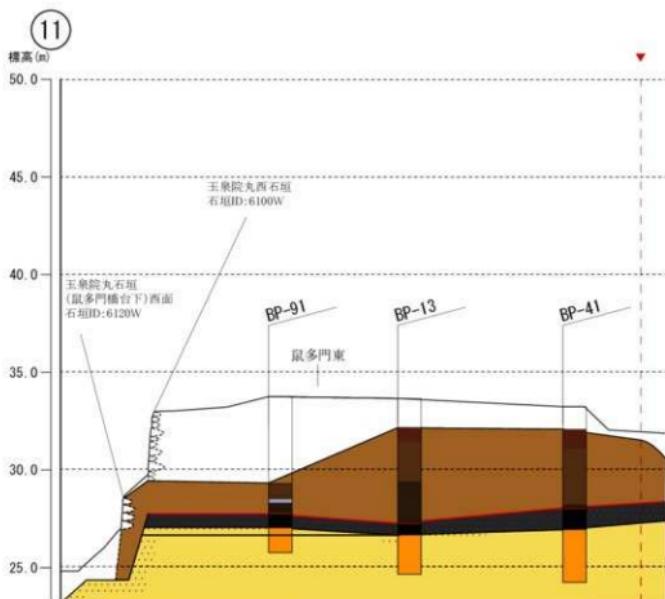
第 109 図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 9 (2)



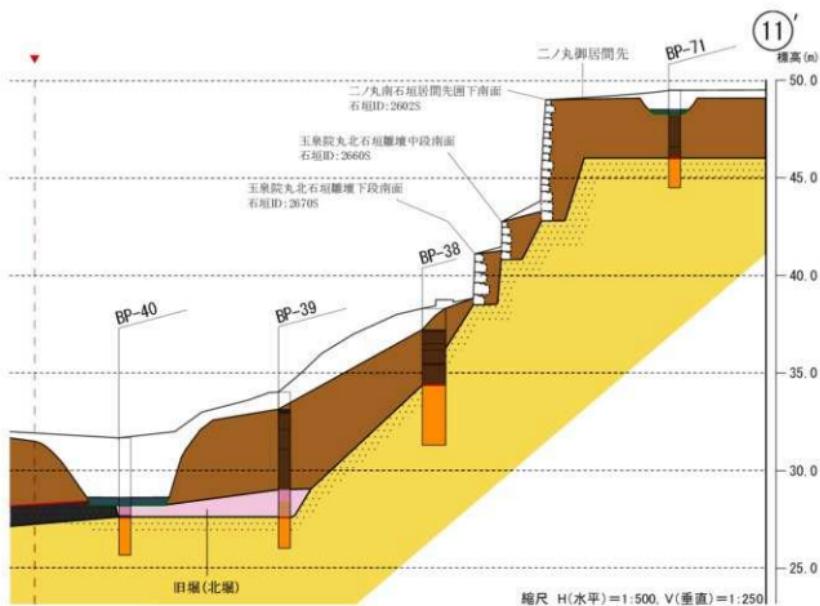
第 110 図 ボーリング調査地点 柱状断面配置図 10 (1)



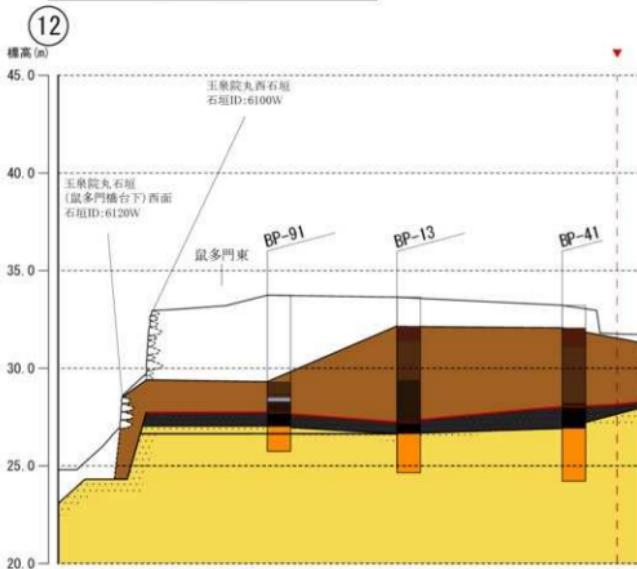
第110図 ポーリング調査地点 柱状断面配置図10(2)



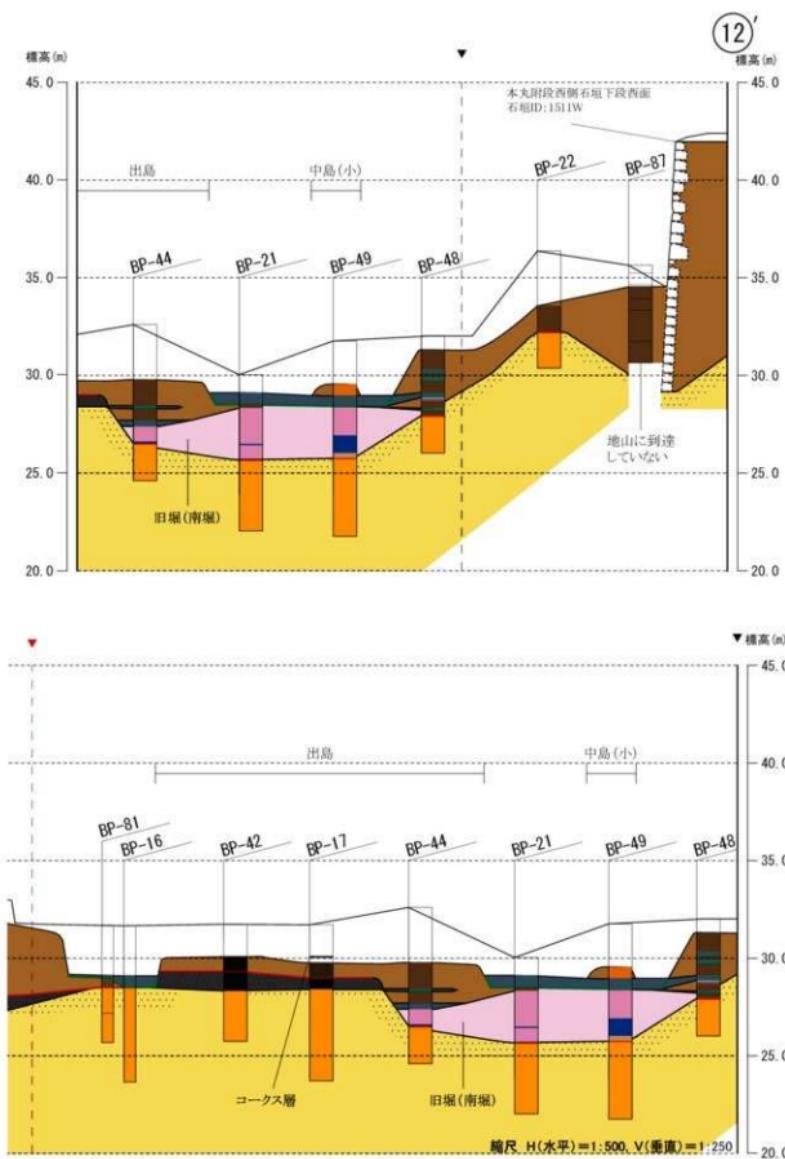
第111図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図11(1)



第 111 図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 11 (2)

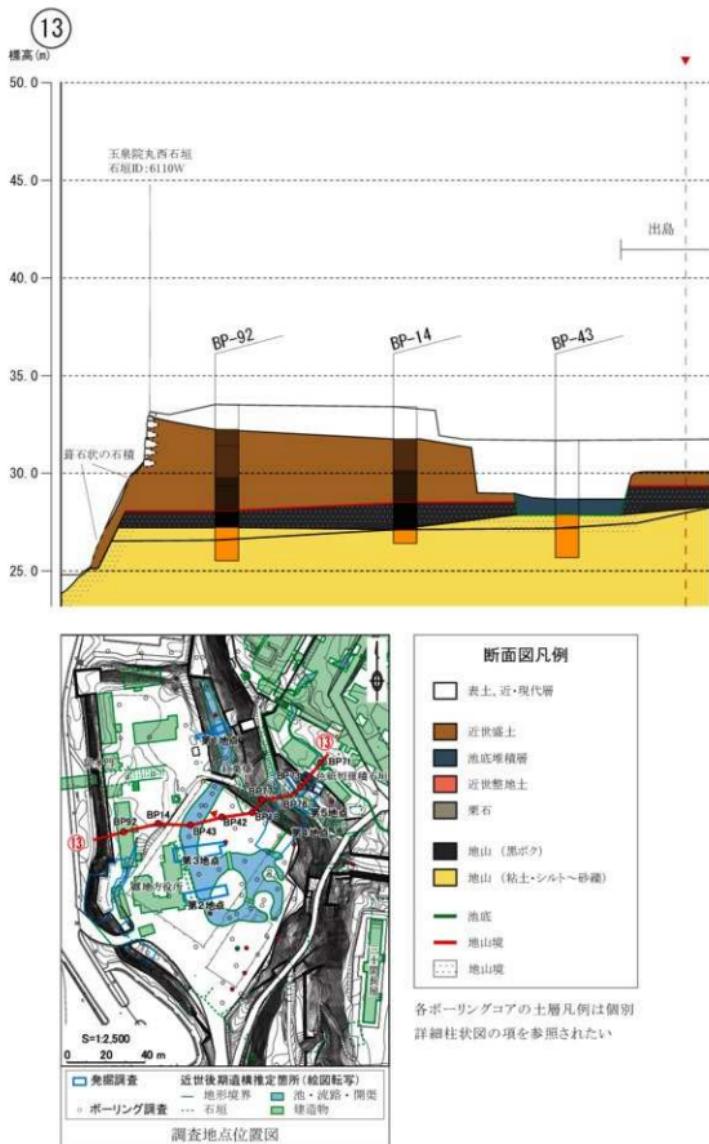


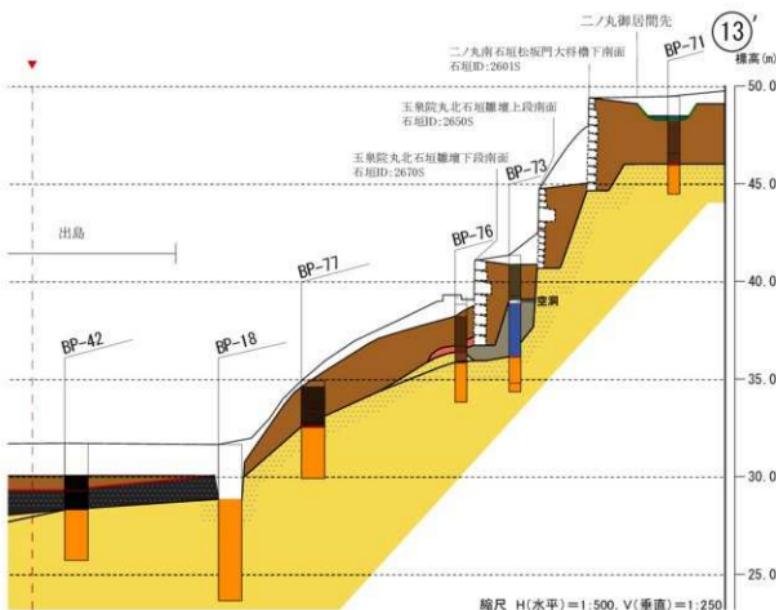
第 112 図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図 12 (1)



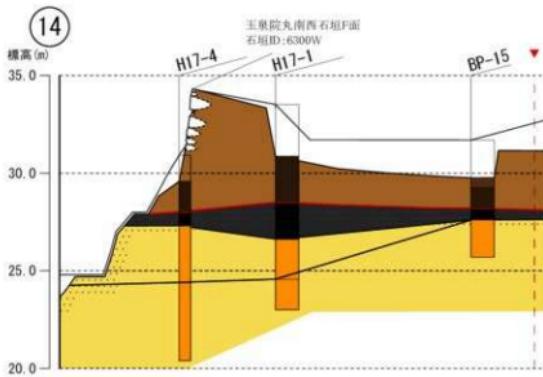
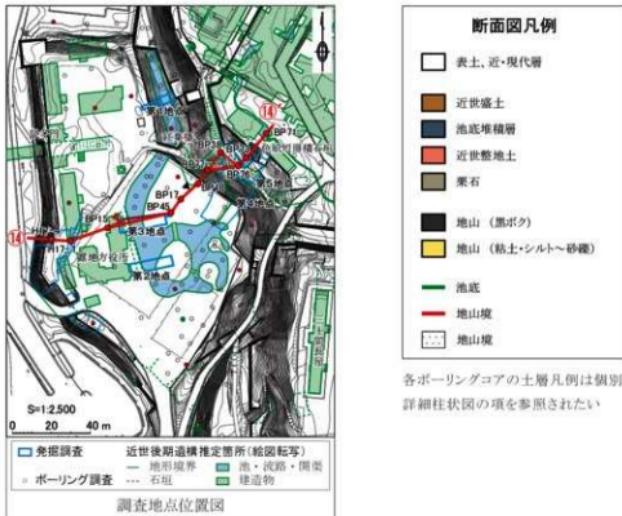
⑫-⑫' (鼠多門東-紅葉橋南一本丸附段西側石垣下段前面)

第112図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 12 (2)

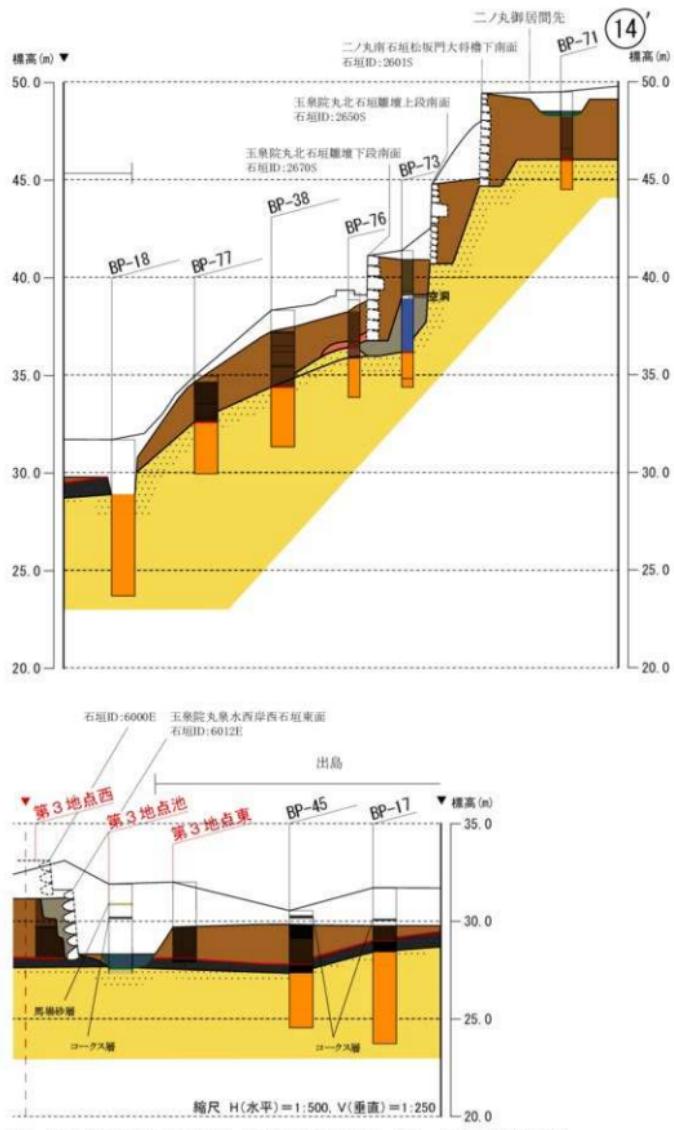




第113図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図13(2)

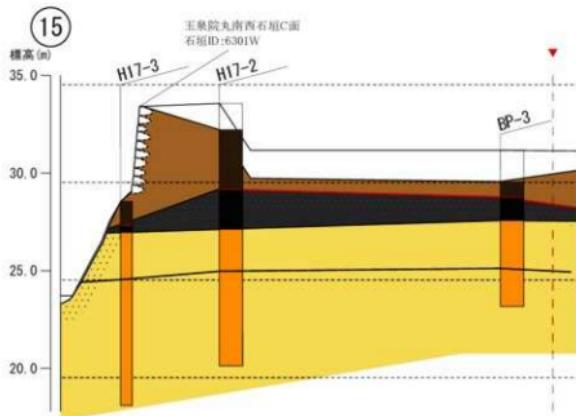


第114図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図14(1)

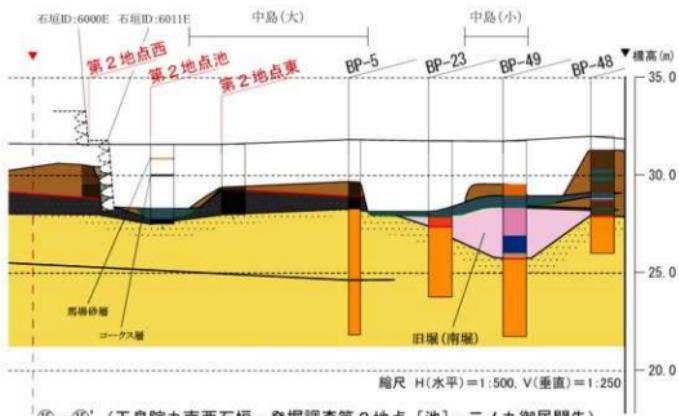
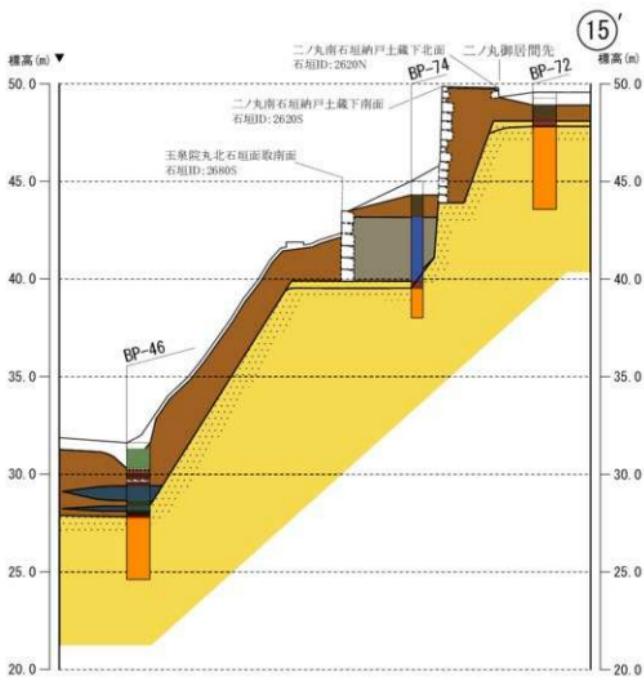


14'-14' (玉泉院丸南西石垣 - 発掘調査第3地点 [池] - 二ノ丸御居間先)

第114図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 14 (2)

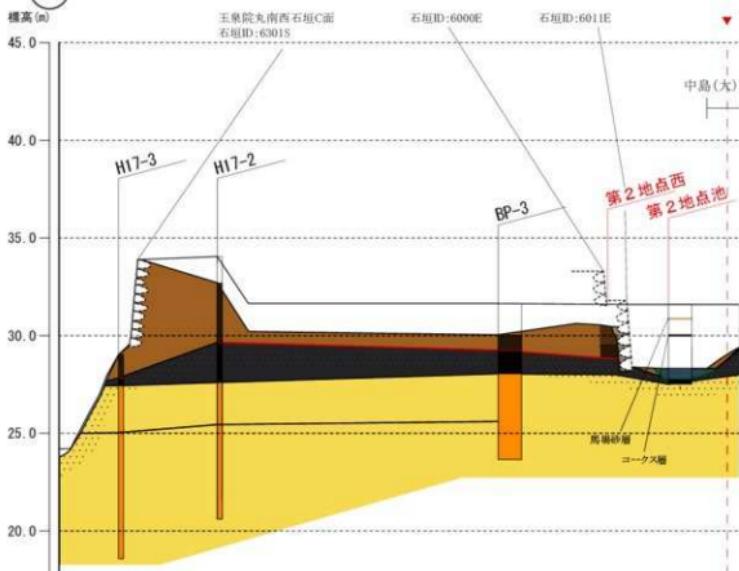


第115図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図15(1)

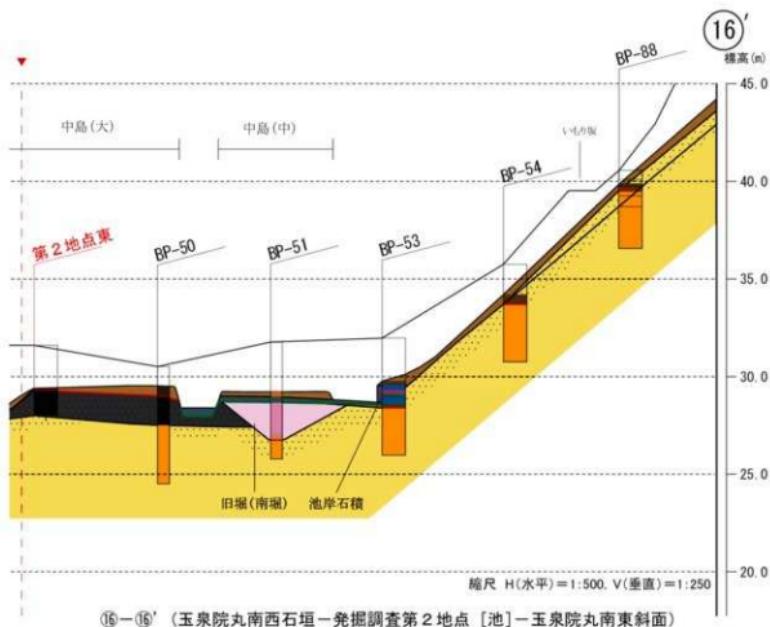


第115図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 15 (2)

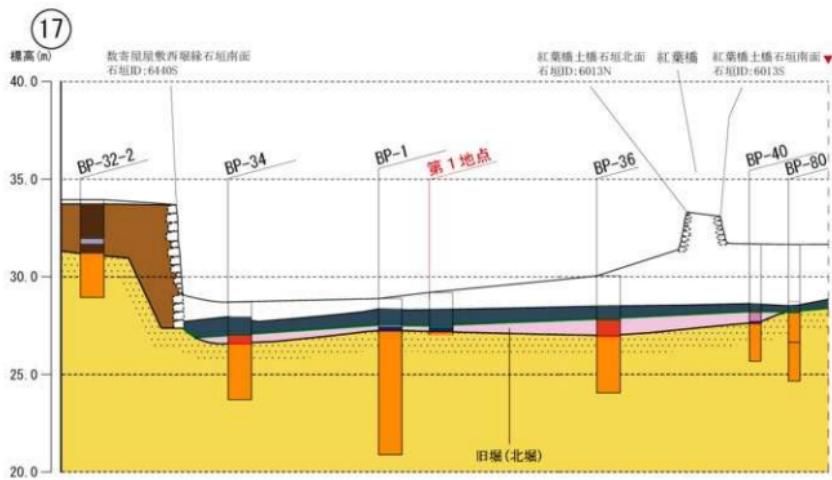
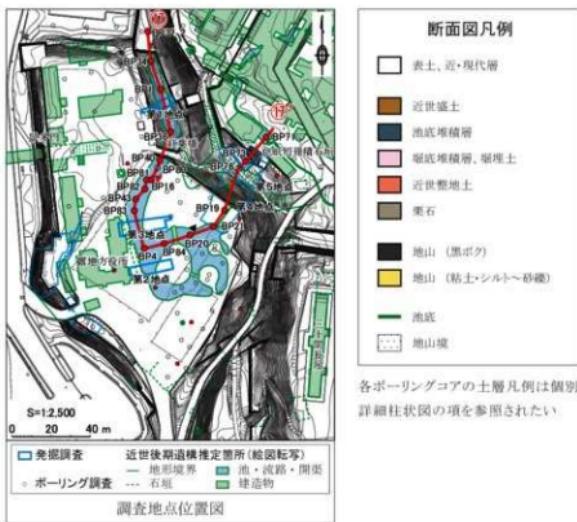
16



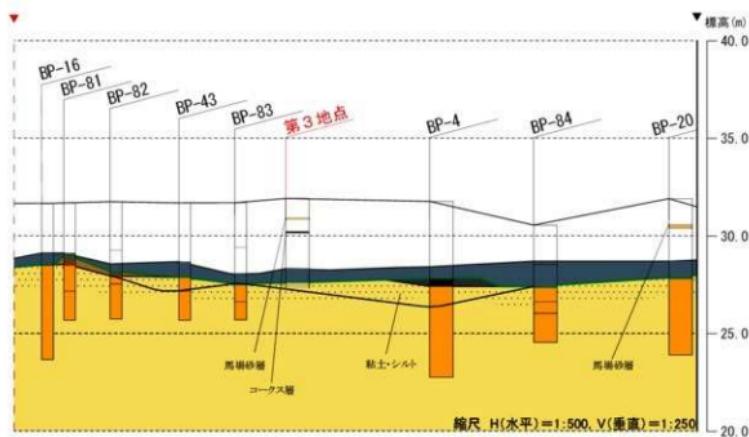
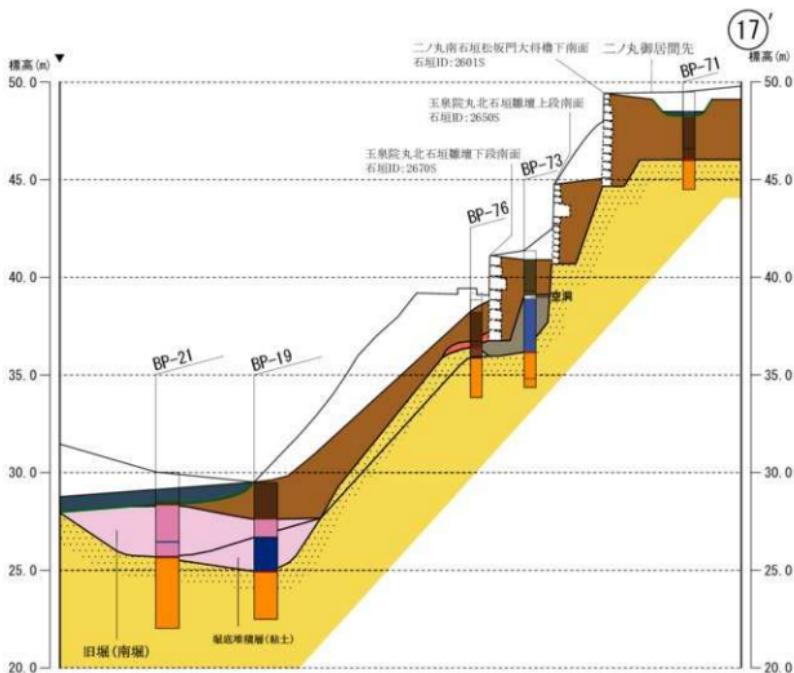
第 116 図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図 16 (1)



第116図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 16 (2)

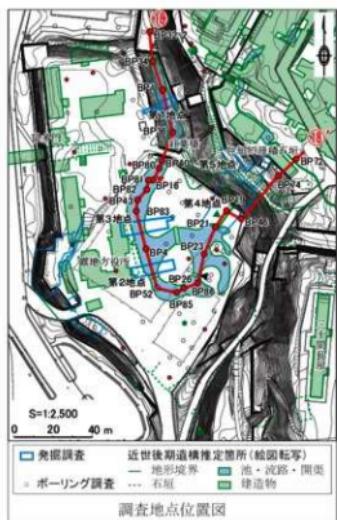


第 117 図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図 17 (1)

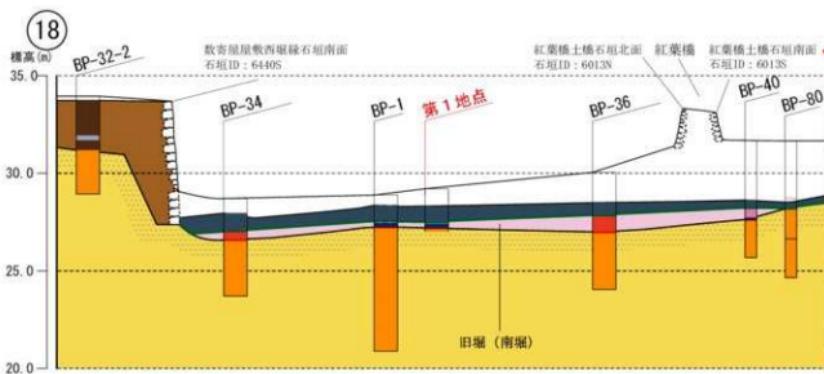
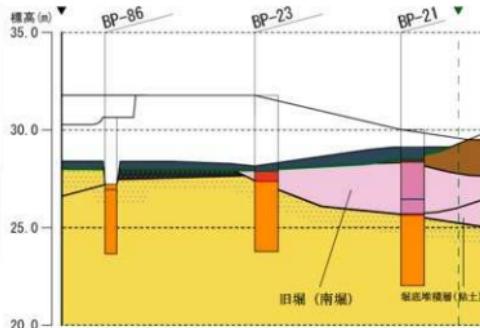


⑯-⑯' (数寄屋敷西堀縁石垣一池 [中島 (大) 北回り] - ニノ丸御居間先)

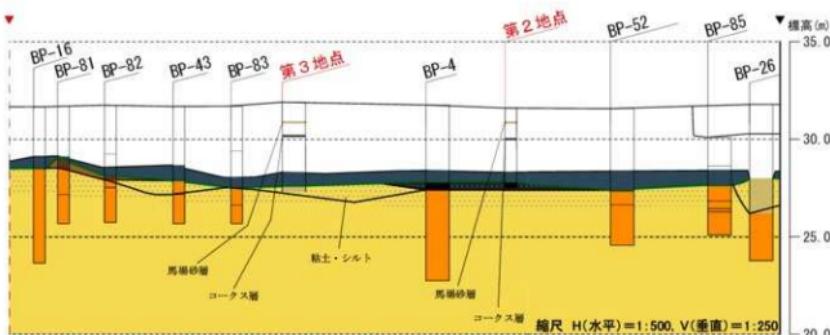
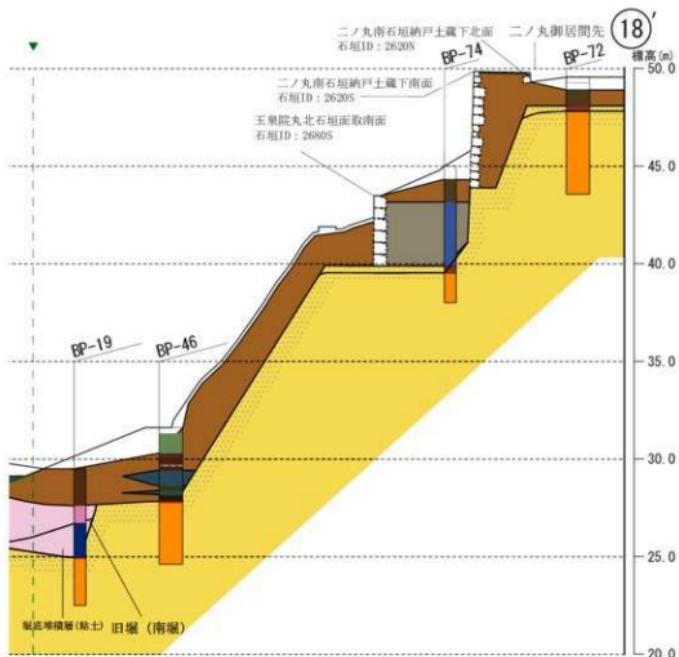
第 117 図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 17 (2)



各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

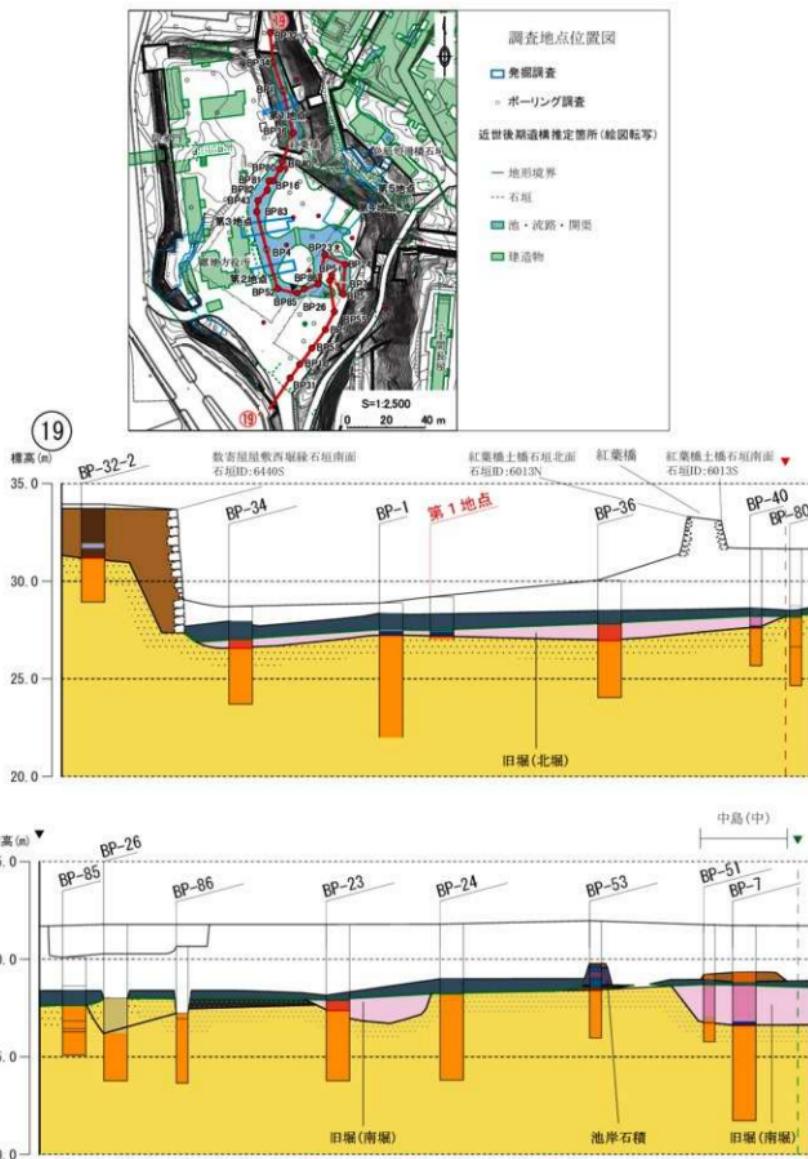


第 118 図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図 18 (1)



18'-18' (数寄屋敷西堀縁石垣一池 [中島(大)南回り] - 二ノ丸御居間先)

第118図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 18 (2)

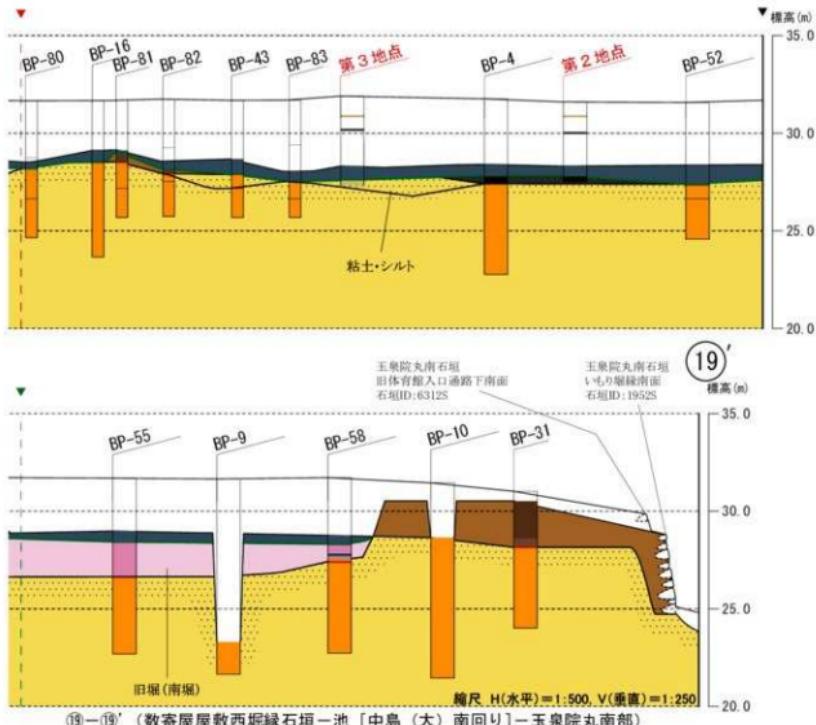


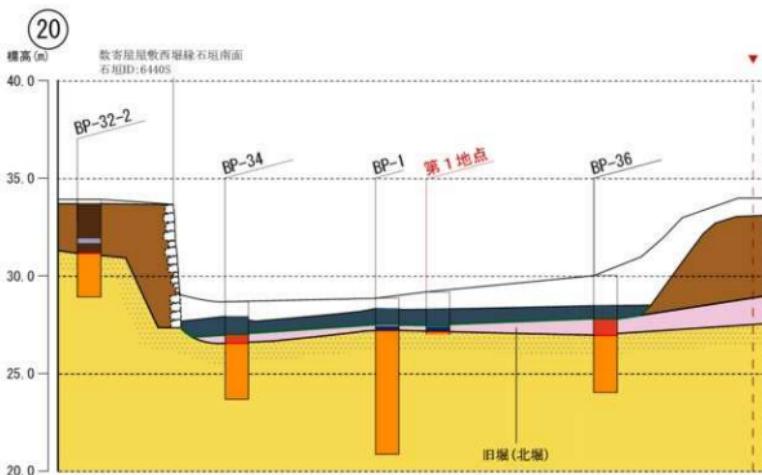
第119図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図19(1)

断面図凡例

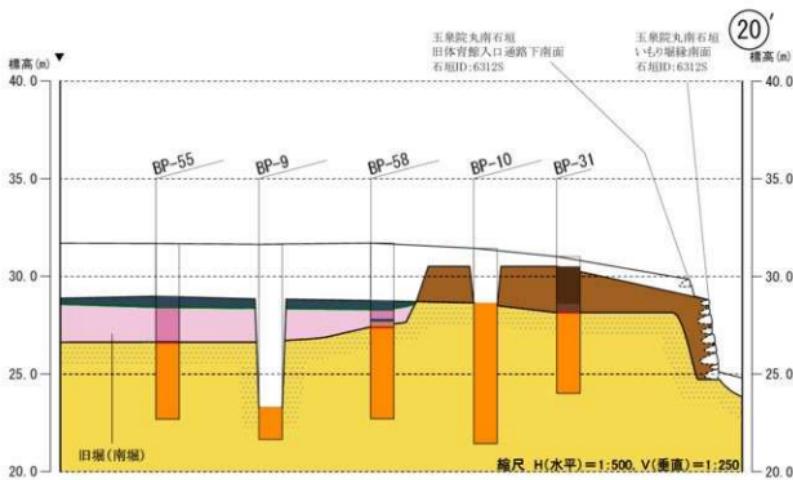
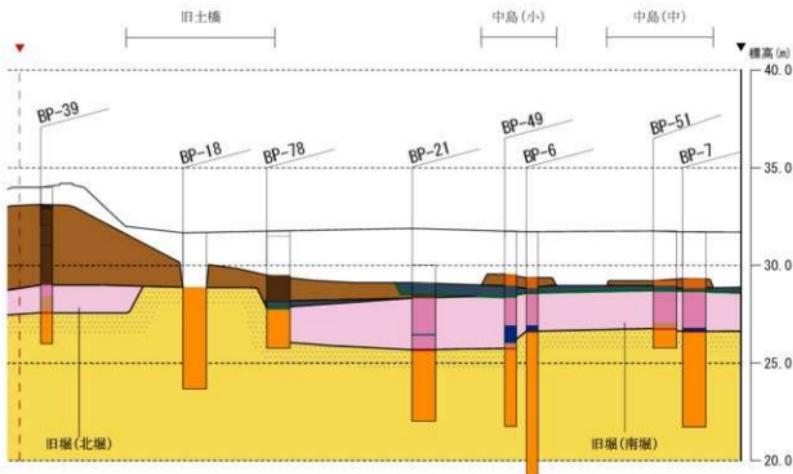
表土、近・現代層	地山（黒ボク）
近世盛土	地山（粘土・シルト～砂礫）
池底堆積層	池底
堤底堆積層、埋土	地山坡
石積み（池底・石積み）	

各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい。



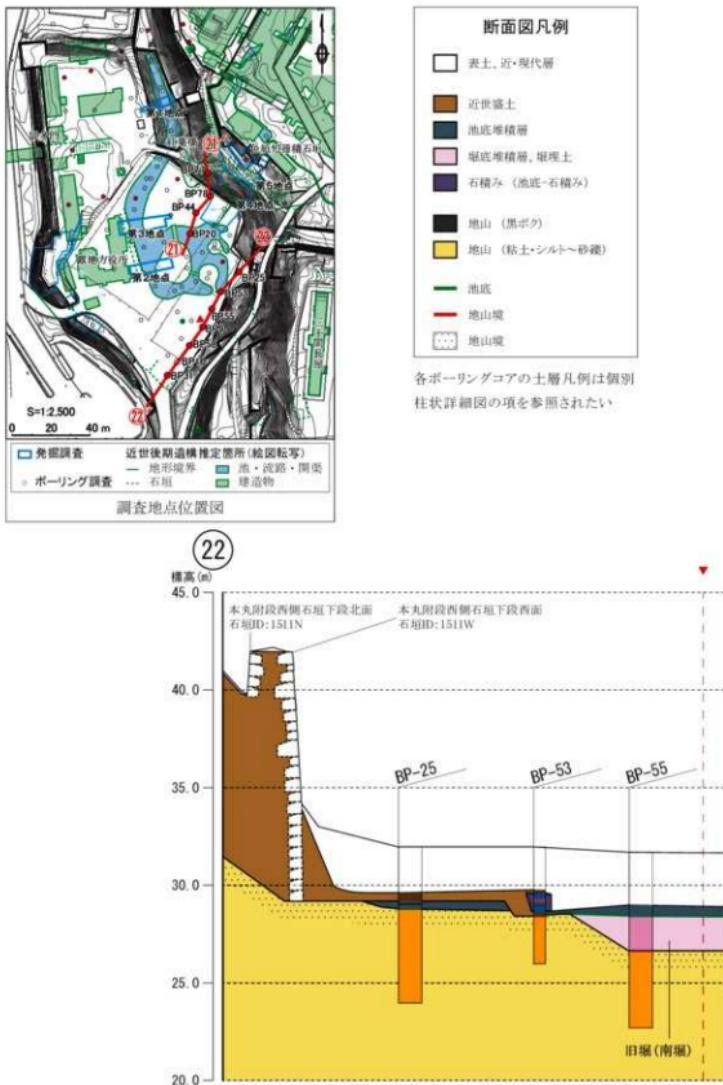


第120図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図20(1)

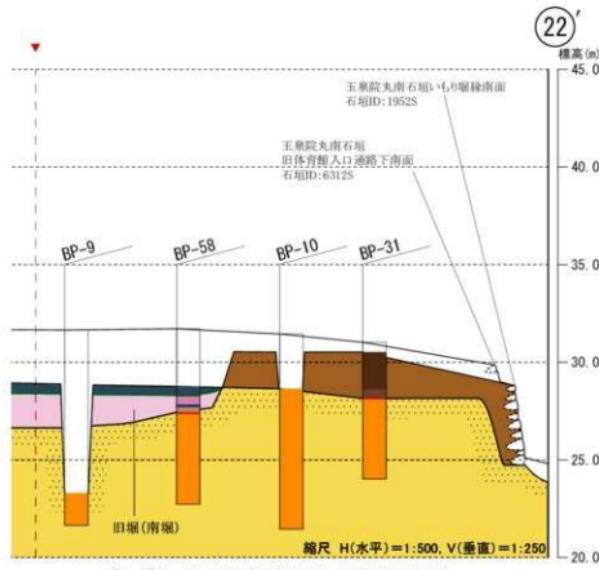
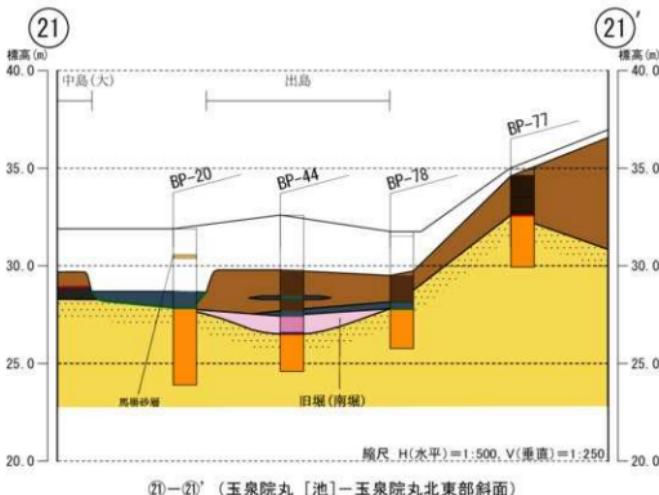


㉚-㉚' (数寄屋敷西堀縁石垣-玉泉院丸北東~南東斜面堀-玉泉院丸南部)

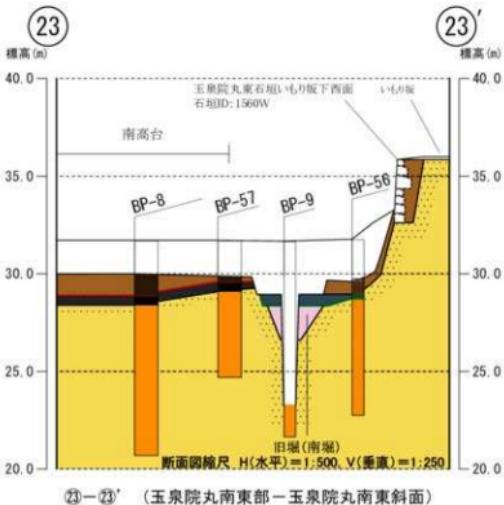
第120図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 20 (2)



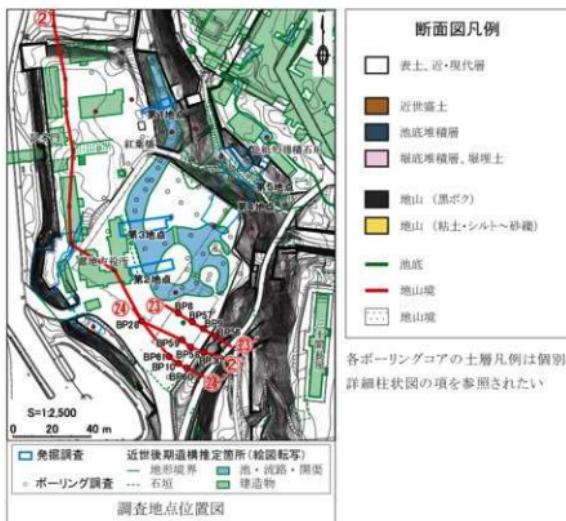
第121図 ボーリング調査地点 柱状断面配列21(1)



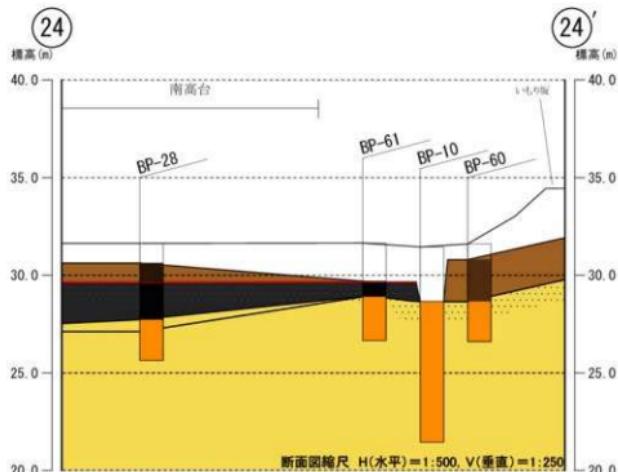
第121図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図 21 (2)



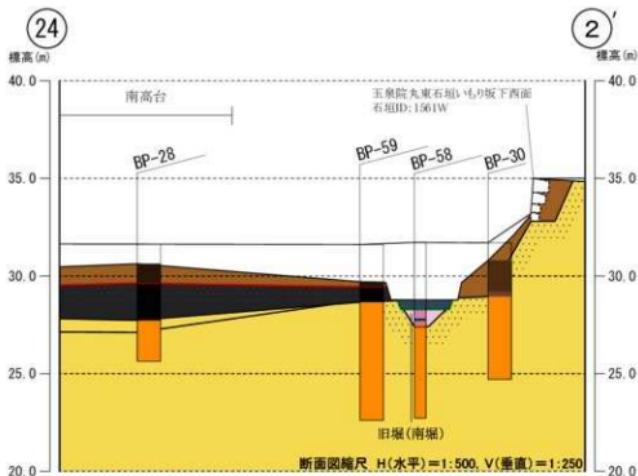
(23)-23' (玉泉院丸南東部-玉泉院丸南東斜面)



第122図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図22(1)

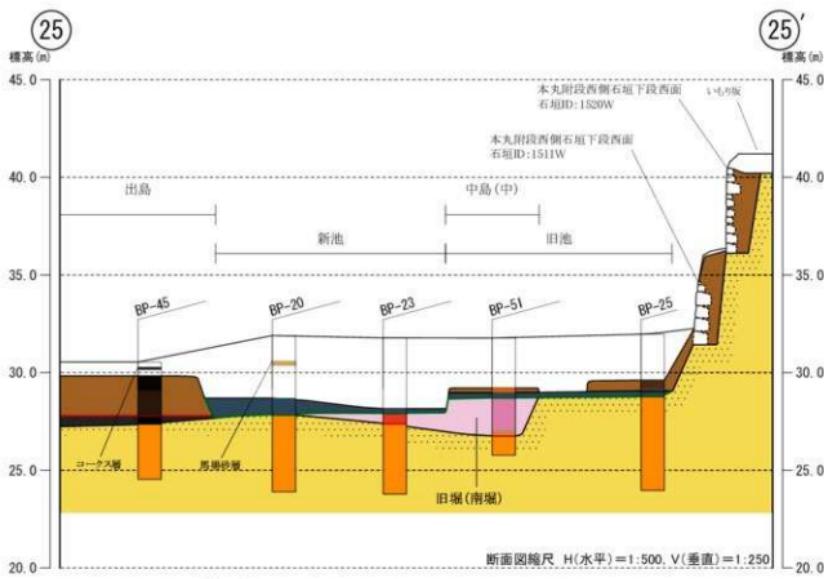


④-④' (玉泉院丸南東部-玉泉院丸南東斜面)

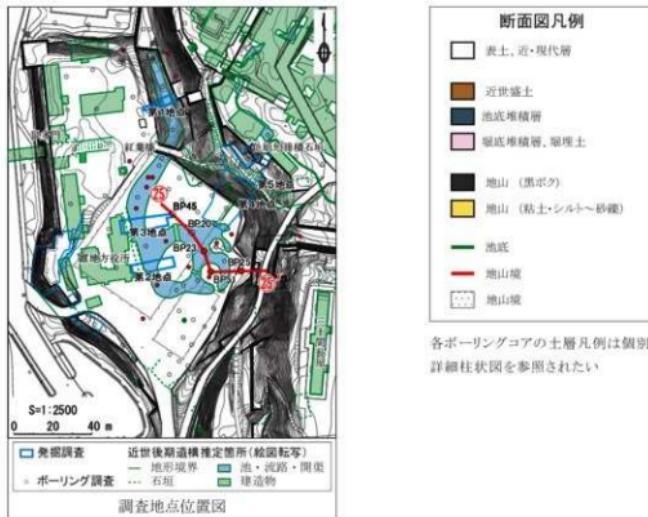


④-②' (玉泉院丸南東部-玉泉院丸南東斜面)

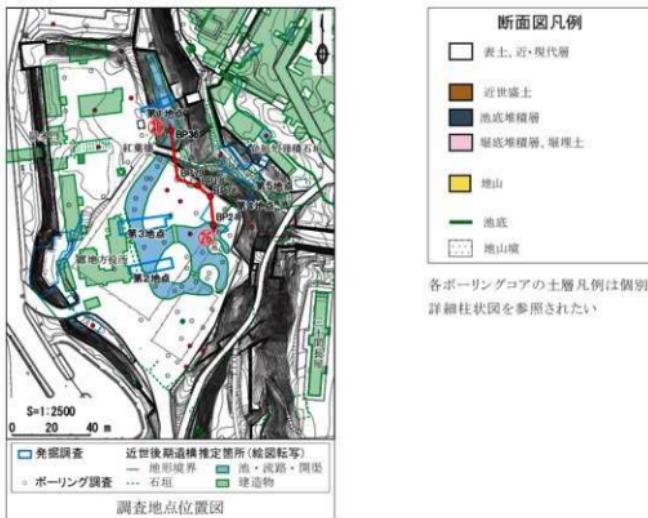
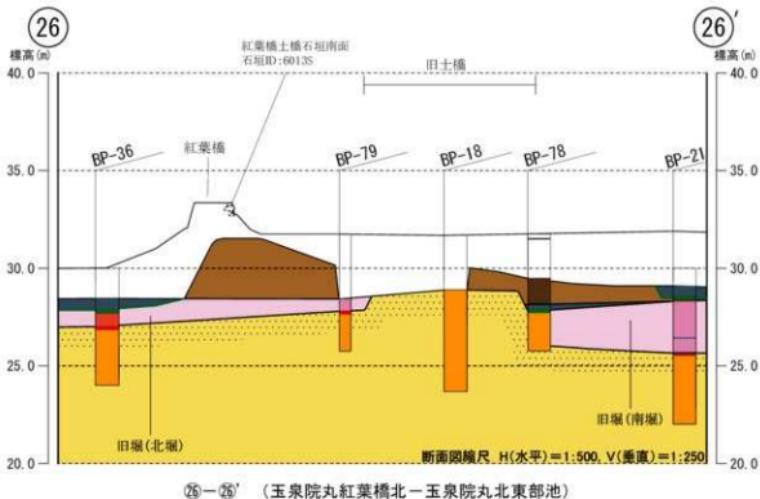
第122図 ポーリング調査地点 柱状断面配列図22(2)



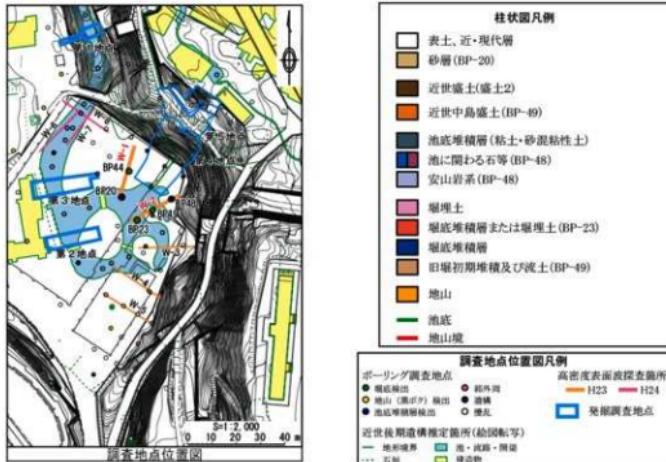
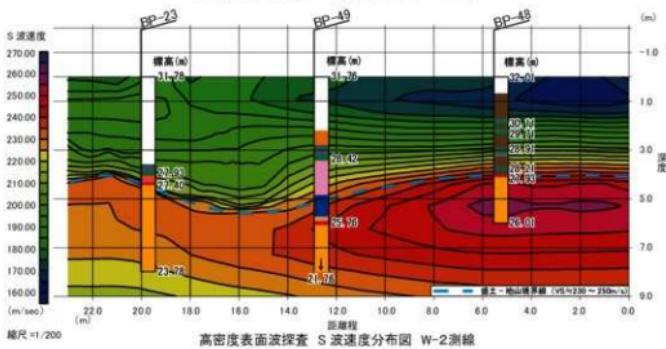
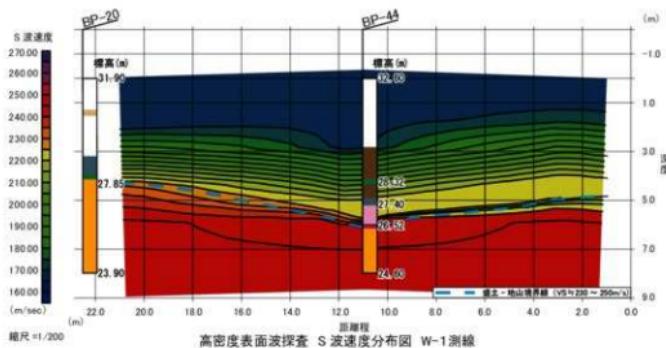
㉕-㉕' (玉泉院丸 [出島一池] 一本丸附段西側石垣)



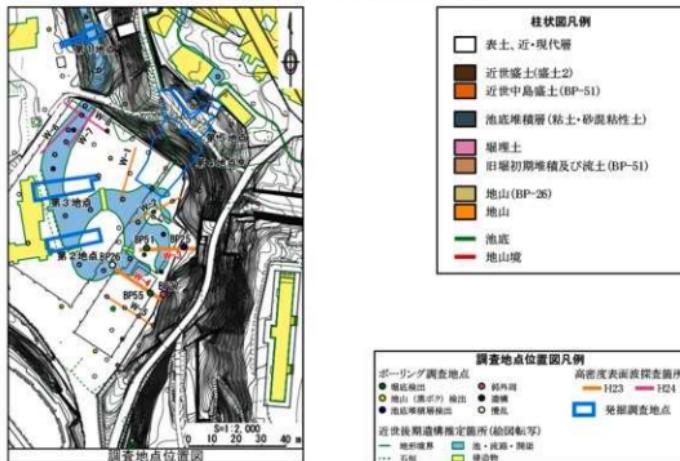
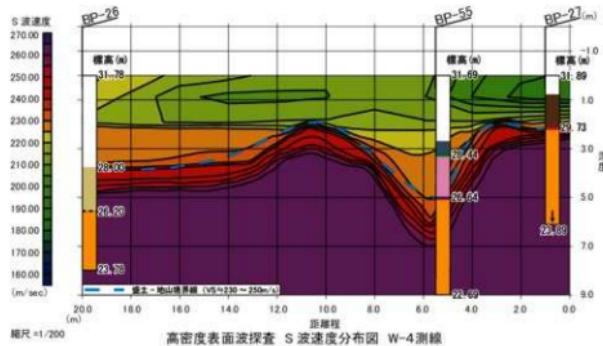
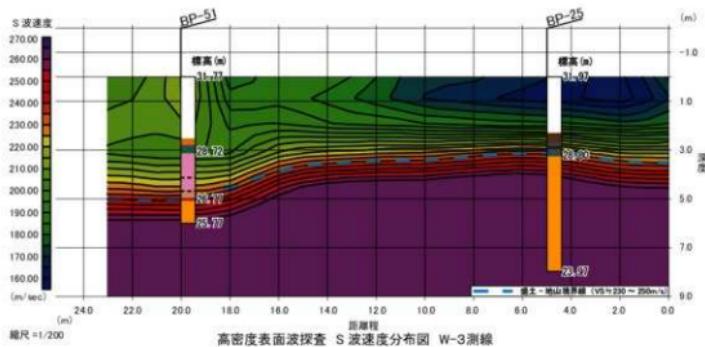
第 123 図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図 23



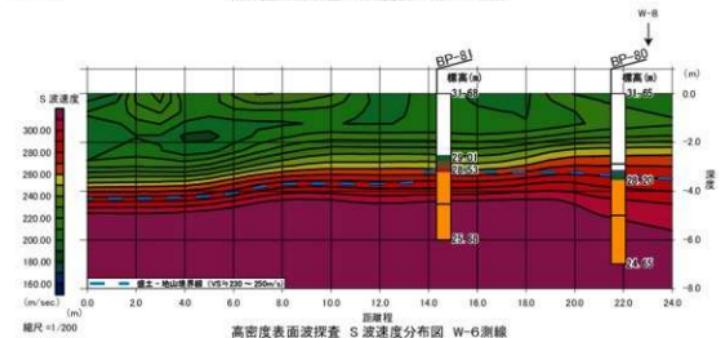
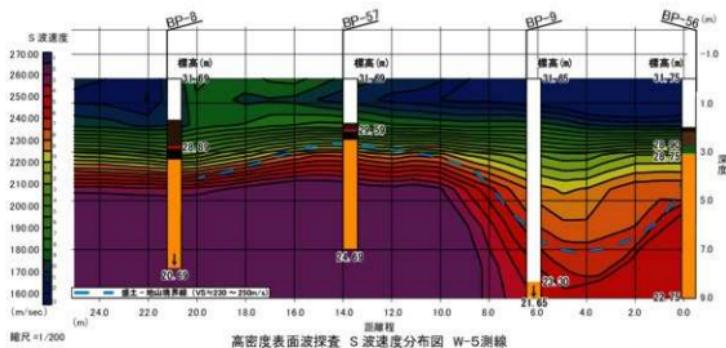
第 124 図 ボーリング調査地点 柱状断面配列図 24



第125図 高密度表面波探査 断面図1 (W-1・2)



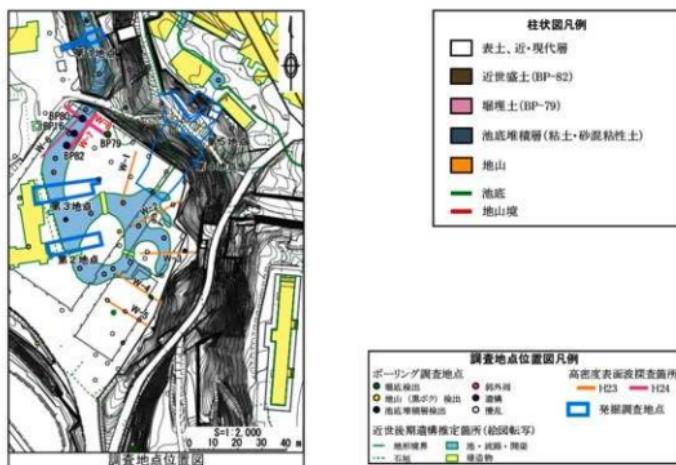
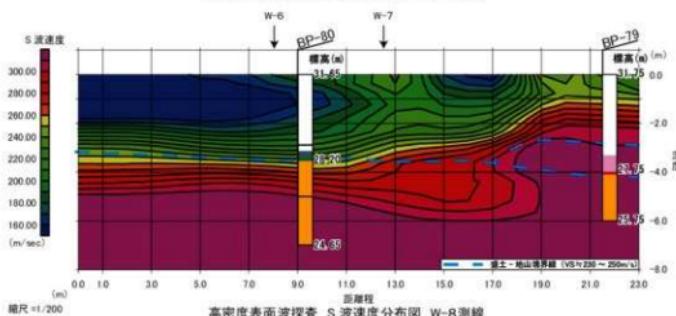
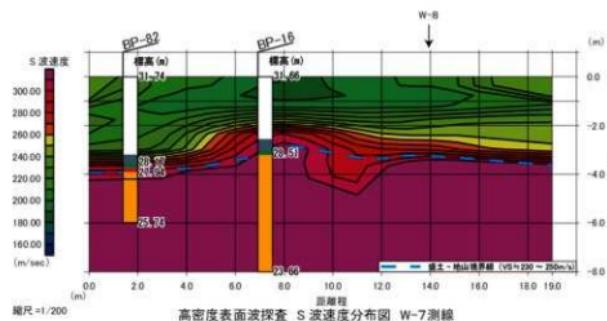
第 126 図 高密度表面波探査 断面図 2 (W - 3 , 4)



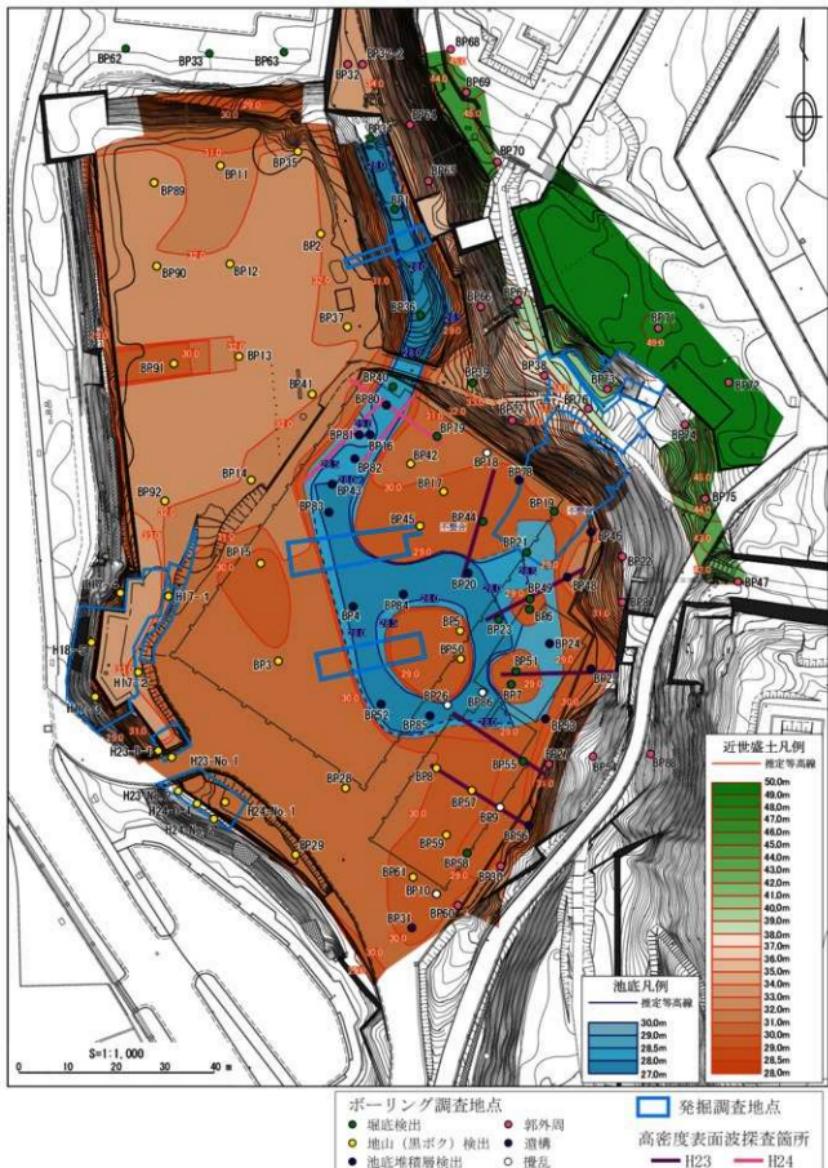
柱状図凡例	
□	表土、近・現代層
■	近世盛土(盛土2)
■	近世盛土(BP-81)
■	庭園以前の近世盛土(盛土1)
■	池底堆積層(粘土・砂混粘性土)
■	地山(黒ボク)
■	地山
■	池底
—	地山境

調査地点位置図凡例	
ボーリング調査地点	高密度表面波探査箇所
● 地盤抽出	● 新外堀
○ 地山(ボク) 探出	● 新堀
● 地山埋蔵層抽出	○ 塚原
● 池底	■ 発掘調査地点
近世後期造構性土質箇所(総計4箇)	
— 地形境界	■ 道・水路・開闢
--- 石垣	■ 墓地

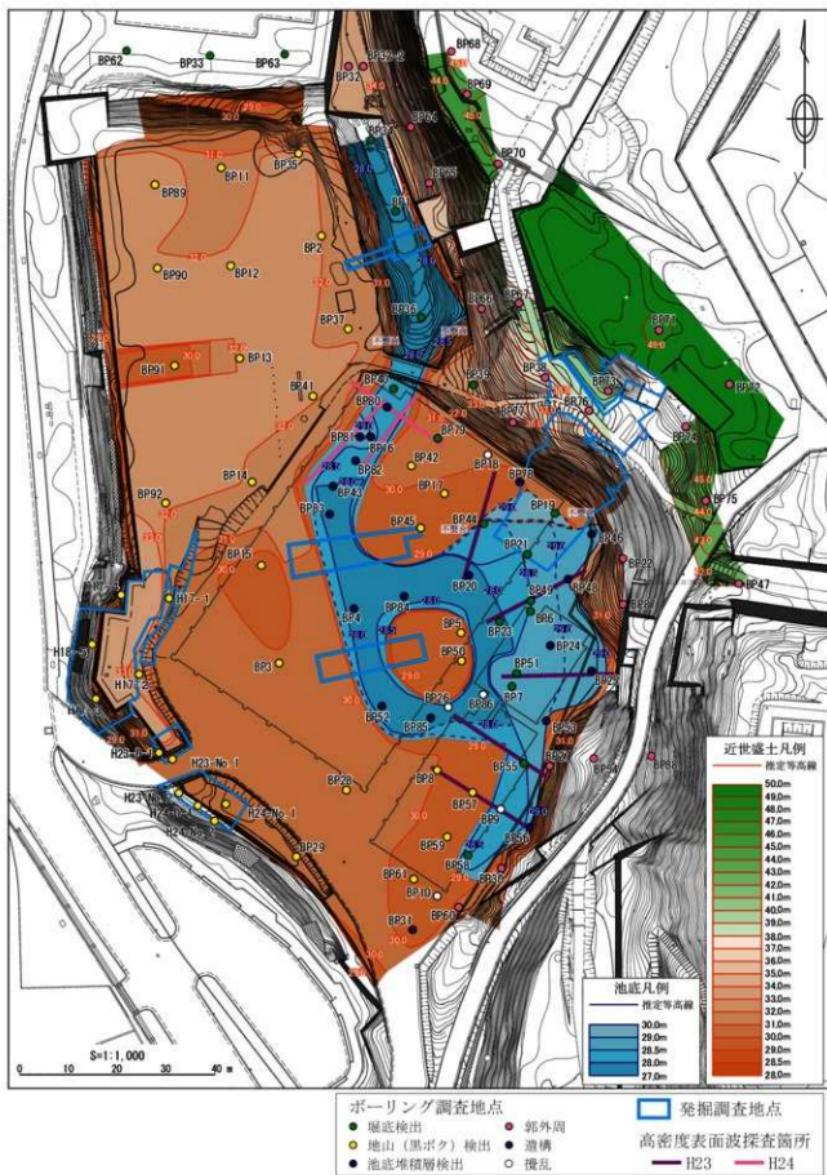
第127図 高密度表面波探査 断面図3 (W-5・6)



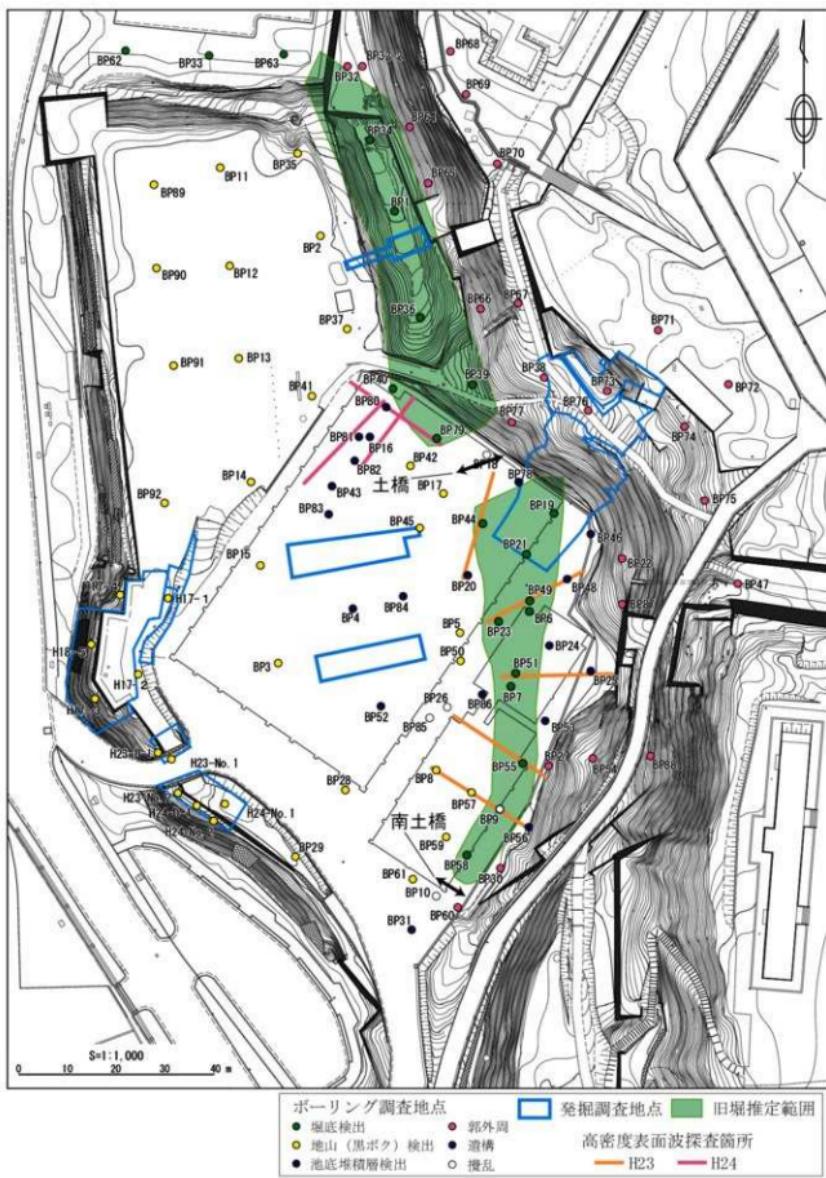
第128図 高密度表面波探査 断面図4 (W-7・8)



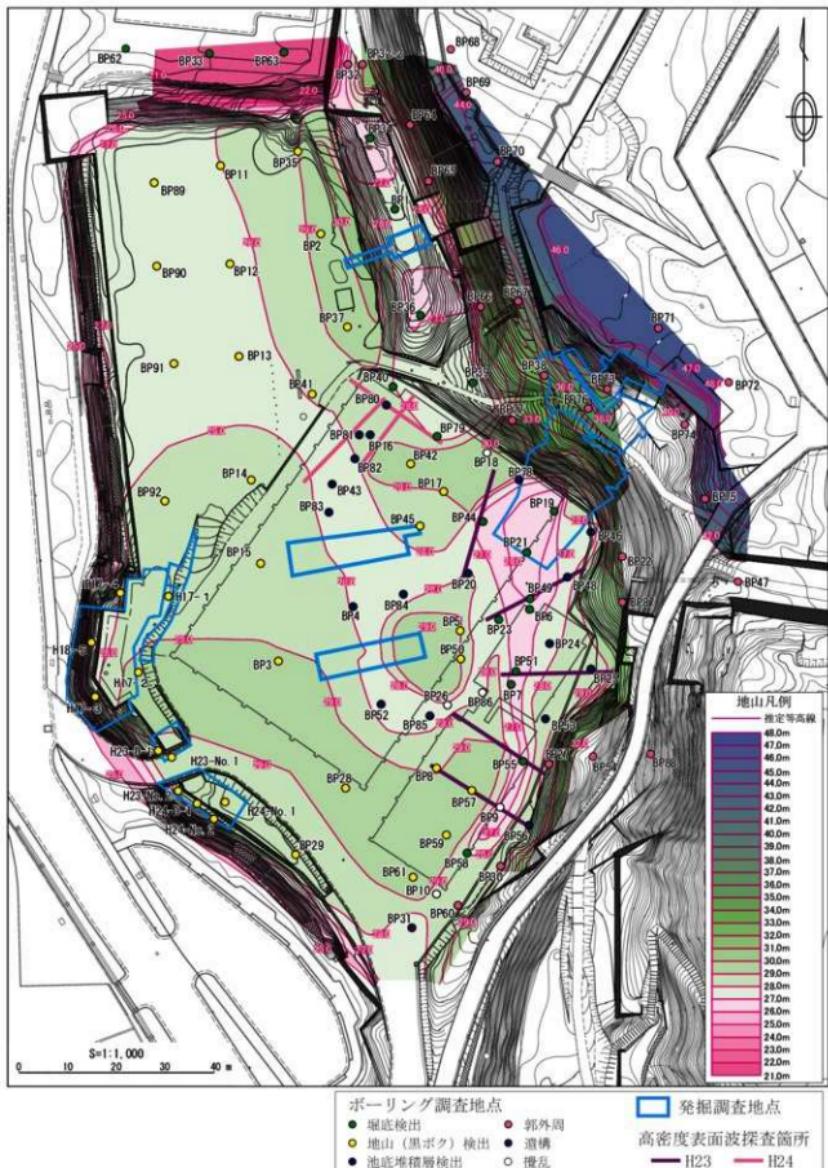
第129図 玉泉院丸における池底推定等高線（新相）



第130図 玉泉院丸における池底推定等高線（古相）



第131図 大型遺構範囲推定等平面図



第132図 玉泉院丸における地山推定等高線



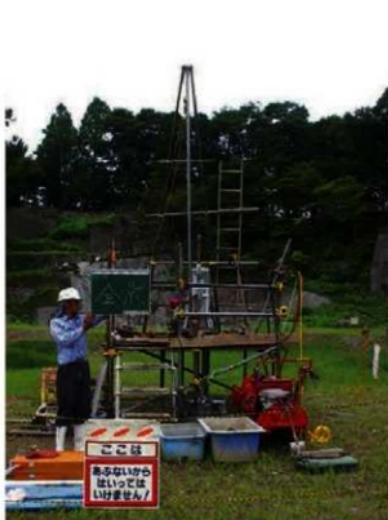
ボーリング調査 H17-1地点



ボーリング調査 BP-34地点



ボーリング調査 BP-47地点



ボーリング調査 BP-52地点

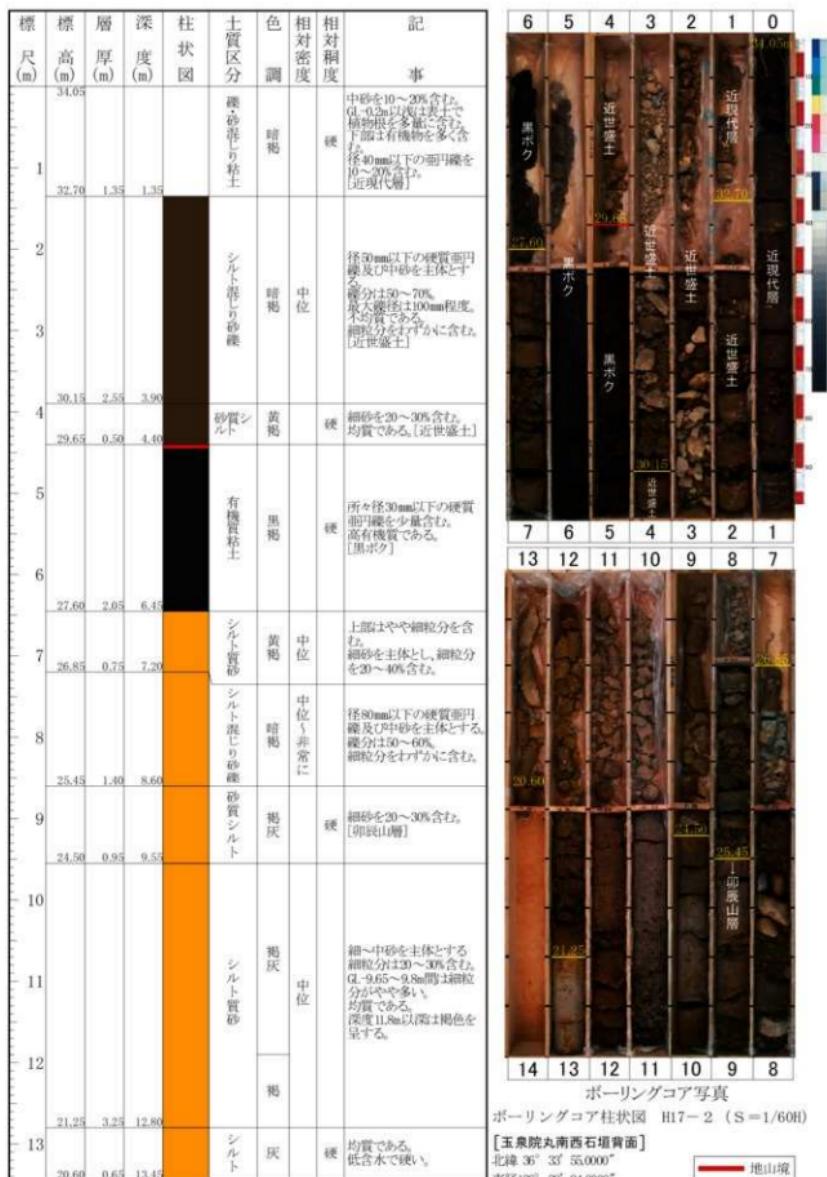
第133図 地質調査作業風景写真

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	33.52								
1					硬塑り砂質シルト	暗褐色			径30mm以下の細円礫を10~20%含む。 細~中等分を20~30%含む。 不均質である。 G~0.2m付近は表土で植物根、腐食物を多量に含む。 【近現代層】
2						褐色			
3	30.92 30.52	2.60 0.40	3.60 3.00		砂質シルト	暗褐色	中位	中~粗粒を30~40%含む。 径10mm以下の細円礫を少量含む。 【近世盛土】	
4	29.42	1.10	4.10		シルト混じり砂礫	暗褐色	中位	径40mm以下の硬質円礫及び中~粗粒を主体とする。 細分30~40%。 礫分10~20%含む。 G~3.8m付近に径100mm程度の粗礫を含む。 上部には礫分が少ないと。 【近世盛土】	
5	28.52	0.90	5.00		砂質シルト	褐色	中位	細砂分20~30%含む。 G~4.6m付近に植物根及び径20mm以下の細円礫を含む。 【近世盛土】	
6					有機質粘土	黒褐色	硬	高有機質である。 径5mm以下の細円礫を少量含む。 G~5.80~6.15m付近は有機物が少ないと。 【黒ボク】	
7	26.62 26.32	1.90 0.30	6.90 7.50		硬質シルト	黄色	硬	径20mm以下の細円礫を20~30%含む。	
8					シルト混じり砂礫	褐灰色	非常密	径50mm以下の硬質円礫・細円礫及び中~粗粒を主体とする。 細粒分を10~15%含む。 礫分は60~70%。 最大粒径70mm程度。	
9	24.57 24.32	1.75 0.25	8.95 9.20		シルト	褐灰	硬	均質である。	
10					シルト質砂	褐灰	中位	細砂を主体とする。 細粒分を20~30%含む。 下部は中等分が混入する。 所々、シルトの薄層を挟む。	
	23.00	1.32	10.53						地山境

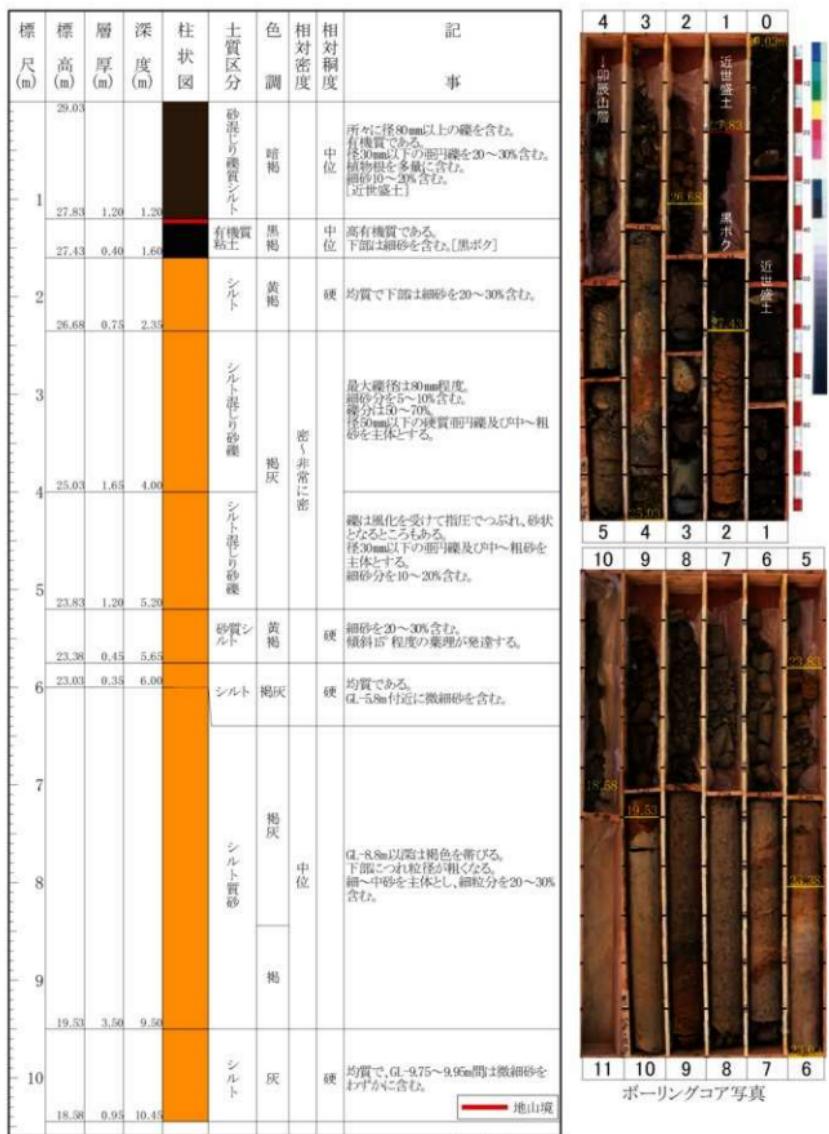
ボーリングコア柱状図 H17-1 (S=1/50H)
[玉泉院丸南西石垣背面]



第134図 ボーリングコア詳細柱状図1 (H17-1地点)



第135図 ボーリングコア詳細柱状図2 (H17-2地点)



ボーリングコア柱状図 H17-3 (S=1/500)

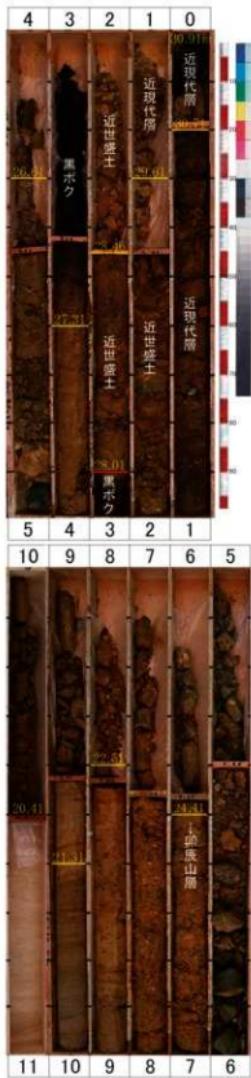
北緯 36° 33' 55.000"

[玉泉院丸南西石垣前面]

東経 136° 39' 23.000"

第 136 図 ボーリングコア詳細柱状図 3 (H17-3 地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 圖	土 質 分 区	色 調	相 対 密 度	記 事
	30.91				硬	暗褐	密	径100mm以下の円礫。[近現代層]
	30.71	0.20	0.20					GL-0.5m付近にレンガが含まれ。 不均質である。 上部に植生根や小礫含む。 砂分を20~30%含む。 径30mm以下の細円礫を5~10%含む。 [近現代層]
1	29.61	1.10	1.30	シルト混じり砂礫		褐	中位	
	28.46	1.15	2.45	シルト混じり砂礫		褐	中位	細粒分を5~15%含む。 礫分は40~50%。 径50mm以下の硬質圓形礫及び中砂を主体とする。 [近世盛土]
3	28.01	0.45	2.90	有機質粘土		褐	中位	細砂20~30%含む。 径50mm以下の細円礫を10~20%含む。 [近世盛土]
	27.31	0.70	3.60	砂質シルト		黑褐	中位	径5mm以下の細円礫を少量含む。 高有機質である。 [黒ボク]
4	26.61	0.70	4.30			黄褐	中位	細砂を30~50%含む。
5				シルト混じり砂礫		褐灰	密	径60mm以下の硬質圓形礫及び中~粗砂を主体とする。 最大礫径150mm程度。 細粒分を5~10%含む。 礫分は50~70%。
6								
7	24.41	2.20	6.50	シルト質砂礫		褐	中位~密	礫は、風化を受けて軟質化し、指圧でつぶれて砂状となる部分もある。 細粒分を30%程度含む。 径30mm以下の細円礫及び中~粗砂を主体とする。
8	22.51	1.90	8.40					
9	21.31	1.20	9.60	砂混じりシルト		褐灰	非常に硬	所々、細砂の薄層を挟む。 細砂を5~10%含む。
10	20.41	0.90	10.50	シルト質砂		灰	中位	種斜20°程度の葉理が発達する。 細粒分を20~30%含む。 細~中砂を主体とする。

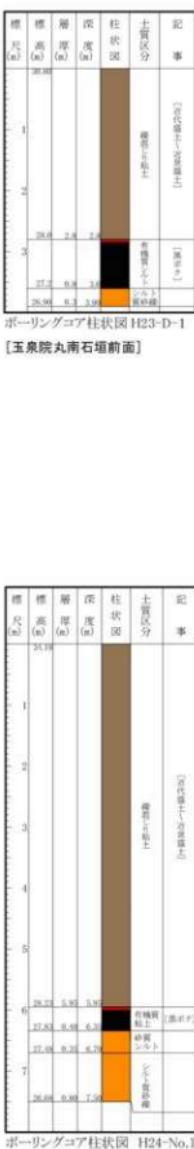
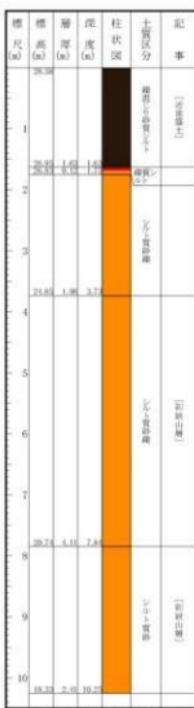


ボーリングコア柱状図 H17-4 (S=1/50H)
[玉泉院丸南西石垣前面]

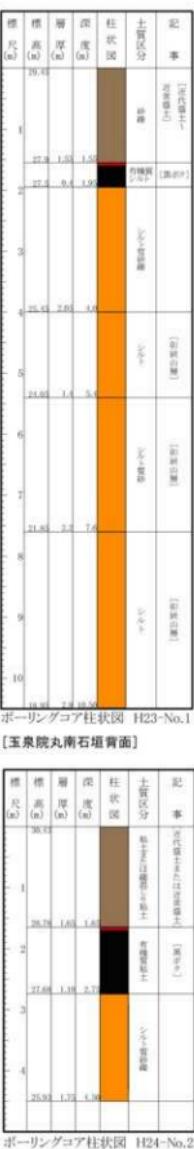
ボーリングコア写真

— 地山塊 —

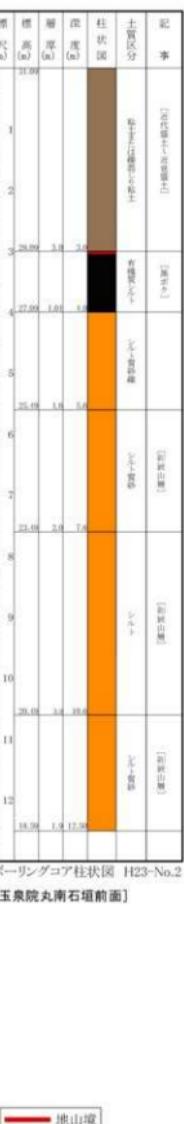
第137図 ボーリングコア詳細柱状図4 (H17-4地点)



ボーリングコア柱状図 H24-No.1
【玉泉院丸南石垣背面】



ボーリングコア柱状図 H24-No.2
【玉泉院丸南石垣前面】



ボーリングコア柱状図 H23-No.2
【玉泉院丸南石垣前面】

■ 地山塊

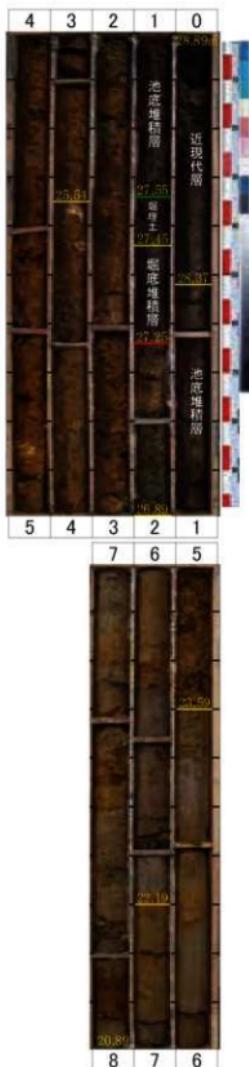
第138図 ボーリングコア詳細柱状図5 (玉泉院丸南西石垣、南石垣周辺 S=1/80 H)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
	28.89							
	28.37	0.52	0.52	■	礫混じりシルト	暗褐色	軟	[近現代層]
1	27.55	0.82	1.34	■	礫混じり粘土	暗褐色	軟	径5~10mmの亜角礫を10%程含む。 上部は有機物を多量に含む。 [池底堆積層]
	27.13	0.10	1.44	■	礫混じり粘土	暗灰		[下部は礫分をやや多く含む。 [堆埋土]]
	27.25	0.20	1.64	■	礫混じり粘土	暗灰		[底堆積層]
2	26.89	0.36	2.00	■	礫質粘土	暗灰	軟	径5~10mmの亜円礫を20%程含む。
	25.54	1.35	3.35	■	礫混じりシルト質砂	暗褐色	緩	細粒分を20~40%含む細~中砂。 含有礫は風化により軟質化しており、 指圧で容易につぶれる。
4				■	シルト質砂礫	褐色	中位	径20~40mmの亜円礫及び中~粗砂 からなる。 礫分は50~60%。 含有礫は大部分が風化により軟質化 しており、指圧で容易につぶれる。
5	23.59	1.95	5.30	■				
6				■	シルト	褐色	中位	均質。 (4.6.25~6.40m間にシルト質細砂を 挟む。)
7	22.19	1.40	6.70	■	シルト混じり砂	褐色	中位	細粒分を10%程含む細~中砂。 均質。 所々、シルトの薄層を挟む。
8	20.89	1.30	8.00	■				
9								



ボーリングコア柱状図 BP-1 (S = 1/50H)
[玉泉院丸北部 池]

北緯 36° 33' 46.6970"
東経 136° 39' 36.9220"



ボーリングコア写真

第139図 ボーリングコア詳細柱状図6 (BP-1地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	33.16			褐色 泥混じりシルト	暗褐			軟	径2~40mmの礫及び不均質なシルト主体 [近現代層]
1	32.00	1.16	1.16	褐色 泥混じりシルト	暗褐			軟	径2~20mmの円礫、角礫を含む。 全般に乱れており、粒度のばらつきが大きい。 砂分は細~中砂。 全般に有機物を含む。 [近世盛土 盛土3]
2	31.16	0.84	2.00	褐色 泥混じりシルト	暗褐			軟	Q1-1.90~2.15mの間に褐色の粘土を挟む。 [近世盛土 盛土2]
3				褐色 泥混じりシルト	暗灰褐			中位	やや不均一なシルト。 [近世盛土 盛土1]
4	29.40	1.76	3.76	褐色 泥混じりシルト	暗灰褐			中位	有機物を多量に含む。 [黒ボク]
5	29.25	0.15	3.91	有機質 粘土	黒褐			軟	有機物を多量に含む。 [黒ボク]
5	28.16	1.09	5.00	砂混じりシルト	黄褐			軟	均質。 細砂をわずかに含む。
6	27.06	1.10	6.10	シルト 混じり砂礫	暗褐			中位	径10~40mmの粗砂及び中~粗砂からなる。 砂分は60~70%で、最大粒径は60mm程度。 含有礫は硬質なものが多い。
7				シルト 混じり砂礫	褐			中位	径10~30mmの円礫及び中~粗砂からなる。 含有礫は風化により軟質化している。
8				シルト 質砂礫	灰褐			中位	やや固結している。 炭化物をわずかに含む。
9	23.96	3.10	9.20	シルト 質砂礫	淡灰			中位	均質な中砂。 細粒分をわずかに含む。
10	23.36	0.60	9.80	シルト 混じり砂	黃褐			中位	北緯 35° 33' 46.520"
10	22.96	0.40	10.20	シルト 混じり砂					東経 136° 39' 36.3100"
11									
12	21.16	1.80	12.00						

地山境



ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図 BP-2 (S=1/60H)
[玉泉院丸北西部 武具役所]

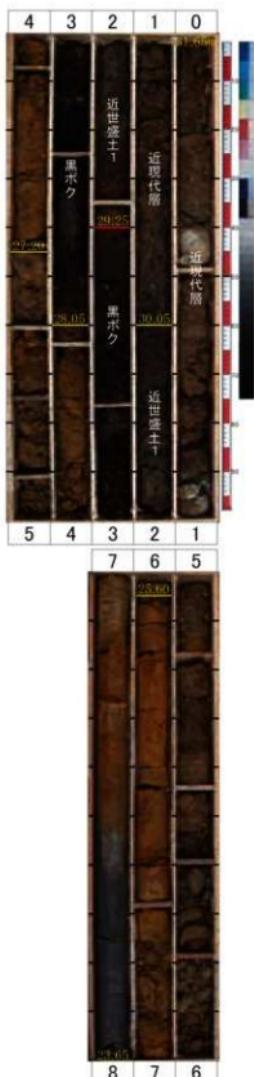
第140図 ボーリングコア詳細柱状図7 (BP-2地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.63				シルト質砂礫	暗褐	緩		径2~40mmの細円礫、角礫及び中~粗砂を含む。 礫分は60~70%。 全般に粘性土分を多く含む。 深度0.4m及び1.0mに径80mmの硬質な豆礫を含む。 [近現代層]
2	30.05	1.60	1.60		シルト質砂礫	暗褐	緩	軟	径20~40mmの細円礫及び中~粗砂を含む。 [近世盛土1]
3	29.25	0.80	2.40		礫混じり有機質粘土	黒褐		軟	有機物を多量に含む。 径5~10mmの細円礫を少量含む。 [黒ボク]
4	28.05	1.20	3.60		砂混じりシルト	黄褐		軟	均質。 細砂をわずかに含む。
5	27.20	0.85	4.45		シルト質砂礫	暗褐	中位		径5~30mmの細円礫及び中~粗砂を含む。
6	25.60	1.60	6.05						
7	23.65	1.95	8.00		シルト	褐	中位	均質。 やや偏結している。	
8						暗灰			
9									

■ 地山境

ボーリングコア柱状図 BP-3 (S=1/50H)
[玉泉院丸南西部 露地方役所]

北緯 36° 33' 43.6910°
東経 136° 39' 35.9830°



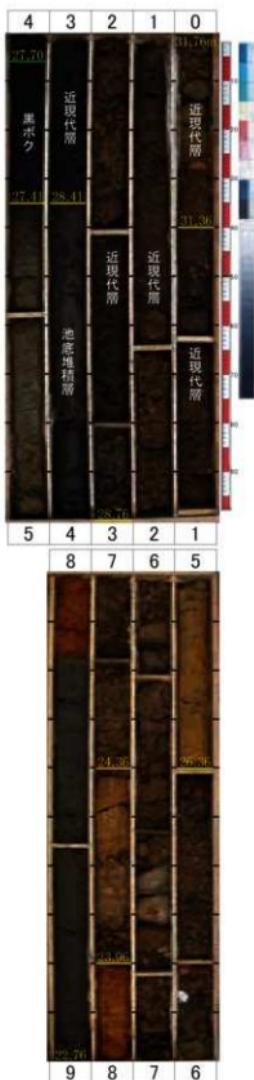
第141図 ボーリングコア詳細柱状図8 (BP-3地点)



ボーリングコア柱状図 BP-4 (S=1/50H)
[玉泉院丸中央部 池]

池底
(堆山塊を兼ねる)

北緯 36° 33' 44.0540'
東経 136° 39' 36.5000'



ボーリングコア写真

第142図 ボーリングコア詳細柱状図9 (BP-4地点)

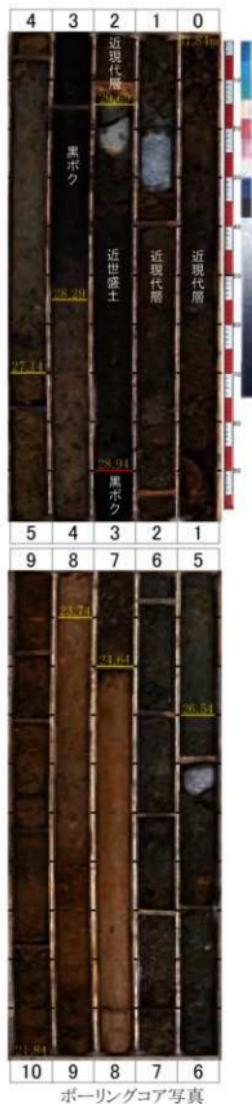
標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.84				シルト質砂礫	暗褐色	級		径5~20mmの亜円礫、角礫及び中~粗砂分がある。 全般に粘土分を多量に含む。 G-0.9m付近に良質片を含む。 G-1.2m付近に径120mmの硬質礫を含む。 G-1.95~2.10m間に細混じり中砂を挟む。 G-2.10m付近にコンクリート片を含む。 [近現代層]
2	29.69	2.15	2.15		礫混じり有機質粘土	暗褐色	軟		有機物を多量に含む。 径2~10mmの亜円礫を少量含む。 G-2.15mに含まれる径80mmの亜円礫は中層の底石の可能性が高。 [近世盛土]
3	28.94	0.75	2.90		有機質粘土	黒褐色	軟		有機物を多量に含む。 径2~10mmの風化した亜円礫を少量含む。 [黒ボク]
4	28.29	0.65	3.55		礫混じり粘土	暗灰色	軟		径2~5mmの亜円礫を含む。 含水が高く軟らかく。 有機物を多く含む。
5	27.14	1.15	4.70		砂質シルト	灰	軟		細砂を20%程含む。
6	26.54	0.60	5.30		シルト質砂礫	青灰色	中位		径10~40mmの亜円礫及び中~粗砂分がある。 全般に粘土分を多く含む。 G-6.5m付近で危水压。
7	24.64	1.90	7.20		礫混じりシルト	褐色	中位	均質。	一部径2~5mmの礫が混入する。
8	23.74	0.90	8.10		シルト質砂礫	褐色	中位		径2~20mmの亜円礫及び中~粗砂分がある。 含有礫は風化により軟質化し、指圧で容易につぶれる。
9	21.84	1.90	10.00						[地山境]
10	21.84	1.90	10.00						

ボーリングコア柱状図 BP-5 (S=1/50H)

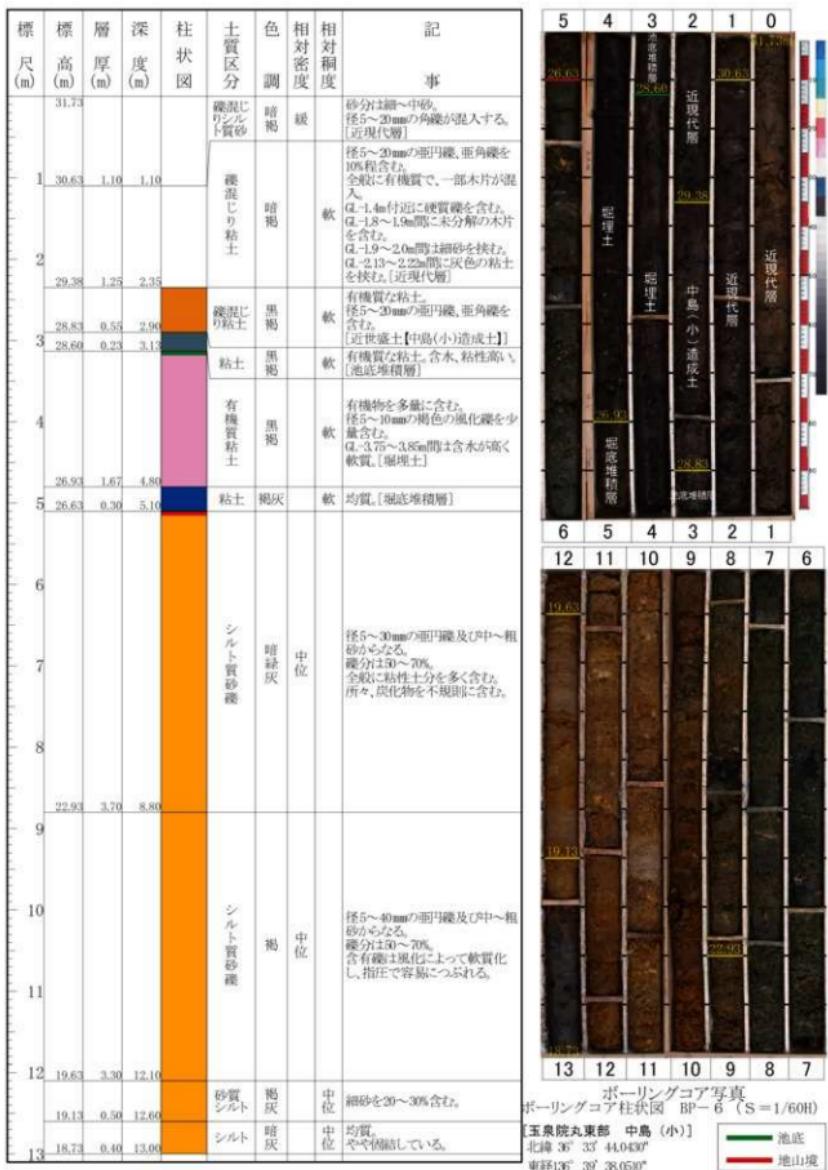
[玉泉院丸東部 中島(大)]

北緯36°33'43.8890"

東経136°39'37.4790"



第143図 ボーリングコア詳細柱状図10 (BP-5地点)



第144図 ボーリングコア詳細柱状図11(BP-6地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
1	31.73				シルト質砂礫	暗褐色	緩	径30~50mmの亜円礫、角礫及び中~粗砂からなる。 礫分は60~80% GL-L6~L8m付近にコンクリート片を挟む。 [近現代層]
2								
3	29.33	2.40	2.40		シルト質砂礫	暗褐色	緩	径5~30mmの亜円礫及び中~粗砂からなる。 礫分は50~70% (4~200~2,300)に炭化物を少量含む。 [近現代土【堆積土】(中)洗成土]
3	28.83	0.50	2.90		粘土	黒灰	軟	軟弱で、塑性高い。[泥質粘土]
3	28.70	0.13	3.03		硬塑じり砂質シルト	暗褐色	軟	軟弱で、塑性高い。[泥質粘土]
4	28.13	0.57	3.60		硬塑じり粘土	黒褐色	軟	径10~40mmの亜円礫が点在する。 上部はやや礫分を多く含む。 [堆積土]
4	27.73	0.40	4.00		有機質粘土	黒褐色	軟	全般に有機物を多量に含む。 下部に炭化物の薄層を不規則に挟む。 [堆積土]
5	26.80	0.93	4.93		有機質粘土	暗褐色	軟	有機物を多量に含む。[堆積堆積層]
5	26.63	0.17	5.10		硬塑じり砂	暗褐色	緩	細粒分を20~40%含む細~中砂。
6	26.28	0.35	5.45		シルト質砂礫	暗褐色	中位	径10~30mmの亜円礫及び中~粗砂からなる。 所々、径100mmの亜円礫を含む。
6	24.93	1.35	6.80		シルト質砂礫	暗褐色	中位	径10~30mmの亜円礫及び中~粗砂からなる。
7								
8					シルト質砂礫	灰褐色	中位	径5~30mmの亜円礫及び中~粗砂からなる。 含有礫は風化により軟質化し、指圧で容易につぶれるものが多い。 礫分は50~70%で、最大礫径は80mm。
9								
9	22.23	2.70	9.50		砂質シルト	灰	中位	細砂を20~30%含む。
10	21.73	0.50	10.00					

ボーリングコア柱状図 BP-7 (S=1/50H)
【玉泉院丸東部 中島(中)】

北緯 36° 33' 43.5420"
東経136° 30' 37.9010"



ボーリングコア写真



第145図 ボーリングコア詳細柱状図12 (BP-7地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対密度	記 事
1	31.69			シルト 混じり 砂礫	褐灰	緩		径5~30mmの凹凸縫、角縫及び中~粗砂がふるなる。 全般に乱れている。 礫分は60~70%。 [近現代層]
2	30.00	1.69	1.69	シルト 混じり 砂礫	暗褐	緩		径5~30mmの凹凸縫、亜角縫及び中~粗砂がふるなる。 全般に乱れている。 [近現代層]
2	29.49	0.51	2.20	疊混じり有機質 粘土	黒褐	軟		径5~10mmの凹凸縫、亜角縫を少量含む。 最大礫径は10mm程度。 (2~25mm付近は礫分がいや多い。 [近世盛土 盛土1])
3	28.89	0.60	2.80	有機質 粘土	黒褐	軟		有機物を多量に含む。 [黒ボク]
4	28.39	0.50	3.30	疊混じり シルト	黄褐	軟		径2~10mmの凹凸縫を少量含む。
5	27.49	0.90	4.20	シルト	灰	軟		均質。 G.L.付近に細砂を挟む。
5	26.69	0.80	5.00	シルト 混じり 砂礫	暗褐	中位		径10~50mmの凹凸縫及び中~粗砂がふるなる。 礫分は60~80%。
6	25.29	1.40	6.40	シルト質 砂礫	褐	中位		径10~40mmの亜凹縫及び中~粗砂がふるなる。 礫分は60~70%。 下部は礫分が少ない。
7								
8				シルト質 砂礫	褐	中位		
9								
10								
11	21.29	4.00	10.40	シルト	灰	中位		均質。 G.L.付近に細砂を含む。 やや固結している。
11	20.69	0.60	11.00					

ボーリングコア柱状図 BP-8 (S=1/60H)

[玉泉院丸南東部 池南(高台)]

北緯 35° 33' 42.7240"

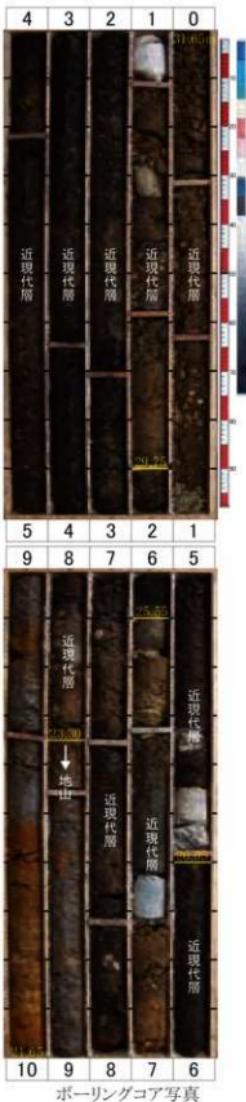
東経 136° 39' 37.8150"



ボーリングコア写真

第146図 ボーリングコア詳細柱状図13(BP-8地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事
	31.65								
1				礫混じり砂		褐	緩		砂分は細～中砂。 所々、径30～50mmの粗円礫を含む。 [近現代層]
2	29.75	1.90	1.90						
3									
4				礫混じり粘土		黒褐	軟		径5～10mmの粗円礫を10～30%含む。 全般に有機物を多量に含む。 GL-4.2m付近に糞金を含む。 (GL-5.4～5.6m間にコンクリート片を含む) [近現代層]
5									
6	26.05	3.70	5.60						
6	25.55	0.50	6.10	礫混じり粘土		黒褐	軟		径2～5mmの粗円礫を少量含む。 有機物を多量に含む。 [近現代層]
7									
8									
9				シルト質砂礫		灰褐～暗灰	中位		径5～20mmの粗円礫及び中～粗砂 からなる。 礫分は50～70%。 径50～100mmの硬質な粗円礫が点在する。 GL-7.4m以深はやや有機質。 [近現代層]
10	23.30	2.25	8.35						
	21.65	1.65	10.00	シルト		灰	中位		均質。 所々、細砂を薄く挟む。 やや固結している。
						褐			

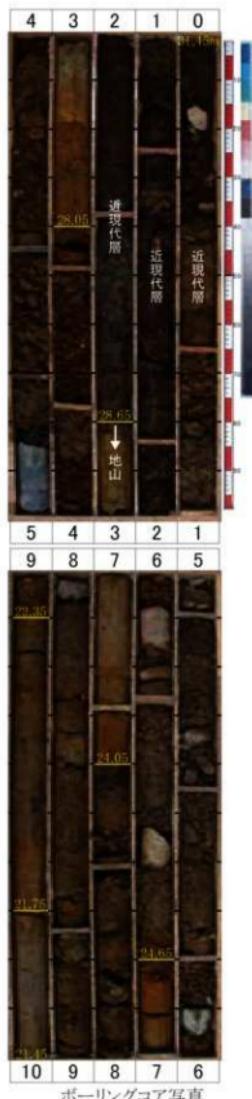


ボーリングコア柱状図 BP-9 (S=1/50H)
[玉泉院丸南東部 墓葬]

北緯 36° 33' 42.7240"、
東経 136° 39' 37.8150"

第147図 ボーリングコア詳細柱状図 14 (BP-9地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	31.43								
1				礫・砂質シルト		暗褐色			径20~40mmの粗角礫20~30%含む。 GL-1.1~1.3m附近は有機物を多く含む。 GL-0.9~1.1mに均質な中砂化含む。 GL-1.45m、1.7m付近に良片を含む。 [近現代層]
2									
3	28.65	2.80	2.80	砂質シルト	褐灰褐色	軟	中~粗砂を20~40%含む。		
4	28.05	0.60	3.40						
5				砂礫	褐色	中位			径20~40mmの粗角礫及び粗砂からなる。 礫分は60~70%で最大礫径±10mm。 礫は礫質なものが多い。
6									
7	24.65	3.40	6.80	シルト	褐灰	中位	均質。		
8	24.05	0.60	7.40	シルト混じり砂礫	暗褐色	中位	やや固結している。		
9	22.35	1.70	9.10	シルト質砂	褐灰	中位	細粒分を20~30%含む細砂。 均質。		
10	21.75	0.60	9.70	砂質シルト	褐灰	中位	微細砂を20%含む。 均質。		
	21.45	0.30	10.00						



ボーリングコア柱状図 BP-10 (S=1/50H)
[玉泉院丸南部 東側斜面基]

北緯 36° 33' 42.1460°
東経 136° 39' 37.2940°

第 148 図 ボーリングコア詳細柱状図 15 (BP - 10 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	32.82				礫混じり砂	暗褐色		表土及び礫混じり砂。 〔近現代層〕
	32.42	0.40	0.40					
1					礫混じり粘土	暗褐色～褐灰	中位	暗褐色の不均質な粘土主体。 径2～50mm、最大100mmの玉石含む。 〔近現代層〕
	31.22	1.20	1.60					
2					礫混じり軟質粘土	暗褐色	中位	暗褐色の不均質な粘土主体。 微細砂～細粒分多く含む。 〔近世盛土・盛土3〕
	30.32	0.90	2.50					
3					礫混じり粘土	暗褐色～褐灰	中位	暗褐色の不均質な粘土主体。 色調変化激しく暗褐色、褐灰色主体 に黒褐色の粘土10～20cmの薄層で 不均一に挟む。
4					礫混じり粘土	暗褐色～褐灰	中位	径2～50mm、最大100mmの玉石含む。 〔近世盛土・盛土2〕
	28.17	2.15	4.65					
	28.02	0.15	4.80		礫混じり粘土	褐灰	中位	径2～50mm、最大径80mmの圓円礫及 び粘土。〔近世盛土・盛土1〕
5					有機質粘土	黒褐色	軟	有機質な粘土主体。 GL: 5.6～8.7%間で2～20mmの礫混じる。 全体的に軟質。 最上部に上位砂層の纏が食い込む。 〔黒ボク〕
	26.82	1.20	6.00					
6					砂質粘土	褐灰	中位	半固結状で均質な粘土。 全体に微細砂～細砂分含む。 礫の混入は無し。 塊状で無層理。 〔卯蛇山層〕
7								
8								
9								
10								
	22.82	3.14	10.00					
								地山塊



ボーリングコア柱状図 BP-11 (S=1/50H)

[玉泉院丸北西部 土藏南]

北緯 36° 33' 58"
東経136° 39' 25"

ボーリングコア写真

第149図 ボーリングコア詳細柱状図16(BP-11地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
			33.24					
1	32.19	1.03	1.03	粘土混じり粘土	暗褐	軟		不均質な礫混じり土。 径2~25mmの細円~粗角礫主体。 マリック片混じる。 [近現代層]
	32.04	0.13	1.20	粘土混じり粘土	暗褐	中位		礫含んだ粘土混じり砂。 不均質。 [近現代層]
	31.74	0.30	1.50	粘土混じり粘土	灰褐	中位		不均質で乱れた粘土。径2~30mm程度の礫多く混ざる。 [近世盛土 盛土3]
	31.64	0.10	1.60	粘土混じり粘土	暗褐	中位		礫含んだ粘土混じり砂。 不均質。 [近世盛土 盛土2]
2								
3				粘土質砂繊	褐灰	中位		径2~30mmの細円礫主体。 全体的に不均質。 マリック片は粘土及び細砂へ中砂。 やや乱れてる。 [近世盛土 盛土2]
4	29.04	2.60	4.20					
5	27.74	1.30	5.50	礫混じり粘土	灰褐→暗褐	中位		不均質で乱れた粘土。 色鶴と暗褐色主体に褐色の粘性土を不均一に混在する。 径2~15mmの細円礫不均一に含む。 [近世盛土 盛土1]
6				有機質粘土	黑褐	非常に軟らかい		黒褐色の粘土主体。 やや有機臭あり。 礫土含まない。 [黒ボク]
7	26.54	1.20	6.70	砂質粘土	褐灰	中位		半固結状の均質で無層理な粘土。 微細砂分全般に含む。 径2~10mm程度の礫っぽか含む。 [卯高山層]
8	25.76	0.78	7.48	粘土混じり砂繊	褐灰	非常に密な		径5~30mm程度の円~細円礫を主体とした砂繊。 マリック片は粘土及び中砂へ粗砂。 非常に密な縦まりを有している。 [卯高山層]
9	25.24	0.52	8.00					

ボーリングコア柱状図 BP-12 (S=1/500)

[玉泉院丸北西部 武具役所]

北緯36°33'58"
東経136°39'25"

ボーリングコア写真

第150図 ボーリングコア詳細柱状図17 (BP-12地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対密度	相対稠度	記 事
1	33.64			縦混じり 粘土	暗褐色	中位			不均質な粘土。 径2~50mm程度の亜角へ凹凸面を不均一に含む。 G.L.-0.25~0.35m, GL-1.00~1.40m間コンクリート片挟む。 [近現代層]
2	32.14 1.50 1.50	0.10	1.60	シルト	黒褐色	中位	田盛土上部にある田盛土。シルト		
3	32.04 31.39 0.65 2.25			縦混じり 粘土	暗褐色 褐灰色	中位	不均質な粘土。 砂分は細かい中砂。 径2mm~最大60mmの凹凸面を含む。 下部ほど縫隙分少なくなる。 [近世盛土 盛土3]		
4	29.39 2.00 4.25			縦混じり 砂質 粘土	暗褐色 褐灰色	軟	不均質な粘土。 色変化激しく暗褐色~褐灰色~灰褐色色に不均一に繰り返す。 径2mm~最大60mmの凹凸面を含む。 下部ほど縫隙分少なくなる。 砂分は細かい中砂。 [近世盛土 盛土2]		
5	27.84 1.55 5.80			縦混じり 砂質 粘土	暗褐色 褐灰色	中位	粘性の高い粘土主体。細砂~中砂を不均一に含む。 [部分的に砂質粘土 色変化激しく、G.L.-4.50~5.25m間暗褐色色(G.L.-5.25~5.75m褐灰色)。 [近世盛土 盛土1]		
6	27.24 0.60 6.40			砂質 粘土	暗褐色 褐灰色	中位	粘性の高い粘土主体。細砂~中砂を不均一に含む。一部粘土質砂状。 色変化激しく、G.L.-5.75~6.10m間暗褐色色(G.L.-6.10~6.40m間暗褐色色を呈す)。 [近世盛土 盛土1]		
7	26.64 0.60 7.00			有機質 粘土	黒褐色	軟	有機質な粘土。 軟質で有機物あり。 径30mm程度の縫隙を多く含む。 [黒ボク]		
8	24.64 2.00 9.00			粘土 縦混じり 砂繊	褐灰色	非常に密な	径2~70mmの凹凸面を主体に最大コア長200mmの玉石を含む。 マリック式孔隙率の測定中(6~16%)~粗砂主体に、粘性の高い砂分が千混ざる。 織種は軽石質へ火成岩繊に泥岩、褐灰色岩等が混じり多種である。 織種は風化也くさり縫隙状となっているものも多い。 非常に密な縫隙を多く含む。 [卯底山層]		
9	24.64 2.00 9.00								

地山境

ボーリングコア柱状図 BP-13 (S=1/50H)

[玉泉院丸北西部 鼠多門東]

北緯 36° 33' 57"

東経 136° 39' 25"



ボーリングコア写真

第151図 ボーリングコア詳細柱状図 18 (BP-13 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	33.41				粘土	黒褐色	中位	軟質な粘土。 [近現代層]
	33.06	0.35	0.35		褐色 り粘土	褐色 暗褐色	中位	径2~30mmの礫を多く含んだ粘土。 [近現代層]
1	32.41	0.65	1.00		粘土	暗褐色	中位	初期盛土上部に分布する旧表土。 [近現代層]
	32.31	0.10	1.10		褐色 り粘土	褐色 暗褐色	中位	径2~30mmの礫を多く含んだ粘土。 最大ア長15~20mmの玉石含む。 [近現代層]
	31.76	0.55	1.65		粘土	褐色 暗褐色	中位	初期盛土上部に分布する旧表土。 [近世盛土 盛土2]
2	31.71	0.65	1.70		褐色 じり り粘土	褐色 暗褐色	中位	初期盛土上部に分布する旧表土。 [近世盛土 盛土2]
3	30.16	1.55	3.25		褐色 じり り粘土	褐色 暗褐色	中位	不均質な粘土。 径2~40mm程度の亜円礫含む。 不均一に黒色のシルト含む。 [近世盛土 盛土2]
4	28.53	1.63	4.88		砂質粘土	褐色 暗褐色	軟	粘性の高い粘土主体。 微細砂・細砂全分に含む。 Q: 3.25~3.75m暗褐色, G: 3.75~4.90m褐色など。 不均一に径5~20mm程度の礫を若干含む。 [近世盛土 盛土1]
5	27.11	1.42	6.30		有機質粘土	黒褐色 暗灰色	軟 中位	有機臭のある軟質な粘土。 下部ほど硬くなる。 礫などは含まない。 (2~5.8m以深)褐色となり、有機分減少する。 [黒ゴク]
6	26.41	0.70	7.00		粘土 混じり 砂礫	褐色	非常に 密な	径2mm~最大80mmの亜円礫を70%程度含む。 マトリックスは泥炭の塊、中砂~粗砂主体に、粘性的の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質~火成岩質に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化細々くさり縦状となっているものも多い。 非常に密な縛まりを有している。 [卯蛇山層]
7								
8								
9								

ボーリングコア柱状図 BP-14 (S=1/50H)

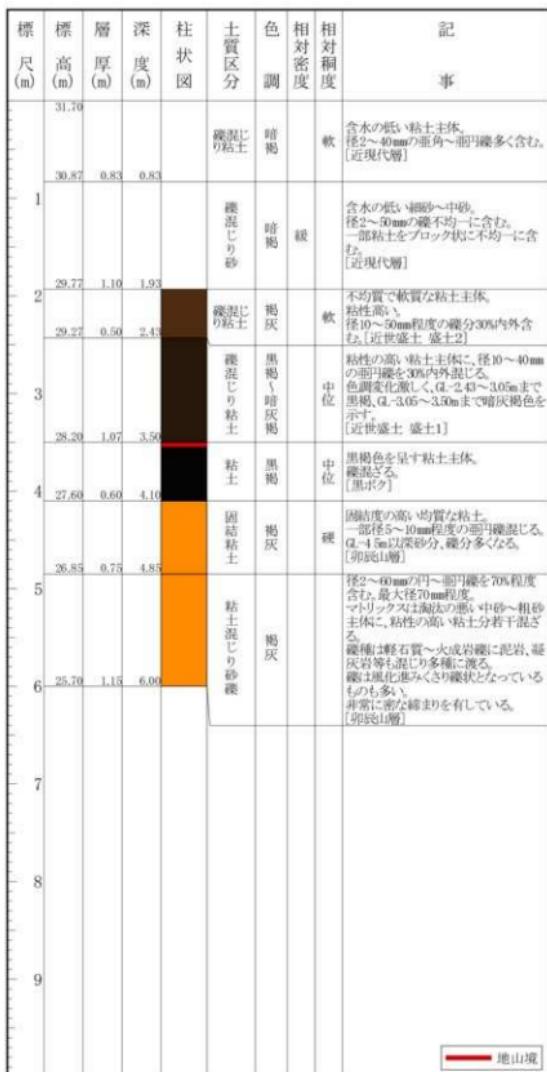
【玉泉院丸北西部 露地方役所北】

地山境

北緯 36° 33' 57"
東経 136° 39' 25"

ボーリングコア写真

第152図 ボーリングコア詳細柱状図19 (BP-14地点)

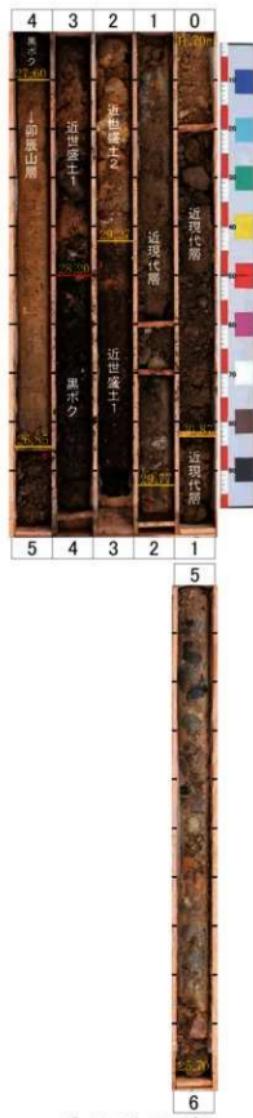


ボーリングコア柱状図 BP-15 (S = 1/50H)

[玉泉院丸中央部 露地方役所]

北緯 36° 33' 57"

東経 136° 39' 25"



ボーリングコア写真

第153図 ボーリングコア詳細柱状図 20 (BP-15地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.66			縫混じり粘土	暗褐色	軟			不均質な縫混じり粘土主体。 径2~30mmの亜角~亜円礫不均一に含む。 Gr. 1.50~1.65m褐色を呈す。 [近現代層]
2	30.01	1.65	1.65	粘土	暗褐色	軟			やや有機臭のある粘土。 縫わけか含む。 [近現代層]
3	29.11	0.90	2.55	縫混じり粘土	暗褐色	中位			不均質な縫混じり粘土主体。 径2mm~最大50mmの亜角~亜円礫不均一に含む。 全体に軟質で有機臭あり。 [池底堆積層]
4	28.51	0.60	3.15	縫混じり粘土	暗褐色				
5				粘土混じり砂礫	褐色	非常に密な			径2~70mm程度の円~亜円礫を70%内外含む。 最大2cm長140mm程度。 マリックスは褐色の筋、中位~粗砂主構成、粘性の筋、粘土分若干混ざる。 砂礫は碎石から火成岩砕に泥岩、凝灰岩等、並じり多種に混入。 礫土風化拵くさり緩状となっている もあり多く。 非常に密な締まりを有している。 [卯蛇山層]
6									
7									
8	24.26	4.25	7.40	固結粘土	帶黃褐色~暗灰色	固結した			固結度の高い粘土。 Gr. 7.75m付近まで帶黃褐色を呈し、 Gr. 7.75m以降暗灰色を呈す。 5~10°程度の発達面立つ。 指でもむと粘土化する。[卯蛇山層]
9	23.66	0.60	8.00						

ボーリングコア柱状図 BP-16 (S=1/50H)
【玉泉丸中央部 紅葉橋南池】

北緯 36° 33' 57"
東経 136° 39' 25"



ボーリングコア写真

第154図 ボーリングコア詳細柱状図21(BP-16地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対稠度	記 事
	31.7				砂 礫	白 灰	緩	繊多く混ざる砂礫。 [近現代層]
	31.4	0.30	0.30		織 じ り 砂 質 粘 土	暗 褐 い 褐 灰	軟	不均質な粘土。 径2~20mmの亜円礫~亜角礫30%内 外含む。 部分的に砂分多く粘土質砂状を呈す。 [近現代層]
1								
	30.11	1.30	1.60		砂 礫 印 付	黒 褐	中位	コクス砂層。[近現代層]
	30.01	0.10	1.70		織 じ り 砂 質 粘 土	褐 灰 化 した 褐 灰		[近現代層]
2	29.76	0.25	1.95		織 じ り 砂 質 粘 土	暗 褐 い 褐 灰	中位	黒褐色の粘土主体に、径10~30mmの 亜円礫~亜角礫30%程度含む。 色彩変化激しく、G-1.65~2.40mまで 黒褐色、G-2.40~2.70mまで暗褐色。 [近世盛土]
	29.00	0.76	2.71		織 じ り 砂 質 粘 土	暗 褐 い 褐 灰	中位	黒褐色の粘土主体に、径10~30mmの 亜円礫~亜角礫30%程度含む。 [黒ボク]
3					粘 土	黒 褐	軟	
	28.41	0.59	3.30		粘 土	褐 い 褐 灰	中位	粘性の高い粘土主体に、径10~20mm の凹凸不均一に者十合む。 生れに、径50mm程度の纏合む。 上部若干分含む。 [卯蛇山層]
4					粘 土	褐 い 褐 灰	中位	
5					粘 土	褐 い 褐 灰	中位	
6	26.18	2.23	5.53		粘 土 混 じ り 砂 礫	褐 灰 い 褐 灰	非常に 密 な	径2~40mm程度の亜円礫~亜角礫 70%程度含む。 最大径50mm程度。 マリックは土面法の悪、中砂~粗砂 主材、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は斜石質~火成岩類に泥岩、凝 灰岩等も混じり多種に渡る。 礫土風化並みくさび状となっている ものも多い。 非常に水の締まりを有している。 [卯蛇山層]
7					粘 土 混 じ り 砂 礫	褐 灰 い 褐 灰	非常に 密 な	
8	24.31	1.87	7.40		固 結 粘 土	褐 灰 い 淡 褐 灰	固 結 し た	微細砂含んだ閉結度の高い粘土。 全分体が均質。 5~10°程度の層理が目立つ。 [卯蛇山層]
9								

ボーリングコア柱状図 BP-17 (S=1/50H)
〔玉泉院丸中央部 出島〕

北緯 36° 33' 56"

東経 136° 39' 26"



ボーリングコア写真

第155図 ボーリングコア詳細柱状図22(BP-17地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対密度	相対稠度	記 事
	31.68								
1					緩混じり粘土	暗褐色～褐灰色～黒褐色	中位		不均質な粘土。 径2~40mmの亜角礫～面凹礫不均一に含む。 色調変化激しく、G.2.1mまで黒褐色～暗褐色(G.2.5mまで褐灰色を呈す)。 G.2.5~2.8m間コンクリート片及び玉石挟む。 [近現代層]
2									
28.88	28.00	2.80							
3					シルト質砂	褐灰色～灰褐色	密な		細砂へ中砂を主体とし、部分的に微細砂となる。 5~10°の層理面直立つ。 [卯蛇山層]
4									
26.98	1.90	4.70							
5									
6					固結粘土	褐色～暗灰色～淡灰色	固結	均質な固結粘土。 一般強度高い。細砂～中砂挟む。 5~10°程度の層理面直立つ。 G. 6.1~6.5m間6cm層となる。 G. 6.9~7.5m砂層となる。 色調変化激しく0.5m程度の層厚で変化する。 [卯蛇山層]	
7									
8	23.68	3.30	8.00						
9									

ボーリングコア柱状図 BP-18 (S = 1/500)
[玉泉院丸東部 出島北東～園路]

北緯 36° 33' 57"
東経 136° 39' 27"



第 156 図 ボーリングコア詳細柱状図 23 (BP - 18 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
1	29.51				粘土質礫	暗褐	中位	径2~50mmの礫50%以上含む。 マトリックスは粘性、含水中位の不均質な粘土主体。 [近世盛土 盛土]
2	27.61	1.90	1.90	■	礫混じり粘土	黒褐	軟	やや軟質で不均質な粘土。 若干有機臭あり。 径2~30mm程度の亜円礫~亜角礫30%内外含む。 [堆埋土]
3	26.71	0.90	2.80	■	礫混じり粘土	暗褐	中位	不均質な粘土主体。 径2~30mm程度の亜円礫30~50%程度含む。 砂分は細砂へ中砂含む。 旧塗の堆積層と推定される。 [堆底堆積層]
4	24.96	1.75	4.55	■	粘土質砂礫	暗灰	非常に弱な	径2~50mm 最大径50mm程度の亜円礫を70%内外含む。 マトリックスは褐色の悪い中砂~粗砂主体に粘性の弱い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質へ火成岩質に泥岩、板灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化進み小さき礫状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。 GL-6.9~7.0m間隙少なくて細砂~中砂となる。
5	23.21	1.75	6.30	■	粘土混じり砂礫	褐灰	非常に弱な	
6	22.51	0.70	7.00	■	粘土混じり砂礫	褐灰	非常に弱な	
7								
8								
9								



ボーリングコア柱状図 BP-19 (S = 1/50H)

[玉泉院丸東部 池岸]

北緯 36° 33' 56"

東経 136° 30' 27"

ボーリングコア写真

第157図 ボーリングコア詳細柱状図 24 (BP-19地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対密度	相対稠度	記 事
1	31.90				細混じりシルト質砂	暗褐色	中位		細砂～中砂主体。 径約30mm程度の円～卵形礫30%程度含む。 G-0.8～1.0mまでコア長200mm程度の 玉石含む。 全体に含水低め。 [近現代層]
	30.60	1.30	1.30		砂	暗褐色	緩		均質(?)砂。馬場砂と推測される。 [近現代層]
	30.35	0.25	1.55		細混じり粘土	暗褐色		軟	粘性の高い軟質な粘土主体。 径2～15mm、最大径10mm程度の礫多く含む。 全体に乱れており不均質。 [近現代層]
2	28.70	1.65	3.20		有機質粘土	暗灰色		軟	有機臭の強い軟質な有機質粘土。 礫土混入なし。 [池底堆積層]
	27.85	0.85	4.05		粘土質砂礫	暗灰色	非常に密な		径2mm～最大粒200mm程度の玉 石を含んだ円～卵形礫主体。 マトリックスは暗灰色～暗緑灰色の 細粒～中砂及び粘性の高い粘土。 [卯辰山層]
5	25.25	2.60	6.65		粘土混じり砂礫	暗灰色			径2mm～最大径60mmの細円礫を50～ 70%程度含む。 マトリックスは粘土の悪い中砂～粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火成岩質～泥岩、基 岩等が混じり多様である。 礫は風化態様くつき羅状となっている ものが多い。 非常に大きな縞まりを有している。 [卯辰山層]
	24.15	1.10	7.75		固結粘土	褐色	固結した		5～10°程度の層理面にはつきりした 粘土。 微細砂分若干混入する。 [卯辰山層]
	23.90	0.25	8.00						
6									
7									
8									
9									

ボーリングコア柱状図 BP-20 (S = 1/50H)

[玉泉院丸中央部 池]

北緯 36° 33' 56"

東経 136° 39' 25"



ボーリングコア写真



第 158 図 ボーリングコア詳細柱状図 25 (BP - 20 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
	30.03							
	29.13	0.90	0.90		シルト トリ 砂礫	暗 褐	緩	現代の埋土。 玉石及びコンクリート多く混ざる 砂礫。 [近現代層]
1	28.53	0.60	1.50		疊混じ り粘土 ↓ 粘土	暗 褐	軟	不均一な粘土。層相変化著しい。 0.2~1.0mまで(径5~20mm)砂含む粘土。 0.4~1.5mまで(砂含まない)粘土。 [地底堆積層]
	28.33	0.20	1.70		疊混じ り粘土	灰 褐	軟	径2~15mmの砂内に砂含む粘土。 [近世盛土]
2					疊混じ り粘土	黑 褐	軟	軟質で含水の高い粘土。 やや有機臭あり。 庭改修時の粘土と推定。 径2~20mm、最大径30mmの円内に砂 30%、細砂へ中砂不均一に含む。 [埋土]
3	26.48	1.85	3.55		粘土	暗 褐	軟	軟質な粘土、有機臭あり。 [地底堆積層]
	26.43	0.05	3.60		疊混じ り粘土	暗 褐 ↓ 褐 灰	中位	不均質な粘土。 色調変化激しく、局所的に暗灰へ湯 灰の粘土挟み。 径2~40mm程度の砂内を不均一に 含む。粘性高い。 旧田の粘土と推定される[埋土]。
4	25.73	0.70	4.30		疊混じ り粘土	暗 褐	軟	田畠の堆積物、粘土主体。 田畠の堆積物、粘土主体。
	25.68	0.05	4.35		粘土	暗 褐	軟	[地底堆積層]
5								
6					粘土 混じ り砂 礫	暗 灰	非常 に密な	径2mm~最大コア長100mmの砂内を 50~70%含む。 マトリックスは陶汰の感、中砂へ粗砂 主体に、粘性の弱い粘土分若干混ざる。 縦構造は砾石層へ火成岩層へ泥岩、基 岩等へ粗じ多孔隙である。 砂土風化節くさび縦状となっている ものが多い。 非常に密に縦まりを有している。
7	23.03	2.65	7.00		粘土 混じ り砂 礫	褐 灰	非常 に密な	径2mm~最大コア長100mmの砂内を 50~70%含む。 マトリックスは陶汰の感、中砂へ粗砂 主体に、粘性の弱い粘土分若干混ざる。 縦構造は砾石層へ火成岩層へ泥岩、基 岩等へ粗じ多孔隙である。 砂土風化節くさび縦状となっている ものが多い。 非常に密に縦まりを有している。
8	22.03	1.00	8.00		粘土 混じ り砂 礫			
9								

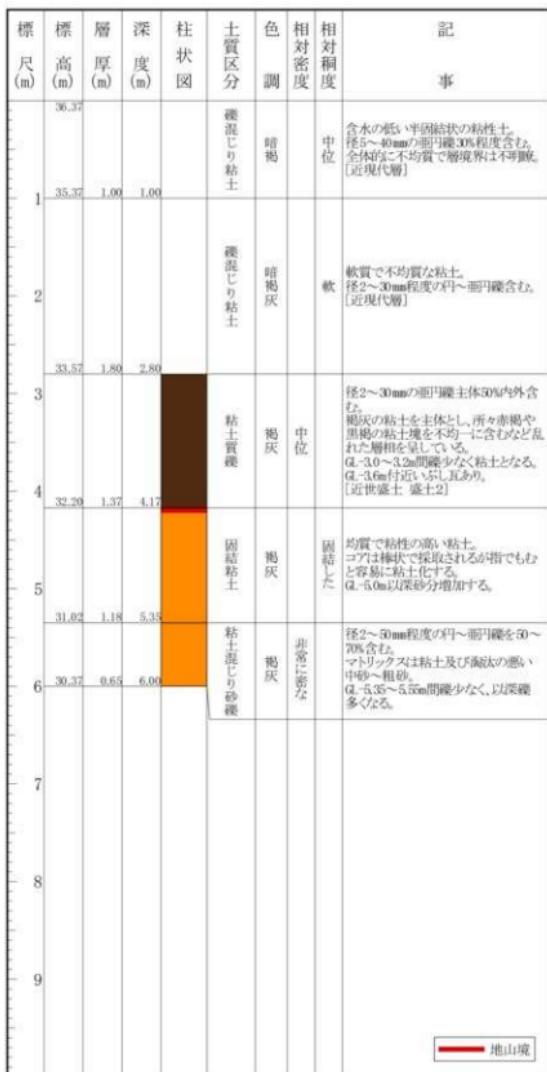
ボーリングコア柱状図 BP-21 (S=1/50H)

[玉泉院丸東部 池]

北緯 36° 33' 56"
東経 136° 39' 27"

ボーリングコア写真

第159図 ボーリングコア詳細柱状図 26 (BP-21 地点)

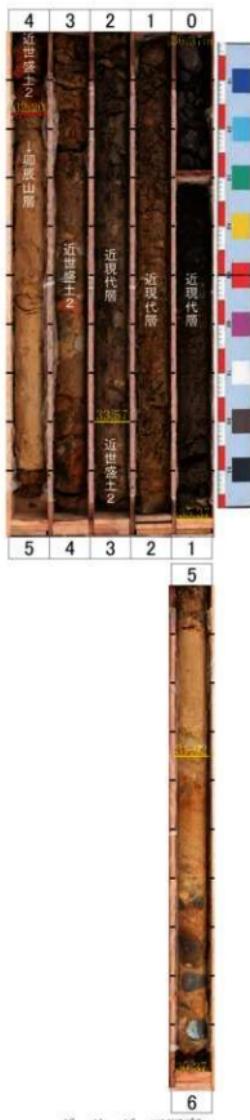


ボーリングコア柱状図 BP-22 (S=1/50H)

[本丸附段西側石垣下段北斜面]

北緯 36° 33' 56"

東経 136° 39' 28"



ボーリングコア写真

第 160 図 ボーリングコア詳細柱状図 27 (BP - 22 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	31.78							
1				混じり粘土		暗褐	中位	含水低く、粘性中位で不均質な粘土。 径10mm～最大50mmの円孔～亜角礫 含む。 [近現代層]
2	29.63	2.15	2.15					
				シルト混じり砂	黒灰	緩		含水高く高い峰よりの細砂～中砂主体。 上部径10mm程度の礫若干含む。 下部細粒分含む。 [近現代層]
29.03	0.60	2.75						
3				硬混じり粘土	黑褐色～暗褐		中位	粘性高～粘土。 径2～20mmの円孔混ざる。 色調は下位ほど黒みがかる。 [近現代層]
28.16	0.87	3.67						
27.93	0.23	3.87		粘土質砂	暗灰	中位		均質な細砂、礫とハサカ混ざる。 [池底堆積層]
4				硬混じり粘土		暗褐	中位	均一な粘土。 G.3.85～4.0mまで径10～20mmの亜 円礫含む。 G.4.05～4.38mまで礫の含有量少な くなる。 [堆底堆積層または場埋土]
27.40	0.53	4.38						
5				粘土混じり砂礫		暗灰		径2～50mmの円～亜円礫を50～70% 程度含む。 G.6.60～6.85m間粘土挟む。 マトリックスは粘土の悪い中砂～粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざ る。 くさり繩状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。
6								
7	24.78	2.62	7.00	粘土混じり砂礫	褐灰	非常密		径2～50mmの円～亜円礫を50～70% 程度含む。 マトリックスは粘土の悪い中砂～粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざ る。非常に密な締まりを有している。
8	23.78	1.00	8.00					
9								

ボーリングコア柱状図 BP-23 (S=1/500)

[玉泉院丸東部 池]

北緯 36° 33' 55"
東経 136° 39' 25"

5 4 3 2 1



8 7 6

ボーリングコア写真

第161図 ボーリングコア詳細柱状図 28 (BP-23 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対 稠度	記 事
1	31.80				礫混じり砂	暗褐色～暗灰	中位	細砂～中砂主体。 径2～50mmの圓形凹縫～亜角礫含む。 全層に含水低。 G-Lm以深シルト分多く含む。 [近現代層]
2	29.90	1.90	1.90		泥炭 泥炭 リシルト	暗褐色	軟	不均質なシルト主体。 径2～40mmの圓形凹縫を不均一に含む。 [近現代層]
3	29.00	0.90	2.80		粘土	暗褐色	軟	やや有機質な粘土。 G-Lm付近泥炭混ざる。 [池底堆積層]
4	28.80	0.20	3.00		砂	暗褐色	緩	細砂主体。細粒分含量ない。 [池底堆積層]
5	28.50	0.30	3.30		粘土	黒褐色	軟	やや有機質な粘土。 径5～20mmの礫若干混ざる。 [池底堆積層]
6	28.26	0.24	3.54		粘土質砂礫	暗灰	非常 に 密 な	径2～50mmの礫を50%内外含む。 色調は暗灰色主体でマトリックスは濁汰の悪い中砂～粗砂及び粘土。
7	26.10	2.16	5.70		粘土質砂礫	褐色	非常 に 密 な	径2mm～最大径70mmの圓形凹縫を50～70%程度含む。 マトリックスは濁汰の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火成岩繊維～泥岩、凝灰岩等で混じり多種に渡る。 礫は風化也くさり繩状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。
8	23.80	2.30	8.00					
9								

ボーリングコア柱状図 BP-24 (S = 1/50H)
[玉泉院丸東部 池]



ボーリングコア写真

第162図 ボーリングコア詳細柱状図 29 (BP-24 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.97				硬泥じり砂	暗褐色	中位		不均質な砂主体に径2~40mm、最大50mmの砂円～亜角礫多く含む。 [近現代層]
2	30.97	1.00	1.00		硬泥じり粘土	暗褐色			不均一でやや有機質な粘土。 径2~30mmの亜角～細角含む。 色調変化激しく、暗褐色～褐灰色等に変化する。 [近現代層]
3	29.62	1.35	2.35		硬泥じり粘土	暗褐色	中位		礫を多く含んだ不均質な粘土。 [近世盛土・盛土2]
4	29.19	0.43	2.78		粘土	暗褐色	軟		やや有機質な粘土。全層に軟質。 [池底堆積層]
5	29.07	0.12	2.90		硬泥じり粘土	褐灰色			径100mmの玉石含む。 [近世盛土]
6	28.97	0.10	3.00		硬泥じり粘土	暗褐色	中位		不均一で軟質な粘土。 [池底堆積層]
7	28.80	0.17	3.17		粘土混じり砂礫	褐灰色	非常に密な		径2mm～最大40mmの砂円礫を50%程度含む。 マトリックズは柔軟の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火山岩質に泥岩、凝灰岩等も混じり多様に渡る。 礫は風化進んでさざな礫状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。
8	25.84	2.96	6.13		固結粘土	灰褐色～暗灰色	固結した		均質な粘土。コブは挿抜で採取されるが手で崩壊し易い程度の硬さ。 5°～10°程度の崩壊面立つ。 色調変化激しく、GL-7.10～7.68mまで 灰褐色、GL-7.68～7.80mまで暗灰色。 GL-7.80～8.00mまで褐色を呈す。
9	23.97	1.87	8.00						

ボーリングコア柱状図 BP-25 (S=1/50H)

[本丸附段西側石垣下段複]

北緯36°33'56"

東経136°39'27"



ボーリングコア写真

第163図 ボーリングコア詳細柱状図30(BP-25地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
			31.78		複合じり 粘土質砂	暗褐色	緩	含水、粘性の低い細砂～中砂。 径2～30mm程度の亜角～亜円織30% 内外含む。 全体的に不均質。 [近現代層]
1	30.68	1.10	1.10		砂	褐色		細砂～中砂主体。 [近現代層]
	30.28	0.40	1.50		複合じり 粘土質砂	暗褐色	緩	細砂～中砂主体。 径2～30mm程度の亜角～亜円織含む。 粘土分不均一にブロック状に含む。 [近現代層]
2	29.78	0.50	2.00		複合じり 粘土	暗褐色	軟	粘性の高い不均一な粘土。 径2～30mm程度の亜角～亜円織含む。 最大径20mm程度の石子含む。 [近現代層]
	28.00	1.78	3.78		砂質粘土	暗褐色～褐色	軟	暗灰色の微細砂混ざった粘土主体に 褐色の粘土が不均一に含む。 (2.45～5.0m以深やや砂分多くなる。 2.5～5.0m以深微細砂分多くなる。
4					砂質粘土	暗褐色～褐色	軟	
5					粘土質砂	暗灰	非常に密な	径2～40mm程度の亜円織50%内外含む。 マトリックスは暗灰色の粘土及び中砂～粗砂主体。
6					粘土質砂	暗灰	非常に密な	径2mm～最大径70mmの亜円織を50～ 70%程度含む。 マトリックスは暗灰色の粘土～中砂～粗砂 主体に粘性の高い粘土分若干混ざる。 非常に密な締まりを有している。
7	24.68	1.52	7.10		粘土質砂	褐色	非常に密な	
8	23.78	0.90	8.00		粘土質砂			
9								

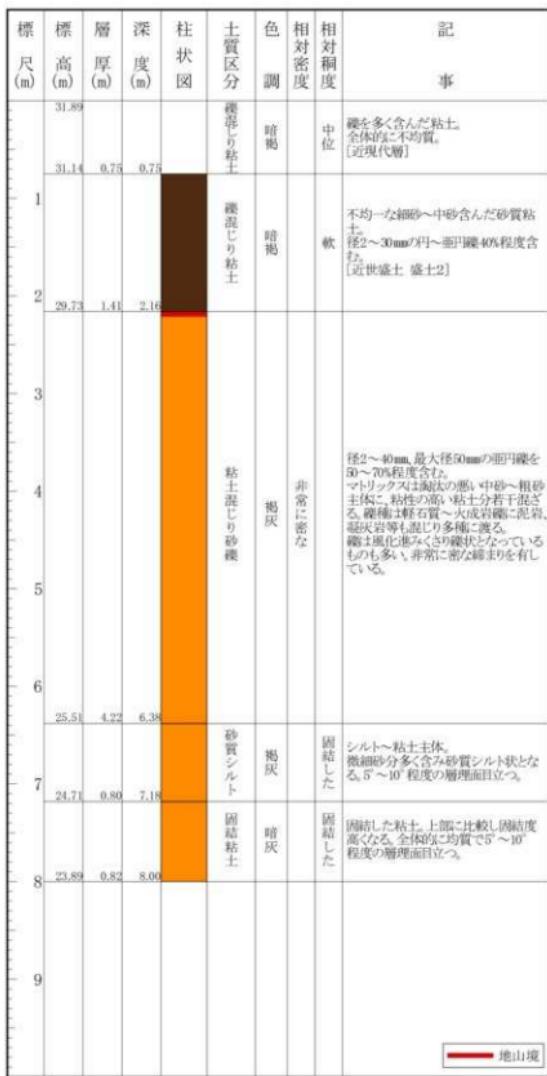
ボーリングコア柱状図 BP-26 (S=1/50H)
[玉泉院丸南東部 池]

北緯 36° 33' 55"
東経 136° 39' 25"



ボーリングコア写真

第164図 ボーリングコア詳細柱状図31(BP-26地点)



ボーリングコア柱状図 BP-27 (S = 1/50H)

[玉泉院丸南東部 東側斜面幅]

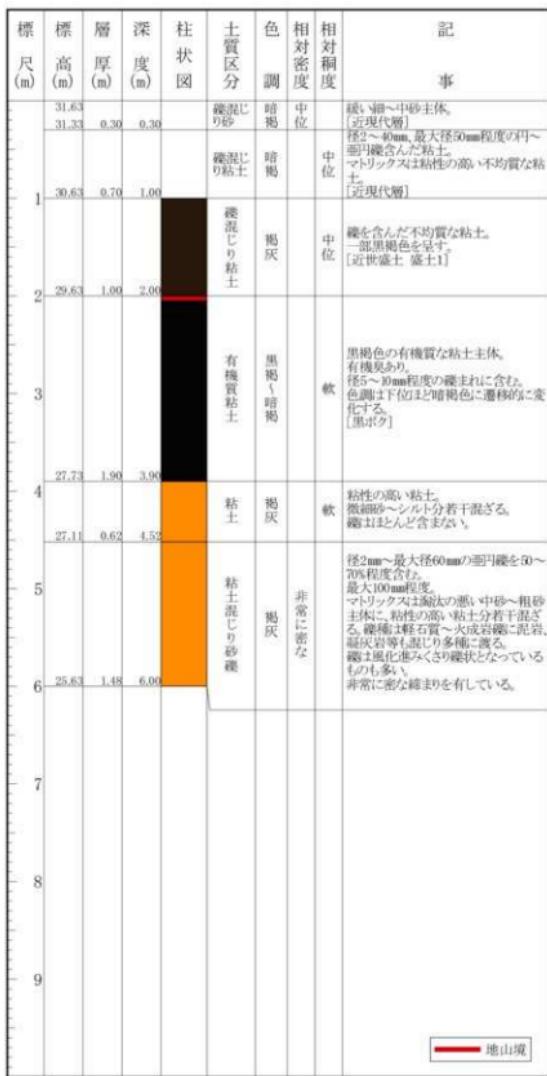
北緯 36° 33' 54"

東経 136° 39' 28"



ボーリングコア写真

第165図 ボーリングコア詳細柱状図 32 (BP-27 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-28 (S=1/50H)
[玉泉院丸南部 高台]

北緯36°33'54"
東経136°39'25"



ボーリングコア写真

第166図 ボーリングコア詳細柱状図33(BP-28地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	34.17 33.92	0.25	0.25		表土 黒褐	軟		草根混じりシルト。[近現代層]
1	33.17	0.75	1.00		シルト 混じり 砂 黒褐灰	硬		細砂主体にシルト含む。 含水低い。 礫は含まない。 [近現代層]
2								
3								
4	30.77 30.57	2.40 3.60	3.40		コンクリート 混 溶 混 じ り 粘 土	白灰	コンクリート片あり。[近現代層]	
5	29.77	0.80	4.40		粘 土 混 じ り 粘 土	暗 褐	中位	径2～30mmの円～亜円礫を含んだ不均質な粘土。 所々不均一に黒褐色の粘土～褐色の粘土を挟む。 [近世盛土 盛土2]
6	28.70	1.07	5.47		粘 土 混 じ り 砂 纏	褐 灰 → 暗 褐	中位	径2～50mmの円～亜円礫主体。 マリック穴由中砂～粗砂及び粘土。 所々不均一に黒褐色の粘土～褐色の粘土を挟む。 [近世盛土 盛土1]
7								
8								
9								

ボーリングコア柱状図 BP-29 (S=1/50H)

[玉泉院丸南石垣土塀下背面]

地山境

北緯 36° 33' 54"
東経 136° 39' 24"



ボーリングコア写真

第167図 ボーリングコア詳細柱状図34(BP-29地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
	31.70				纏混じり 粘土	黒褐色	軟	(G-0.4mまで)やや有機質な粘土 (G-0.4~0.9mまで)纏合した乱れた粘土 [近現代層]
	30.80	0.90	0.90					
1								
2								
	29.20	1.60	2.50					
	28.94	0.26	2.76		纏混じり 粘土	暗褐色 黒褐色	中位	不均質な粘土主体。 径2~50mmの面凹縫合む。 混入量は不均一で所々粘土質織状となる。 最大縫隙80mm程度。 [近世盛土]
3								
4								
5								
6								
7	24.70	4.24	7.00					
8								
9								

地山境

ボーリングコア柱状図 BP-30 (S=1/500)

[玉泉院丸南部 南部斜面]

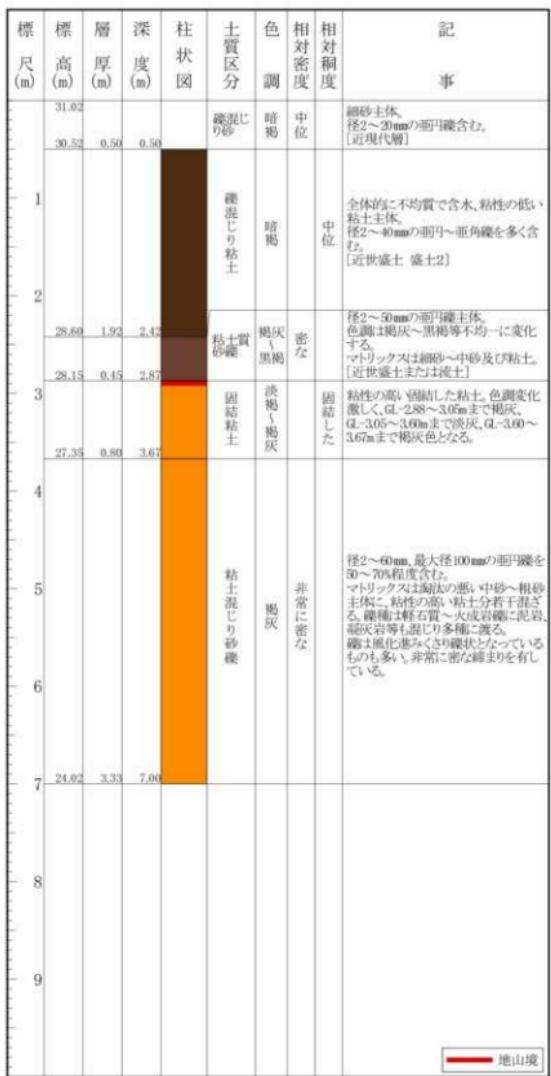
北緯 36° 33' 53"

東経 136° 39' 26"



ボーリングコア写真

第168図 ボーリングコア詳細柱状図35(BP-30地点)



ボーリングコア柱状図 BP-31 (S=1/50H)

【玉泉院丸南石垣土塀下背面】

北緯 36° 33' 53"

東経 136° 39' 26"



ボーリングコア写真

第169図 ボーリングコア詳細柱状図 36 (BP-31地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事			
								シルト	暗褐	軟	植物根若干含んだシルト。 [近現代層(表土層)]
1	33.76 33.53	0.23	0.23	■	■	■	中位	■	■	■	径2~50mmの礫及び不均質な粘土。 乱れてい。 [近世盛土]
	32.56	0.97	1.26	■	■	■					
2				■	■	■					
3				■	■	■	非常に固めな	■	■	■	径50mm~最大コア長200mm程度の巖・ 玉石主体。 巖が50~80%以上を占める。 埴壁の裏込土。 マトリックスは不均質な粘土。 [栗石・石垣礫込土]
4				■	■	■					
5	28.76 3.80	5.00	5.00	■	■	■					
6											
7											
8											
9											

ボーリングコア柱状図 BP-32 (S=1/50H)

[数寄屋屋敷西堀縁石垣背面]

北緯 36° 33' 47.7"

東経136° 39' 36.5"



第 170 図 ボーリングコア詳細柱状図 37 (BP - 32 地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 圖	土 質 分 区	色 調	相 対 密 度	記 事
	33.94							植物根含む表土。シルト主体。 [近現代層(表土)]
	33.74	0.20	0.30	シルト 暗褐			軟	
1				縦混じりシルト	黒褐		軟	やや軟質で不均質なシルト主体。 径2~30mmの凹凸線を不均一に含む。 [近世盛土]
2	31.94	1.80	2.00					コア長180~250mmの玉石。
	31.69	0.25	2.25					縦混じりシルト。
	31.19	0.50	2.75		灰褐		中 位	コア長180mmの玉石挟む。 [近世盛土]
3				シルト混じり砂礫				径2mm~最大コア長80mmの凹凸線を 50~70%含む。 マトリックスは衝撃の悪い中砂~粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 縦構造は軽石質へ火成岩中に泥岩、凝 灰岩等も混じり多種に後る。 縦は風化進みくさり縦状となっている ものも多い。 非常に密な締まりを有している。 [卯蛇山層]
4				淡灰褐			非 常 に 密 な	
5	28.94	2.25	5.00					
6								
7								
8								
9								

■ 地山境

ボーリングコア柱状図 BP-32-2 (S=1/50H)

[数寄屋屋敷西堀縄石垣背面]

北緯36°33'47.7"

東経136°39'36.5"



ボーリングコア写真

第171図 ボーリングコア詳細柱状図38 (BP-32-2地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	26.36			縫合じりシルト	暗褐色	中位	0.0~0.25m 芝生。 は.-0.2~1.0mまでコンクリート片挟む シルト。[現代層]	
1	25.36	1.00	1.00	縫合じりシルト	灰褐色	軟	0.-1.0~1.15mまで玉石。 不均一な砂分含んだシルト主体。 不均一な粘土。 径2~50mmの細い繊維多く混ざる。 [近現代層(堆積層)]	
	24.63	0.73	1.73	シルト	黒褐色	軟	やや有機質。近現代層(堆積土)。	
2	24.56	0.07	1.80	シルト	褐灰色	軟	軟らかくシルト。[近現代層(堆積土)]	
	24.46	0.10	1.90	シルト	褐灰色	軟	軟質なシルト。[近現代層(堆積土)]	
	24.01	0.45	2.35	シルト	黒褐色	軟	軟質なシルト。[近現代層(堆積土)]	
3				粘土質繊	褐色		径10mm~最大2cm長100mm程度の繊。 玉石主体に粘土分含む。 [近現代層(堆積土)]	
4	22.58	1.43	3.78	粘土質繊	褐色	中位	径10mm~最大2cm長100mm程度の繊。 玉石主体に粘土分含む。 繊の混入量多く70%程度含む。 0.-35m付近木片挟む。 0.-4.1~4.6m間砾石?(赤戸宝石)挟む。 [地底の戸宝石～堆積堆積層]	
5	21.76	0.82	4.60	シルト混じり砂繊	淡灰褐色	非常に密な	径2~50mmの細い繊を50~70%含む。 マリックストラクチャの悪い凹凸の粗砂 主体に粘性の高い粘土分若干混ざる。 非常に密な締まりを有している。 [卯辰山層]	
6	20.36	1.40	6.00					
7								
8								
9								

ボーリングコア柱状図 BP-33 (S = 1/50H)

[数寄屋屋敷西堀]

北緯 36° 33' 47.6"

東経 136° 39' 35.4"



ボーリングコア写真

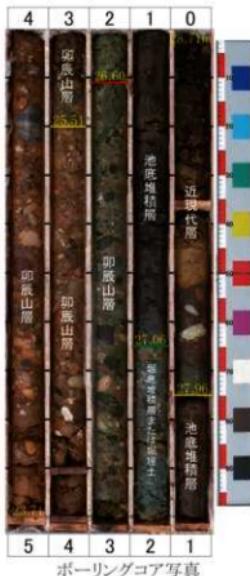


第172図 ボーリングコア詳細柱状図39(BP-33地点)

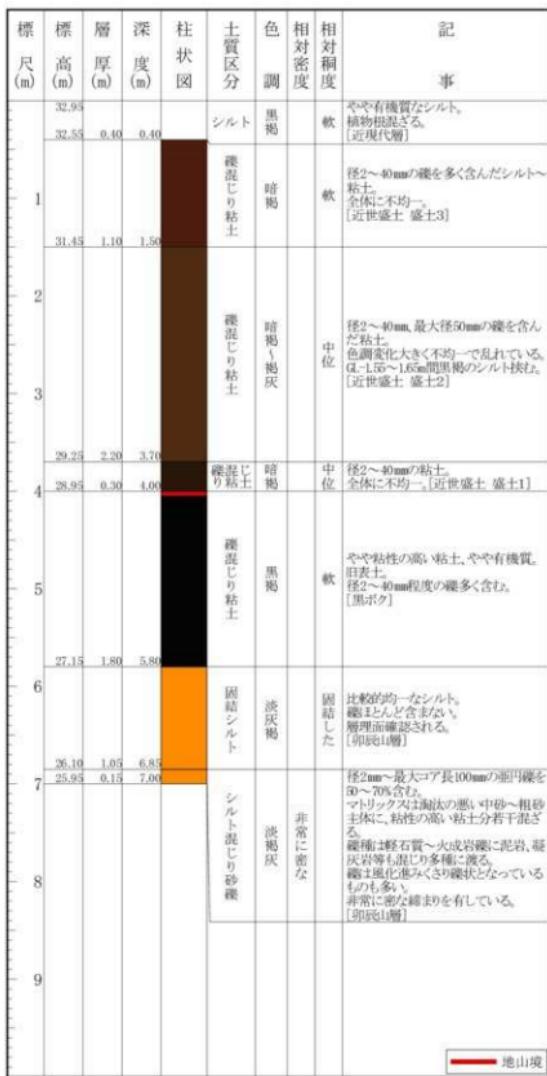
標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対稠度	記 事	
								表土へ中央部に褐色のシルトを挿入。 縦は径5~20mm主体にGL-0.60m付近 に径10mmの玉石あり。 下部は縦少しひん。 [近現代層]	
1	28.71			縦混じりシルト	暗褐色	軟			
	27.96	0.75	0.75	有機質粘土	暗褐色	軟			
2	27.06	0.90	1.65	縦混じり砂質粘土	暗褐色	中位	径2~20mmの縦・砂・シルトが不均質 に混在する。 粘性度低。		
3	26.60	0.46	2.11	シルト・泥質砂礫	暗青灰	非常に密な 緻密化	径2~50mmの面凹縦を50~70%含む。 マリックヌク透水の悪い、中砂・粗砂 主体で、粘性の高い粘土分若干混ざる。 縦は褐色・暗青灰色で還元色を示す。 [卯辰山層]		
4	25.51	1.09	3.20	シルト混じり砂礫	波状灰	非常に密な 緻密化	径2mm~最大コア長100mmの面凹縦を 50~70%含む。 マリックヌク透水の悪い、中砂・粗砂 主体で、粘性の高い粘土分若干混ざる。 縦は軽石質へ火成岩縦に泥岩、凝 灰岩等、並びに多種に混る。 縦は風化進みくつき縦状となっている ものも多い。[卯辰山層]		
5	23.71	1.80	5.00						
6									
7									
8									
9									



ボーリングコア柱状図 BP-34 (S = 1/500)
[玉泉院丸北部 池]



第173図 ボーリングコア詳細柱状40(BP-34地点)



ボーリングコア柱状図 BP-35 (S=1/50H)

【玉泉院丸北部 土蔵東】

北緯 35° 33' 47.1"
東経 135° 39' 36.1"



ボーリングコア写真

第174図 ボーリングコア詳細柱状図41 (BP-35地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対稠度	記 事	
								シルト	暗褐色
1	30.03			縦 温 じ り シ ル ト	軟	灰 褐色	非常 に 密 な	見られたシルト～粘土主体に微細砂含む。 木片混ざる。 径2～40mmの凹凸混ざる。 [近現代層]	
	29.63	0.20	0.20						
	28.50	1.35	1.55						
2	27.85	0.65	2.20	粘 土	軟	灰 褐色	非常 に 密 な	不均質な粘土、やや有機質で粘性・含水限界。 [底堆積層]	
	27.50								
3	27.00	0.85	3.05	粘 土 質 砂	軟	暗 灰 色	緩	やや含水の高い細砂主体。 粘土分多く含む。 [底堆積層または堤堰土]	
4	25.40	1.60	4.65	シ ル ト 質 砂 礫	暗 青 灰	暗 青 灰	非常 に 密 な	径2mm～最大20mmの凹凸を50～70%含む。 マーリックスは湖底の底、中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫は軽石質～火成岩質に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に混る。 礫は風化也くさび形状となっているものも多い。 非常に密な繋まりを有している。 [卯坂山層]	
5	24.85	0.55	5.20	シ ル ト 混 じ り 砂 礫	淡 褐 灰	淡 褐 灰	非常 に 密 な	径2～60mmの凹凸を50～70%含む。 マーリックスは湖底の底、中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫は軽石質～火成岩質に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に混る。 礫は風化也くさび形状となっているものも多い。 非常に密な繩まりを有している。 [卯坂山層]	
6	24.05	0.80	6.00	固 結 シ ル ト	淡 灰 褐色	固 結 した	固 結 した	均質で固結したシルト。 低角度の崩壊面確認される。 コアは棒状で採取される。 [卯坂山層]	
7									
8									
9									

ボーリングコア柱状図 BP-36 (S=1/50H)

[玉泉院丸北部 池]



北緯 36° 33' 46.0" 東経 135° 39' 37.1"



ボーリングコア写真



第175図 ボーリングコア詳細柱状図42(BP-36地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対稠度	記 事	
								シルト	砂
1	33.08			シルト 混 じ り シルト	暗 褐	軟	表土、シルト主体。 [近現代層(表土)]		
	32.88	0.20	0.20						
	31.88	1.00	1.20					径2~40mmの礫及び不均質なシルト主体。 [近現代層]	
2	31.43	0.45	1.65	シルト	灰 褐	軟	不均一なシルト。 礫わずか含む。 [近世盛土 盛土3]		
	30.88	0.55	2.20					軟質シルト～粘土。 礫分少く含む [近世盛土 盛土2]	
3	29.48	1.40	3.60	混 じ り シルト	暗 灰 褐	中位	やや不均一なシルト。 径2~40mmの礫含む。 [近世盛土 盛土2]		
	29.38	0.10	3.70					やや不均一なシルト。 [近世盛土 盛土1]	
	28.08	1.30	5.00					やや有機質なシルト。 旧表土。 径2~20mm程度の礫含む。 [黒ボク]	
4				混 じ り シルト	黑 褐	軟	やや不均一なシルト。 旧表土。 径2~20mm程度の礫含む。 [黒ボク]		
5				シルト 混 じ り 砂 礫	淡 灰 褐	非常に密な	径2mm～最大CA長90mmの弱凹縫を 50～70%含む。 マトリックスは細太の悪い中砂～粗砂 主体に、粘土の高い土分が干混ざる。 礫利は軽石質～火成岩縫に泥岩、凝 灰岩等が混じり多種に混る。 礫は風化基質くさり縫状となっている ものも多い。 非常に密な縫合を有している。 径5.5～6.0mm間シルト層。 （2.7～8.2mm間細砂挟む。 [卯辰山層]		
6				シルト 混 じ り 砂 礫	淡 灰 褐	非常に密な	径2mm～最大CA長90mmの弱凹縫を 50～70%含む。 マトリックスは細太の悪い中砂～粗砂 主体に、粘土の高い土分が干混ざる。 礫利は軽石質～火成岩縫に泥岩、凝 灰岩等が混じり多種に混る。 礫は風化基質くさり縫状となっている ものも多い。 非常に密な縫合を有している。 径5.5～6.0mm間シルト層。 （2.7～8.2mm間細砂挟む。 [卯辰山層]		
7				シルト 混 じ り 砂 礫	淡 灰 褐	非常に密な	径2mm～最大CA長90mmの弱凹縫を 50～70%含む。 マトリックスは細太の悪い中砂～粗砂 主体に、粘土の高い土分が干混ざる。 礫利は軽石質～火成岩縫に泥岩、凝 灰岩等が混じり多種に混る。 礫は風化基質くさり縫状となっている ものも多い。 非常に密な縫合を有している。 径5.5～6.0mm間シルト層。 （2.7～8.2mm間細砂挟む。 [卯辰山層]		
8				シルト 混 じ り 砂 礫	淡 灰 褐	非常に密な	径2mm～最大CA長90mmの弱凹縫を 50～70%含む。 マトリックスは細太の悪い中砂～粗砂 主体に、粘土の高い土分が干混ざる。 礫利は軽石質～火成岩縫に泥岩、凝 灰岩等が混じり多種に混る。 礫は風化基質くさり縫状となっている ものも多い。 非常に密な縫合を有している。 径5.5～6.0mm間シルト層。 （2.7～8.2mm間細砂挟む。 [卯辰山層]		
9	24.08	4.00	9.00	シルト 混 じ り 砂 礫	淡 灰 褐	非常に密な	径2mm～最大CA長90mmの弱凹縫を 50～70%含む。 マトリックスは細太の悪い中砂～粗砂 主体に、粘土の高い土分が干混ざる。 礫利は軽石質～火成岩縫に泥岩、凝 灰岩等が混じり多種に混る。 礫は風化基質くさり縫状となっている ものも多い。 非常に密な縫合を有している。 径5.5～6.0mm間シルト層。 （2.7～8.2mm間細砂挟む。 [卯辰山層]		

ボーリングコア柱状図 BP-37 (S=1/50H)
【玉泉院丸中央部 虹葉橋西詰】



第176図 ボーリングコア詳細柱状図43(BP-37地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相 対 稠 度	記 事		
								細 混 じ り 砂	黑 褐	中位
	36.31									
	37.56	0.73	0.73							
1	37.23	0.33	1.08		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色		[近現代層(近代盛土)]		
	37.11	0.12	1.20		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色		[近世盛土上の旧表土]		
2	36.51	0.60	1.80		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色		[近世盛土(色調変化による分層)]		
	36.19	0.32	2.12		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色		[近世盛土(色調変化による分層)]		
	35.52	0.67	2.79		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色		[近世盛土(色調変化による分層)]		
3	35.37	0.15	2.94		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色		[近世盛土(色調変化による分層)]		
	35.11	0.26	3.20		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色		[近世盛土(色調変化による分層)]		
	35.04	0.07	3.27		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色		[近世盛土間の旧表土]		
	34.38	0.66	3.93		細混じりシルト	暗褐色 灰褐色	中位	不均質シルト主体に径2~30mm、最大50mmの礫块。[近世盛土]		
4	33.51	0.87	4.80		シルト混じり砂礫	淡褐色	非常に密な	径2mm~最大径60mmの圓形を50~70%含む。 マリックヌは油汰の悪い中砂へ粗砂主体に、粘生の高い粘土分が混ざる。 礫块は軽石質へ火成岩繊に泥岩、凝灰岩等が崩じり多種に混る。 礫は風化進みくさり繊状となっているものも多い。 非常に密な繩まりを有している。 [卯辰山層]		
5	32.11	1.40	6.20		シルト質砂	淡白色	非常に密な	固結度の高い均質な細砂。 層理面確認できる。 礫はほとんど含まない。 [卯辰山層]		
6	31.31	0.80	7.00		固結粘土	淡褐色 暗灰	固結した	均質な粘土。 層理面確認できる。 ココナホ状で採取される。 色調は上部淡褐色、GL-6.9m以深暗灰色に変化する。 [卯辰山層]		
7										
8										
9										

ボーリングコア柱状図 BP-38 (S=1/50H)

[玉泉院丸北東部 松板T字路]

地山境

北緯 36° 33' 45.6"

東経 136° 39' 38.4"



ボーリングコア写真

第177図 ボーリングコア詳細柱状図44(BP-38地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	34.03				疊混じりシルト	暗褐色	中位	不均質なシルト。 [近現代層(現代表土・盛土)]
	33.63	0.40	0.40		疊混じりシルト	暗褐色	中位	不均質なシルト。 [近現代層(近世盛土)]
1	33.16	0.47	0.87		疊混じりシルト	黒褐色	軟	やや不均質シルト主体。 径2~30mmの礫挟む。 [近世盛土上の旧表土]
	32.92	0.24	1.11		疊混じりシルト	暗褐色	中位	[近世盛土]
2	32.11	0.81	1.92		疊混じりシルト	暗褐色	中位	[近世盛土]
3	31.09	1.02	2.94		疊混じりシルト	暗褐色	中位	[近世盛土]
	31.03	0.06	3.00		疊混じり粘土	黒褐色～褐灰	中位	乱れた粘土、色調変化大きい。 径2~20mm程度の細粒多く含む。 [近世盛土]
4	29.03	2.00	5.00		粘土	暗青灰	中位	粘性の高い粘土主体、砂・礫が不均に混入する。[崩理土]
	28.63	0.40	5.40		粘土	暗青灰	中位	粘性の高い粘土主体、砂・礫が不均に混入する。[崩理土]
5	28.41	0.22	5.62		粘土	暗青灰	中位	粘性の高い粘土主体、砂・礫が不均に混入する。[崩初期流土]
6	27.63	0.78	6.40		粘土	暗青灰	中位	粘性の高い粘土主体、砂・礫が不均に混入する。 [崩初期流土]
7	26.53	1.10	7.50		固結粘土	暗灰	固結した	固結度の高い粘土。 全体に均一でコアは棒状で採取される。 [卯辰山層]
8	26.03	0.50	8.00		シルト質砂	褐	密な	固結した細砂。 細粒分はシルト混入し、コアは棒状で採取される。 [卯辰山層]
9								

ボーリングコア柱状図 BP-39 (S=1/50H)

[玉泉院丸中央部 紅葉橋東詰]

地山境

北緯 36° 33' 45.5"

東経 136° 39' 37.5"



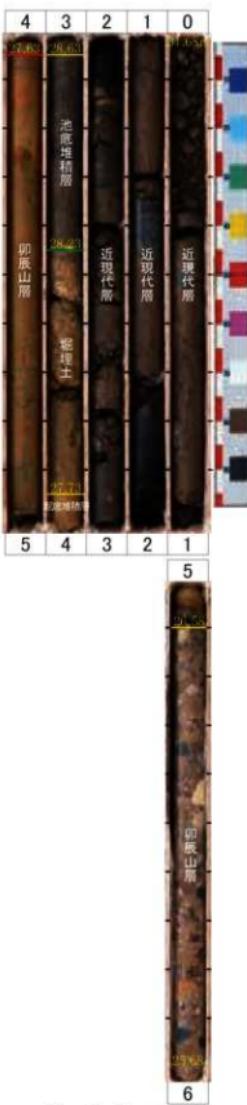
第178図 ボーリングコア詳細柱状図45(BP-39地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相 対 稠 度	記 事
	31.68							
1								
2								
3	28.63	3.05	3.05	磯混じり粘土	黒褐色	軟	非常に瓦れた粘土。 含水、粘性高く、全体に腐食臭あり。 色調変化大きい。 GL-1.8~2.1mまで亜炭化した木片挟む。 GL-2.3m付近鉄くず挟む。 [近現代層]	
4	28.23	0.40	3.45	磯混じり粘土	暗褐色	軟	径2~30mmの凹凸多く含んだ不均質な粘土土体。 [池底堆積層]	
4	27.73	0.58	3.95	磯混じり粘土	暗褐色	軟	軟質な粘土。 [埋土]	
5	27.63	0.10	4.05	磯混じり粘土	暗褐色	軟	軟質な粘土。[埋土堆積層]	
5	26.58	1.05	5.10	固結シルト	暗灰	固結した	均質で固結度の高いシルト。 コアは棒状で採取される。 層理面確認できる。 [卯辰山層]	
6	25.68	0.90	6.00	シルト混じり砂礫	淡褐色	非常に密な	径2mm~最大コア長100mmの粗圓錐を 50~70%含む。 マトリックスは淘汰の悪い中砂~粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 非常に密な締まりを有している。 [卯辰山層]	
7								
8								
9								



ボーリングコア柱状図 BP-40 (S=1/50H)
[玉泉院丸中央部 紅葉橋南池]

北緯 36° 33' 45.5"
東経 136° 39' 36.9"



ボーリングコア写真

第179図 ボーリングコア詳細柱状図 46 (BP-40 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	33.22				硬泥じり粘土	暗褐色	軟		GL. ~0.10m表土。 植物根。径2~20mmの礫混ざった不 均質な粘土主体。 [近現代層]
1	32.07	1.15	1.15		硬泥じり粘土	暗褐色～灰褐色	軟		不均一で見れている粘土。 径2~20mmの細砂、細砂～中砂含 む。 色調変化激しい。 [近世盛土 盛土3]
2	31.07	1.00	2.15		硬泥じり粘土	褐色			
3					硬泥じり粘土	褐色			
4					硬泥じり粘土	褐色			
5	28.22	2.85	5.00		硬泥じ り粘土	黑褐色 ～褐灰色	軟		不均一な粘土～シルト主体に、径2~ 40mmの細砂多く含む。 [近世盛土 盛土2]
	28.02	0.20	5.20						
6					シルト	黑褐色	軟		色調変化激しい、所々やや有機質。 [近世盛土 盛土1]
	26.92	1.10	6.30		シルト	淡褐色	軟		
	26.72	0.20	6.50		シルト	淡褐色	軟		有機質なシルト～粘土主体。 含水低い。 径2~15mm程度の細砂多く含む。 下部ほど縫隙少くなる。 [黒ボク]
7					シルト混じり砂礫	淡褐色	非常 に密な		均一で弱強したシルトコアは棒状。 [卵駆山層]
8									
9	24.22	2.50	9.00						

ボーリングコア柱状図 BP-41 (S=1/50H)

[玉泉院丸中央部 紅葉橋南西]

北緯 36° 33' 45.5"

東経 136° 39' 36.2"



ボーリングコア写真

第180図 ボーリングコア詳細柱状図47(BP-41地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対密度	相対稠度	記 事
1	31.74				硬混じりシルト質砂	褐灰	緩		細砂～中砂主体に径2～40mmの亜円礫～亜角礫及びシルトを不均一に挟む。 まれにコア長80mmの玉石含む。 (は-1.35～1.65m間コンクリート挟む。 [近現代層])
2	30.09	1.65	1.65		砂質粘土	暗黒褐	軟		含水の高い軟質な粘土主体に微細砂～細砂を含む。 上部は2～15mm程度の繊混ざる。 [近世道構埋土]
3	29.34	0.75	2.40		硬混じりシルト	黒褐	軟		やや有機質なシルト主体に上部は 径2～40mm程度の亜円礫含む。 下部ほど繊少ない。 旧表土。 [黒ボク]
4	28.34	1.00	3.40		シルト混じり砂礫	淡褐色	非常に密な		径2～60mm、最大コア長90mmの亜円 礫を50～70%含む。 マリック式土圧鉄太の感、中砂～粗砂 主体に、粘性の高い粘土若干混ざ る。 礫種は軽石質～火成岩質に泥岩、基 岩等も混じり多種に渡る。 礫は大きめでくさり縦状となっている ものも多い。 非常に密な織まりを有している。 [卯塙山層]
5	25.74	2.60	6.00						
6									
7									
8									
9									

ボーリングコア柱状図 BP-42 (S = 1/50H)
[玉泉院丸中央部 出島北]

北緯 36° 33' 45.0"
東経 136° 39' 37.1"



第181図 ボーリングコア詳細柱状図48(BP-42地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	31.68								
1					粘土質繊	暗褐色	中位		径100~150mmの玉石及び径2~50mmの礫多く含む。 マトリックスは細砂~シルト不均一に含む。 [現代層]
	29.93	1.75	1.75						
2					纏帶状粘土	暗褐色	軟		不均一な粘土及び径2~20mmの細砂 纏多く含む。 纏の混入量は不均一。 [現代層]
	29.15	0.78	2.53						
3	28.68	0.47	3.00		シルト質繊	暗褐色	中位		径2~30mmの細砂50~70%程度含む。 マトリックスはシルト。 [近代層]
	27.88	0.80	3.80		有機質粘土	黒褐色	軟		軟泥状粘土。 主体に有機質で含水、粘性高い。 主として長20~100mm程度の玉石 含む。 [池底堆積層]
4					粘土	淡褐色灰	軟		軟質な粘土。
	27.28	0.60	4.40						
	27.18	0.10	4.50		砂質シルト	暗灰	固結		均質なシルト主体に微細砂~細砂分 多く含む。コアは棒状で採取。
5					シルト混じり砂繊	淡灰褐色			径2mm~最大コア長100mmの細砂を 50~70%含む。 マトリックスは粘土の悪い砂~粗砂 主体に、粘性的の高い粘土分若干混ざる。 纏は軽石質~火成岩繊に泥岩、泥 灰岩等を混じり多種に渡る。 纏は風化進みくさび織状となっている ものも多い。 非常に密な縫まりを有している。 [卯辰山層]
6	25.68	1.50	6.00						
7									
8									
9									

■ 池底
(地山塊を表れる)

ボーリングコア柱状図 BP-43 (S=1/50H)

[玉泉院丸中央部 虹葉橋南池]

北緯 36° 33' 44.9"
東経 136° 39' 36.4"



ボーリングコア写真

6

第182図 ボーリングコア詳細柱状図49(BP-43地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
	32.60				硬塑性リム	暗褐色	軟	不均質なシルトに径10~30mm程度の凹凸巣合が、全体に散在している。 [現代層]
	31.80	0.80	0.80		砂	褐色	緩	細砂主体に径10mm程度の凹凸巣合若千含む。 [現代層]
1	31.10	0.70	1.50		硬塑じり粘土	暗褐色	軟	軟質な粘土。不均質。 [近代層]
	30.80	0.30	1.80		硬塑じり粘土	暗褐色	軟	軟質な粘土。纖維比較的少ない。 [近代層]
2	30.65	0.15	1.95		硬塑じり粘土	暗褐色	軟	軟質な粘土。 やや纖維少い。 [近代層]
	29.80	0.85	2.80		粘土質粘土	暗褐色	中位	径2~30mmの凹凸巣合主体にマトリックスは含水率の高い粘土主体。 全体に不均一で乱れている。 [近世盛土]
3	28.45	1.35	4.15		砂	暗灰色	緩	均質な砂。 [池底堆積層]
	28.32	0.13	4.28		粘土	黒褐色	軟	軟質な粘土。 [近世盛土]
4	27.70	0.62	4.90		構成物入り機質粘土	黒褐色	非常軟	有機質で含水率、粘性の高い、有機質な粘土。上部に比較し纖維分少ない。 [池底堆積層]
	27.40	0.30	5.20		硬塑じり粘土	暗灰色→暗褐色	中位	不均質な粘土。 変化激しく数cm毎で変化する。 (5~20mm)の巣合み、まれに径100mmの石子含む。 [現代層]
5	26.60	0.80	6.00		シルト混じり砂礫	淡褐色	非常に密な	径2mm~最大でアーチ長100mmの凹凸巣合を 50~70%含む。 マトリックスは海灰の感、中砂へ粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 巣合は経石質一火成岩巣合に泥岩、砾 岩等多く混じり多種である もの多く、多く (5~7.1m以深纖維分少なくなり砂優勢と なる。 [卯塙山層]
	26.52	0.08	6.08		固結シルト	褐色	固結した	強度の高いシルト、コアは棒状で採取。 層理を確認できる。 [卯塙山層]
6	24.90	1.62	7.70					
7	24.60	0.30	8.00					
8								
9								

ボーリングコア柱状図 BP-44 (S=1/500)

[玉泉院丸中央部 出島付根]

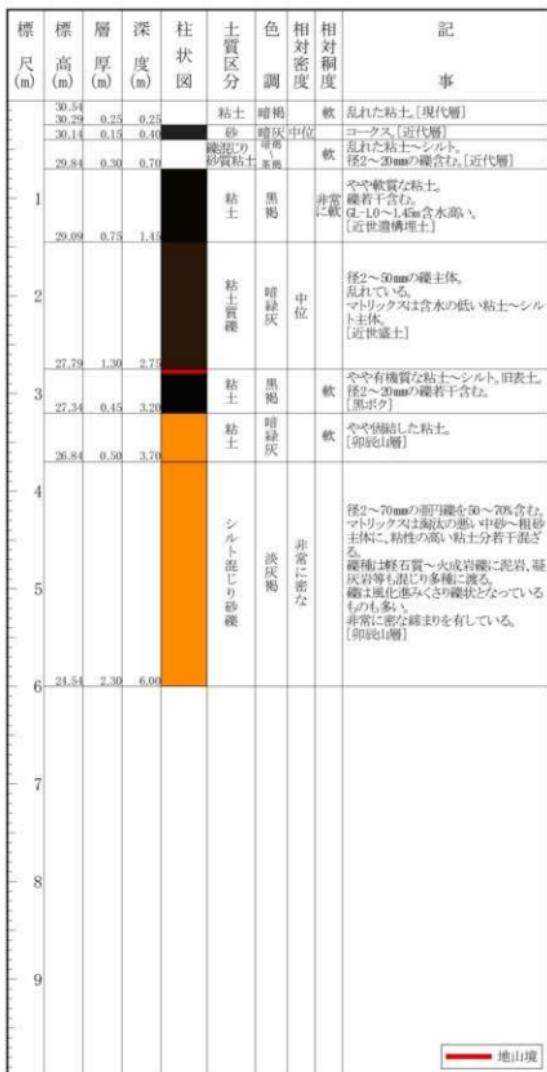


北緯 36° 33' 44.6" 東経 136° 39' 37.7"



ボーリングコア写真

第183図 ボーリングコア詳細柱状図50(BP-44地点)



ボーリングコア柱状図 BP-45 (S = 1/500)

[玉泉院丸中央部 出島南]

北緯 36° 33' 44.6"

東経 135° 39' 37.1"



第184図 ボーリングコア詳細柱状図51 (BP-45地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	31.62							見れの大きい粘土主体に径2~40mmの礫含む。全体に有機質。[現代層]
	31.32	0.30	0.30		繊混じり粘土	暗黒褐	軟	[近代層(地すべり堆積層)]
1								
	30.32	1.00	1.30		繊混じり粘土	暗褐		
	29.82	0.50	1.80		繊混じり粘土	暗褐		G-1.30~1.37m間で径5~10mm、G-1.46~1.52m間で径2~10mmの玉石層を挟む。[近世盛土]
2	29.62	0.20	2.00		繊混じり粘土	暗青灰	軟	G-1.88~2.00m間で径6~20mmの玉石層を挟む。[近世盛土]
	29.42	0.20	2.70		繊混じり粘土	暗褐		[近世盛土]
					粘土	暗褐		[池底堆積層]
3	28.62	0.80	3.00		繊混じり粘土	暗褐		[近世盛土]
	28.37	0.25	3.25		粘土	暗褐		[池底堆積層]
	28.17	0.20	3.45		繊混じり粘土	暗灰	緩	細砂~中砂主体に径2~30mmの円円錐及びジルト不規則に混ざる。全体に含水高・緩・縮まきを有す。[近世盛土]
4	27.82	0.35	3.80		シルト混じり砂礫	暗灰		
5					シルト混じり砂礫	暗青灰	非常に密な	径2~60mmの面凹縫を50%内外含む。マトリックスは粘土の悪い中砂~粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。色調は暗青灰色で還元色を示す。[卯底山層]
	26.32	1.50	5.30					
6					シルト混じり砂礫	淡褐灰	非常に密な	径2~60mmの面凹縫を50%内外含む。マトリックスは粘土の悪い中砂~粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。礫層は軽石質~火成岩質に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に混る。礫は風化地すべり巣状となっているもの多く、G-5.5~5.6m間シルト夹む。[卯底山層]
7	24.62	1.70	7.00					
8								
9								

ボーリングコア柱状図 BP-46 (S=1/50H)

[玉泉院丸東部 北東斜面縦]



北緯 36° 33' 44.6" 東経 136° 39' 38.6"



ボーリングコア写真

第185図 ボーリングコア詳細柱状図 52 (BP-46 地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対 稠度	記 事	
								シルト混じり砂	暗褐色
			43.35					径2mm～最大80mmの礫・玉石主体にシルト含む。 全体に不均質。 [現代層]	
1	42.35	1.00	1.00		シルト質繊	暗褐色	中位	やや不均質で軟質なシルト主体。 [近代層]	
	42.00	0.35	1.35		シルト質繊	暗褐色	中位	径2～40mmの粗円繊主体に最大80mmの玉石含む。 マリック質シルト。	
	41.50	0.50	1.85					[近世波十]	
2	41.35	0.15	2.00		粘土	暗褐色	軟	[地初期泥土]	
			38.35		シルト混じり砂	灰褐色	密な	均質で固結した細砂～中砂主体。 0.2mまで固結シルト。 層理面確認できる。 [印坂山層]	
3	40.30	1.05	3.05		固結シルト	淡灰褐色		均質なシルト。 ココロ棒状で採取。 [印坂山層]	
	39.90	0.40	3.45		シルト混じり砂繊	淡灰褐色	非常に密な	径2～60mmの粗円繊を50～70%含む。 マリック質土壌の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 繊種は軽石質～火成岩繊に泥岩、凝灰岩等も混じり多様に混る。 繊は風化進んでさざ纏状となっているもの多い。 非常に堅く縛まりを有している。 [印坂山層]	
4									
5									
6									
7									
8									
9									

ボーリングコア柱状図 BP-47 (S=1/50H)
[極楽橋下空堀]



ボーリングコア写真

第186図 ボーリングコア詳細柱状図53(BP-47地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
	32.01							
	31.31	0.70	0.70		礫混じりシルト質砂	暗灰	中位	不均一な細砂～中砂、礫及びシルト不均一に含む。 〔現代層〕
1					礫混じり粘土	暗褐		不均一な粘土。 〔近世盛土〕
	30.31	1.00	1.70		粘土	暗褐		〔池底堆積層〕
2	30.11	0.20	1.90		礫混じり	暗褐		〔近世盛土〕
	29.91	0.20	2.10		粘土	暗褐		〔池底堆積層〕
	29.71	0.20	2.30		礫混じり粘土	暗褐		〔近世盛土〕
	29.11	0.60	2.90		粘土	暗褐		〔池底堆積層〕
3	28.91	0.20	3.10		礫混じり粘土	暗褐	軟	〔近世盛土〕
	28.31	0.60	3.70		粘土	暗褐		玉石挟む。 〔近世盛土〕
4	28.21	0.10	3.80		礫混じり粘土	暗褐		〔池底堆積層〕
	27.93	0.28	4.08		シルト混じり粘土	暗褐	中位	水や軟質で含水の高い粘土。径2~20mmの礫を含む。 〔近世盛土〕
	26.66	1.27	5.35		シルト混じり砂礫	暗青灰	非常に密な	径5~60mmの円形を50~70%含む。 マトリックスは軟らかい中砂～粗砂、土体に、粘性的高い粘土分若干混ざる。 礫種は蛭石質～火成岩質に泥岩、堅灰岩等も混じり多種に複数。 礫は風化進んでさり繊状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。 〔卯辰山層〕
5								
6	26.01	0.65	6.00		シルト混じり砂礫	淡褐色		径2~60mmの円形を50~70%含む。 マトリックスは軟らかい中砂～粗砂、土体に、粘性的高い粘土分若干混ざる。 礫種は蛭石質～火成岩質に泥岩、堅灰岩等も混じり多種に複数。 〔卯辰山層〕
7								
8								
9								



ボーリングコア柱状図 BP-48 (S = 1/50H)

[玉泉院丸東部 中島（小）北 岬状の付根]

北緯 36° 33' 44.3"

東経 136° 39' 38.4"



ボーリングコア写真

第187図 ボーリングコア詳細柱状図 54 (BP-48 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	31.76			礫混じり下質砂	暗褐色	緩		細粒～中粒砂主体に直径2～30mmの粗砂及アーライト不均一含む。 [現代層]
	30.96	0.80	0.80					
1				礫混じり砂質粘土	暗褐色		中位	やや軟質な粘土及び径2～40mmの粗砂を含む。 軟質で粘性・含水率高い。 [現代層]
2	29.56	1.40	2.20	礫混じり粘土	暗褐色			[近世盛土[中島(小)造成土]]
3	28.96	0.60	2.80	粘土	暗褐色	軟		軟質な粘土。 [池底堆積層]
4	28.42	0.54	3.34	礫混じり粘土	暗褐色		中位	径2～20mmの礫含んだ粘土。 やや不均一。 [埋填土]
5	26.91	1.51	4.85	礫混じり粘土	暗褐色			軟質で有機質な粘土。 含水・粘性高。 礫アーライト含む。 径5-10mmが深部多くなる。 [埋底堆積層]
6	26.03	0.88	5.73	有機質粘土	暗黒灰	軟		[礎切初期堆積層]
7	25.76	0.27	6.00	シルト混じり砂礫	暗青灰	非常に密な		径2～60mmの粗砂を50～70%含む。 マトリックスは泥炭の態。中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火成岩質に泥岩、凝灰岩等も混じり多様に混る。 礫は風化進んでくさび形状となっているもの多い。 非常に密に縛りを有している。 色調・粗さ共に灰色で還元色を示す。 [印旛山層]
8								
9	22.21	3.55	9.55	シルト混じり砂礫	淡褐色	非常に密な		径2～50mmの粗砂を50～20%含む。 マトリックスは泥炭の態。中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火成岩質に泥岩、凝灰岩等も混じり多様に混る。 礫は風化進んでくさび形状となっているもの多い。 [印旛山層]
10	21.76	0.45	10.00					



ボーリングコア柱状図 BP-49 (S=1/50H)

[玉泉院丸東部 中島(小)]

北緯 36° 33' 44.7"

東経 136° 39' 38.7"

第 188 図 ボーリングコア詳細柱状図 55 (BP - 49 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
30.51					硬混じり粘土	暗褐色	中位	様2~50mmの大玉石多く含んだ粘土。 全体に不均一。 [現代層]
1	29.51	1.00	1.00		硬混じり粘土	暗褐色		不均一な粘土。 [近世盛土]
	29.00	0.51	1.51		有機質粘土	黒褐色	非常に軟	軟質で含水・粘性の高い粘土。 全体に有機質。 様2~50mmの纖若干含む。 [黒ボク]
2	28.06	0.94	2.45		粘土	淡茶褐色	中位	軟質な粘土。 纖若干混ざる。 [黒ボクの一部]
3	27.51	0.55	3.00		固結シルト	暗青灰	固結した	均一なシルト、コアは棒状で採取される。 [卯辰山層]
4	26.51	1.00	4.00		シルト混じり砂礫	淡褐色	非常に密な	様2mm~最大コア長100mmの圓凹縫を50~70%含む。 マトリックスは陶汰の深い中央へ粗砂土体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 砂礫:粗石質へ火成岩類に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 纖は風化進みくさり繊状となっているものも多い。 GL. 5.5~5.8m間シルト挟む。 [卯辰山層]
5								
6	24.51	2.00	6.00					
7								
8								
9								

地山境

ボーリングコア柱状図 BP-50 (S=1/50H)

[玉泉院丸中央部 中島(大)]

北緯 36° 33' 43.7"

東経 136° 39' 37.5"



ボーリングコア写真

第189図 ボーリングコア詳細柱状図 56 (BP-50 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	31.77				纖混じり 粘土	暗褐色	軟	不均一な粘土及び径2~40mmの礫主 体。[現代層]
	31.47	0.30	0.30					
1					纖混 じり 砂	褐灰色 ～暗褐色	緩	細砂主体に径2~50mmの織合む。 全体に不均一。 [現代層]
2	29.77	1.70	2.00		纖混じり 粘土	黑灰褐色	軟	粘性の高い粘土主体に径2~50mmの 織合む。 [現代層]
	29.77	0.55	2.55					
	28.97	0.25	2.80		纖混じり 粘土	暗褐色	軟質な粘土 [近世盛土[中島(中)造成土]]	
3	28.72	0.23	3.03		粘土	黑灰褐色	軟	礫若干含んで有機質な粘土。含水 粘性高い。[池底堆積層]
					纖混 じり 粘土	暗褐色	中位	径2~20mmの織合んだ粘土。 含水低く粘性低い。 [埋土]
4	27.67	1.05	4.10		纖混じり 粘土	灰褐色	中位	[埋土]
	27.07	0.60	4.70					
5	26.77	0.30	5.00		纖混じり 粘土	茶褐色 ～暗灰	中位	色調変化の激しい粘土主体。 不均一で見れている。 礫は径2~20mmの円形礫主体。 [植樹初期堆積層]
					シルト 混砂	淡灰褐色	非常に密な	径2~80mmの面凹礫を50~70%含む。 マリックス土類の悪。中砂～粗砂 主体。粘性の高い粘土分若干混ざる。 [羽茂山層]
6	25.77	1.00	6.00					
7								
8								
9								

ボーリングコア柱状図 BP-51 (S=1/50H)

[玉泉院丸東部 中島(中)]



北緯 36° 33' 43.6" 東経 136° 39' 37.9"



ボーリングコア写真

6

第190図 ボーリングコア詳細柱状図57(BP-51地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.57				硬混じり粘土	暗褐		中位	不均一な粘土主体に径2~40mmの礫及びコンクリート片混ざる。 乱れている。 [現代層]
2	29.97	1.60	1.60		砂	褐灰	緩		均一な細砂。 [現代層]
3	29.27	0.70	2.30		硬混じり有機質粘土	黒褐	軟		軟質で有機質な粘土主体に径10~30mmの礫多く含む。 含水・粘性高い。 [近代層]
4	28.37	0.90	3.20		有機質粘土	黒灰	軟		軟質で有機質な粘土主体。 礫は含まない。 含水・粘性高い。 [池底堆積層]
5	27.39	0.98	4.18		砂質粘土	暗青灰	軟		やや有機質なシルトへ粘土主体に微細砂分含む。 不均質で含水・粘性高い。
6	26.65	0.74	4.92		シルト混じり砂礫	淡褐灰	非常に密な		径2mm~最大コア長100mmの粗円礫を50~70%含む。 マトリックスは淘汰の悪い中砂~粗砂主体で、粘性の弱い粘土分若干混ざる。 礫種は蛭石質へ火成岩質に泥岩、堅灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化進みくさり繊状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。 [卯辰山層]
7	24.57	2.08	7.00						
8									
9									

■ 池底
(地山層を示す)

ボーリングコア柱状図 BP-52 (S=1/50H)

[玉泉院丸中央部 池]

北緯 36° 33' 43.4"

東経 136° 39' 36.8"



ボーリングコア写真

第191図 ボーリングコア詳細柱状図 58 (BP-52 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.97				縦混じり粘土	暗褐色		軟	上部(0.1~0.3m)砂石。 以深不均質な粘土、砂、礫の混合土。 [現代層]
2	30.27	1.70	1.70		縦混じり粘土	暗褐色			不均一な粘土、砂。 [近代層]
2.97	29.77	0.50	2.20		縦混じり粘土	暗褐色			やや含水の高い粘土。 G.L.2.3m付近鉄器混ざる。 全体に少しがれ。
2.97	29.57	0.20	2.40		縦混じり粘土	暗褐色	中位		磁器P61(染付簡形碗)が1点出土 (深度2.3m)。 [近世盛土]
3	28.67	0.90	3.30		玉石混 り粘土 土質織	黒褐色	中位		G.L.長200mm~最大320mmの玉石、転 石主にその間に粘土が埋める。 [池底-石積み]
28.60	28.60	0.07	3.37		縦混じり 粘土	暗褐色			[池底堆積層]
28.42	28.42	0.18	3.58		縦混じり 粘土 砂	暗褐色 灰褐色			褐色が分いた中砂へ粗砂。 [近世盛土]
5					玉石混じり砂織	褐色	非常に密な		径2mm~最大G.L.長100mmの玉石織を 50~70%含む。 マリックヌイ織法の悪い中砂へ粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 織種は軽石質へ火成岩織に泥岩、凝 灰岩等へ並び多様に混る。 織は風化地すべり織状となっている もの多い。 非常に色々織まりを有している。 [卯辰山層]
6	25.97	2.45	6.00						
7									
8									
9									



ボーリングコア柱状図 BP-53 (S=1/50H)

[玉泉院丸南東部 中島(中) 東側岸辺]

北緯 35° 33' 43.3" 東経 136° 39' 38.2"



ボーリングコア写真



6

第192図 ボーリングコア詳細柱状図59(BP-53地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	
									軟	不均一な粘土主体に微細砂～径2～20mmの砂～亜円礫含む。全体に不均質。[近代層]
	35.75			4 3 2 1 0	液限じり砂質粘土	暗褐色				
	35.05	0.70	0.70							
1					粘土	暗褐色		軟	上部よりやや軟質となり含水の高い粘土主体。[近代層]	
	34.20	0.85	1.55							
2	33.70	0.50	2.05	3 4 5	液限じり砂質粘土	暗褐色		中位	不均一な粘土主体に微細砂～径2～20mmの砂～亜円礫含む。全体に不均質。[近世盛土か]	
	30.75	2.95	5.00		シルト混じり砂礫	淡褐色				
3							非常に密な		径2mm～最大コア長100mmの亜円礫を50～70%含む。 マリックス土層の遷移、中央～粗砂主層に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫層は軽石質～火山岩質に泥岩、凝灰岩等も混じり多種。漂砾は風化進歩くさり疊状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。 [卯辰山層]	
4										
5										
6										
7										
8										
9										

地山境

ボーリングコア柱状図 BP-54 (S=1/500)
[玉泉院丸南東部 東側斜面]

北緯 36° 33' 43.4"
東経 136° 39' 38.5"



第193図 ボーリングコア詳細柱状図 60 (BP-54 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
	31.69				礫混じり砂	褐色	緩	細砂～中砂主体に径2～50mmの円～角形礫及びコンクリート片含む。 [現代層]
	31.09	0.60	0.60		砂	暗灰	緩	細～粗砂主体。 [現代層]
1	30.64	0.45	1.05		礫混じり砂	褐色	緩	細砂～中砂主体に径5～30mmの礫含む。 [現代層]
2	29.89	0.75	1.80		砂	暗灰	緩	細砂主体。 [現代層]
2	29.64	0.23	2.03		礫混じりシルト	黑褐		不均一なシルト。 [近代層]
3	28.99	0.65	2.70		礫混じり粘土	黑褐	軟	やや有機質な粘土～シルト主体。 まれにコア長120mmの玉石挟む。 は.-28m付近木本片挟む。 [池底堆積層]
4	28.44	0.55	3.25		礫混じりシルト	暗青灰		シルト、砂質シルト、シルト質砂の互層状。 径2～20mmの面凹礫含む。 [埋填土]
5	26.69	1.75	5.00		粘土		軟	【履底堆積層】
5	26.64	0.05	5.05		シルト混じり砂礫	淡灰褐	非常に密な	径2mm～最大コア長100mmの面凹礫を 50～70%含む。 マリック式土圧計の摺り、中砂～粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 [卯辰山層]
6	25.69	0.95	6.00		礫混じり固結シルト	淡灰褐	固結した	固結した粘土～シルト主体。 径2～40mmの礫含む。 色調濃暗化する。 [卯辰山層]
7	23.99	1.70	7.70		固結シルト	淡灰褐～暗灰	固結した	均質なシルト。 コアは棒状で採取される。 微細砂分含む。 は.-8.7m以深暗灰色～色調変化する。 [卯辰山層]
8								
9	22.69	1.30	9.00					

ボーリングコア柱状図 BP-55 (S = 1/50H)
[玉泉院丸南東部 池南方堀中央]



ボーリングコア写真

第194図 ボーリングコア詳細柱状図 61 (BP-55 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	31.73				硬混じりシルト	黒褐	軟	G.L.0.0~0.1m砂礫(ガラス片混入)。 G.L.0.2~0.3mコンクリート・ビニール等埋め土主体。 G.L.0.9m付近鉄くず混在する。 [現代層]
1	30.80	0.95	0.95		硬混じりシルト	暗褐 → 褐灰		不均一シルト。 [近代層]
2	29.75	1.05	2.00	29.60 0.15 2.15 29.75	砂礫	暗灰		妙礫[敷き砂利]
					硬混じり粘土	暗褐 → 褐灰	中位	やや軟質で不均質な粘土主体。 径2~50mm程度の細円礫多く含む。 [近世盛土]
3	28.95	0.65	2.80	28.90 0.05 2.85	粘土	暗褐		[池底堆積層]
					硬混じり粘土	暗褐		[近世盛土]
	28.73	0.05	3.00	28.73 0.05 3.00	粘土	暗褐		[池底堆積層]
					シルト混じり砂礫	淡灰褐	非常に密な	径2mm~最大粒長100mmの細円礫を50~70%含む。 マリック式洗浄法の態。中砂~粗砂主体、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は経石質~火成岩礫に泥岩、凝灰岩等、混じり多種である。 礫は風化進みくさび巣状となっているもの多い。 [卯塙山層]
4	26.50	2.25	5.25					
5								
6								
7	24.45	2.05	7.30		固結粘土	淡灰褐 → 暗灰	固結した	固結した粘土へシルト。 コアは棒状で採取される。 G.L.6.5~7.3m暗灰色を呈す。 [卯塙山層]
8	23.60	0.85	8.15		シルト質砂	淡褐灰	非常に密な	固結したシルト質砂 全体的に均質。 [卯塙山層]
9	22.75	0.85	9.00		固結粘土	暗灰	固結した	固結度の高い粘土。 コアは棒状で採取される。 [卯塙山層]

ボーリングコア柱状図 BP-56 (S=1/50H)

[玉泉院丸南東部 いもり坂西側斜面壁]

北緯 36° 33' 42.6"

東経 136° 39' 38.7"



ボーリングコア写真

第195図 ボーリングコア詳細柱状図 62 (BP-56 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対 密度	記 事
	31.69				礫混じり 粘土	暗 褐	軟	不均質な粘土及び径2~40mmの円形 礫含む。 [現代層]
	31.09	0.60	0.60					
1					礫混 じり 砂	灰 褐	緩	細砂主体に径2~10mm程度の圓形 礫多く含む。 [現代層]
	29.89	1.30	1.80					
2	29.59	0.30	2.10		礫混じり 粘土	暗 褐		不均一な粘土。[近世盛土]
	29.09	0.50	2.60		礫混じり シルト	黑 褐	軟	やや有機質なシルト主体に径2~30 mmの礫及びアラ長100mmの大玉石含 む。 [黒ボク]
3								
4								2.5~3.5mまで固結した粘土。 以深径2~80mmの圓形礫を50~70% 含む。 マトリックスは濁水の悪い中砂~粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざ る。 礫種は軽石質~火成岩質に泥岩、凝 灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化進みくさり礫状となっている ものが多い。 非常に弱い締まりを有している。 [卯辰山層]
5								
6								
7	24.69	4.40	7.00					
8								
9								

ボーリングコア柱状図 BP-57 (S = 1/50H)
[玉泉院丸南東部 池南(高台)]

地山境

北緯 36° 33' 42.8"
東経 135° 39' 37.6"



ボーリングコア写真

第196図 ボーリングコア詳細柱状図 63 (BP-57 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	31.72			シルト混じり砂	暗褐色	緩		細砂～微細砂主体、不均一にシルト混ざる。 [現代層]
	31.22	0.50	0.50					
1				硬混じり砂	暗褐色	中位		細砂～微細砂主体、径2～70mmの礫多く混ざる。 [現代層]
2								
3	29.37	1.83	2.35	硬混じり粘土	暗褐色			不均一な粘土。 [近代層]
3	28.77	0.69	2.95	粘土	暗褐色			[池底堆積層]
3	28.32	0.45	3.40	硬混じり粘土	暗褐色			色調変化大きい粘土主体に径2～70mm、最大コア長290mmの玉石あり。 [掘削土]
4	27.82	0.59	3.90	粘土	暗褐色			[掘削堆積層]
4	27.72	0.10	4.00	硬混じり 粘土	暗褐色 灰褐色 灰色			やや有機質。 [歴初期層土]
4	27.42	0.30	4.30			中位		
5								
6				シルト混じり砂	淡灰褐色	非常に密な		径2～80mmの面円礫を50～70%含む。 マトリックスは泥炭化の悪い、中砂～粗砂主体で、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種：経石質～火成岩類に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 礫土風化進みくさり疊状となっているもの多く。 [卯辰山層]
7								
8	23.52	3.90	8.20	シルト質砂	淡灰褐色	非常に密な		固結度の高い面砂～微細砂主体。 コアは棒状で採取される。 層理面確認できる。 下部王シルト分増加する。 [卯辰山層]
9	22.72	0.80	9.00					

ボーリングコア柱状図 BP-58 (S = 1/50H)

[玉泉院丸南東部 池南方堺南]

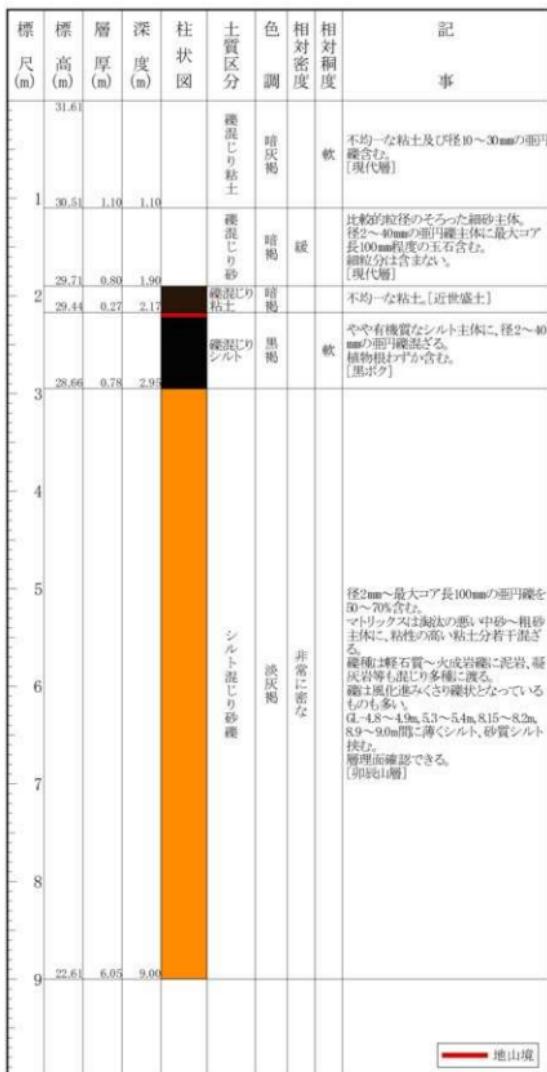
北緯 36° 33' 42.4"

東経 136° 39' 37.5"



ボーリングコア写真

第197図 ボーリングコア詳細柱状図 64 (BP-58 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-59 (S=1/50H)
[玉泉院丸南東部 池南(高台付近)]



第198図 ボーリングコア詳細柱状図65(BP-59地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
	31.60			標準サンプル				不均一グシルト主体に径2~40mmの礫及び径80mmの玉石含む。 [現代層]
	30.80	0.80	0.80					
1				標準サンプル				
2				標準サンプル				不均一なシルト主体に径2~70mmの玉石含む。 [近世盛土]
3	28.65	2.15	2.95	固結粘土				
4				固結粘土				固結度の高い粘土。 コアは棒状で採取される。 層理面確認できる。 G.4.2~4.5m付近暗灰色の砂礫となる。 [卯辰山層]
5	27.10	1.55	4.50	シルト混じり砂礫				径2mm~最大コア長150mmの粗円礫を 50~70%含む。 マトリックスは濁沢の悪い中砂~粗砂 主体に、粘性の弱い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質~火成岩類に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化進んでくさり礫状となっている もの多く。 非常に弱な締まりを有している。 [卯辰山層]
6	26.60	0.50	5.00					
7								
8								
9								



ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図 BP-60 (S=1/50H)

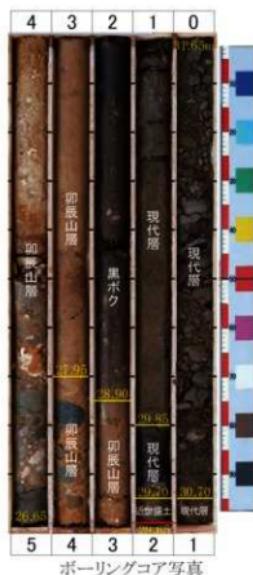
北緯36°33'42.1"

[玉泉院丸南部東側斜面概]

東経136°39'37.6"

第199図 ボーリングコア詳細柱状図 66 (BP-60 地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対稠度	記 事	
								相対密度	相対稠度
	31.63				シルト混 り砂礫	暗灰	緩	径2~20mm程度の細砂主体にシルト、細砂含む。 不均質。 [現代層]	
1	30.70	0.95	0.95		砂	暗褐色	緩	均一な粒径の細砂主体。 上部ややシルト分混ざる。 [現代層]	
2	29.85	0.85	1.80		粘土 泥混じり 粘土	暗褐色		乱れた粘土。[現代層]	
	29.70	0.15	1.95		泥混じり 粘土	暗褐色		[近世盛土]	
	29.63	0.07	2.00		泥混じり シルト 黒褐	軟		やや有機質なシルト及び径2~20mm の細砂混ざる。旧表土。[黒ボク]	
3					固結 シルト	淡灰褐色	固結 した	均質で固結したシルト。 コアは棒状で採取される。 層理面確認できる。 [印旛山層]	
	27.95	0.95	3.70		シルト混 り砂礫	淡灰褐色	非常に密な	径2~70mmの細砂を50~70%含む。 マトリックスは重粘土の態。中砂~粗砂 主体に、粘性の高い粘土若干混ざる。 礫種は軽石質~火成岩類に泥岩、凝 灰岩等を混じり多種である。 礫は風化進みくさび形状となっている ものも多い。 非常に滑な締まりを有している。 [印旛山層]	
4									
5	26.65	1.30	5.00						
6									
7									
8									
9									



ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図 BP-61 (S = 1/50H)
[玉泉院丸南部]
北緯 36° 33' 42.3"
東経 136° 39' 37.1"

第 200 図 ボーリングコア詳細柱状図 67 (BP - 61 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-62 (S=1/50H)
[数値は屋敷西堤]

北緯 36° 33' 58.7382"
東経 136° 39' 23.8021"

ボーリングコア写真

第201図 ボーリングコア詳細柱状図 68 (BP-62 地点)



第202図 ボーリングコア詳細柱状図 69 (BP-63地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	35.34								
	34.79	0.55	0.55		シルト	暗褐色	軟		径20mm程度の礫を含んだシルトを主体とした土。[現代層(表土)]
1	34.14	0.63	1.20		シルト	暗褐色	軟		径20mm程度の礫を含んだシルト主体。[近代層(軍隊期)]
2	33.34	0.80	2.00	シルト質砂礫	シルト質砂礫	暗褐色	中位		シルト、砂分を不均一に含んだ砂礫。全体に乱れている。径2~40mm、最大60mm程度の礫を50%内外含んでいる。[近世盛土]
3									
4									
5	30.34	3.00	5.00						
6									
7									
8									
9									



ボーリングコア柱状図 BP-64 (S = 1/50H)

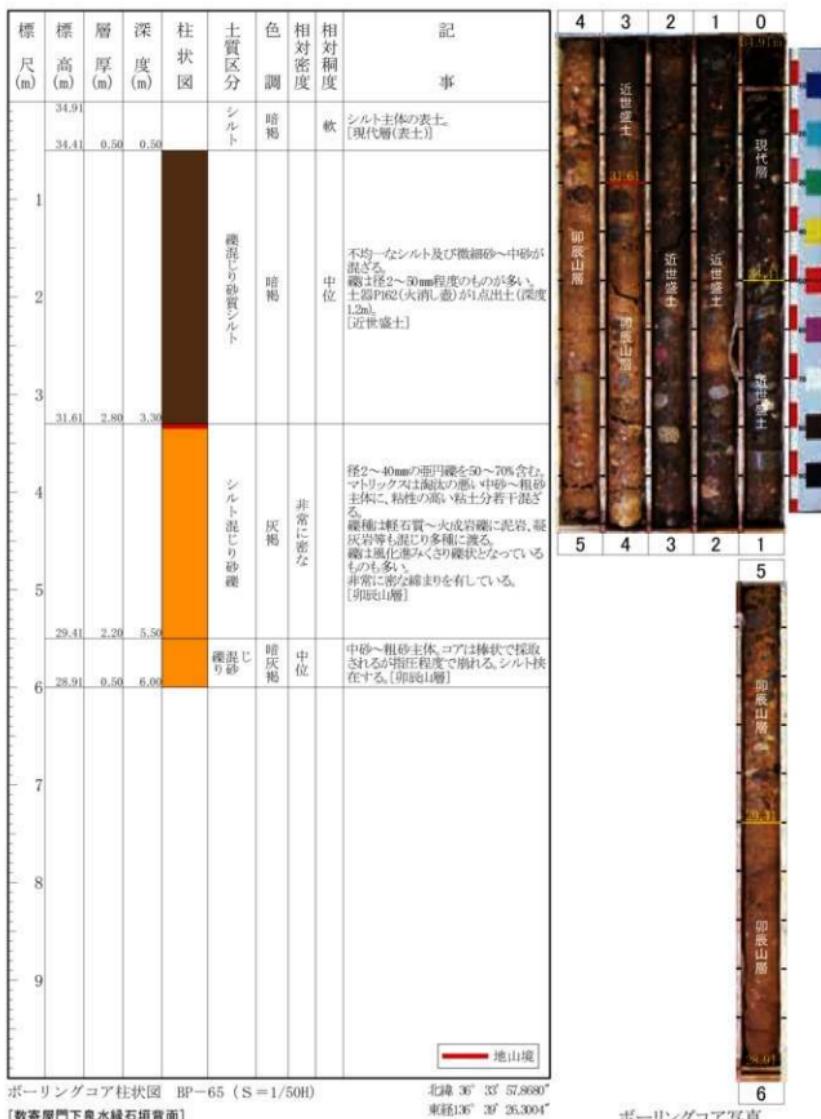
北緯 36° 33' 58.2428"

[数寄屋門下泉水縁石垣背面]



ボーリングコア写真

第 203 図 ボーリングコア詳細柱状図 70 (BP - 64 地点)



第204図 ボーリングコア詳細柱状図71(BP-65地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対密度	記 事
								軟
1	36.00							軟質なシルト。 径40mm内外の礫若干含む。 上部は礫少ない。 [現代層(表土)]
	35.79	0.21	0.21	纏 じ り 砂質 シルト	暗褐色			
	34.50	1.39	1.50				中位	中位程度の硬さを有する不均一なシルト。 礫分30~50%と多く含む。 径10~60mm程度の圓形~亜角形多。 砂分は細沙~中砂。 [近世盛土]
	34.18	0.32	1.82	シルト	灰褐色		中位	含水の低いシルト。 径2~10mmの礫わずか含む。 [近世盛土]
2				纏 じ り 粘土	暗褐色~黒褐色		中位	含水高く、粘質な粘土主体に径2~30mm程度の礫多く含む。 深度によっては粘土質崩壊状となる。 不均一。 [近世盛土]
	32.60	1.58	3.40					
4	32.45	0.15	3.55	シルト	黒褐色	中位		含水中位程度のシルト。 礫わずか含む。[近世盛土]
	32.00	0.45	4.00	纏 じ り シルト	灰褐色	中位		不均一シルト主体に径2~30mmの 礫30%内外含む。[近世盛土]
	31.80	0.20	4.20	シルト	黑褐色	中位		含水中位程度のシルト。[黒褐色]
5				固 結 粘 土	灰褐色~褐色		硬	均一なシルト。 ココリ棒状で採取される。 径4~24mmまで灰褐色、以深褐色 色となり層理面がはつきり見える。 [卯坂山層]
	31.10	0.70	4.90					
6	30.00	1.10	6.00	シ ル ト 質 砂	褐色	中位		中砂~粗砂主体。 ココリ棒状で採取される。 シルト挟在する。 全体に5~10°程度の鈍角な層理面 が確認できる。 [卯坂山層]
7								
8								
9								

地山境

ボーリングコア柱状図 BP-66 (S = 1/50H)

北緯 36° 33' 57.035"

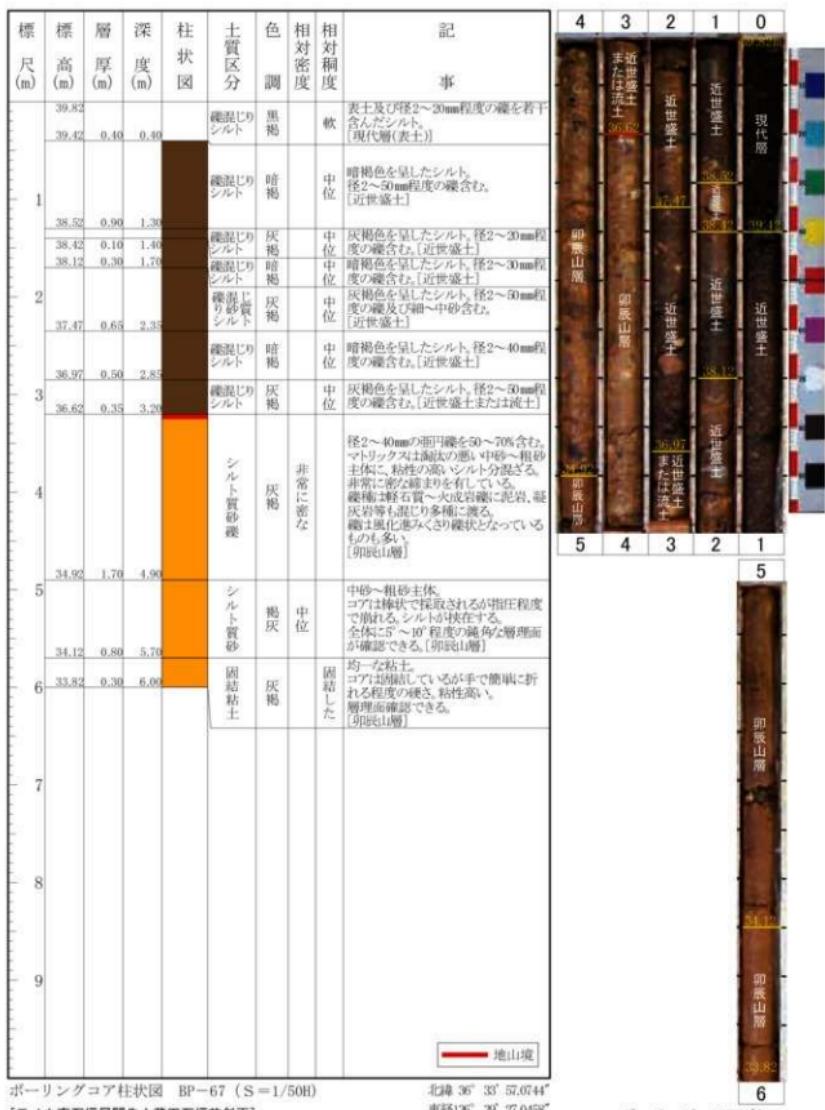
[数寄屋門下泉水緑石垣背面]

東経 136° 39' 26.729"



ボーリングコア写真

第205図 ボーリングコア詳細柱状図 72 (BP-66 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-67 (S = 1/50H)
【二ノ丸南石垣居間先土蔵下石垣前斜面】

北緯 36° 33' 57.0744"
東経 136° 39' 27.0458"

ボーリングコア写真

第 206 図 ボーリングコア詳細柱状図 73 (BP - 67 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱 状 図	土質区分	色 調	相対稠度	記 事
	45.74							
	45.54	0.20	0.20		シルト 漂揚	軟	シルト主体の表土。 [現代層(表土)]	
1					礫混じり 砂質 シルト	暗褐色	軟	全体的に不均一で乱れたシルト。 中砂～粗砂及び粒径2～30mmの礫不均一に含む。 [近現代層(擾乱)]
	44.44	1.10	1.30					
	43.98	0.46	1.76		礫混じり 有機質 シルト	黒灰	軟	やや有機質なシルト。 径30mm程度の礫若干含む。 [近現代層(擾乱)]
2	43.89	0.09	1.85		礫混じり シルト	暗褐色	中位	径2～20mm程度の礫及び不均一なシルト。 [近世盛土]
	43.34	0.55	2.40			空洞		55cm程度の空洞あり。
3								
4								
5								
6	39.84	3.50	5.90		シルト 混じり 砂質	暗褐色	中位	全体に亂れた砂礫。 径1～30mmの礫を主体にシルト、砂を不均一に含む。 コブは球状で採取されるが、指で簡単に剥がれる程度。 礫丸より点(平)A6点、丸瓦C3点)出土 (深度2.55m, 2.95m, 3.45m, 3.82m, 3.95m, 4.80m, 4.92m)。 [近世盛土]
7	38.74	1.10	7.00					
8								
9								

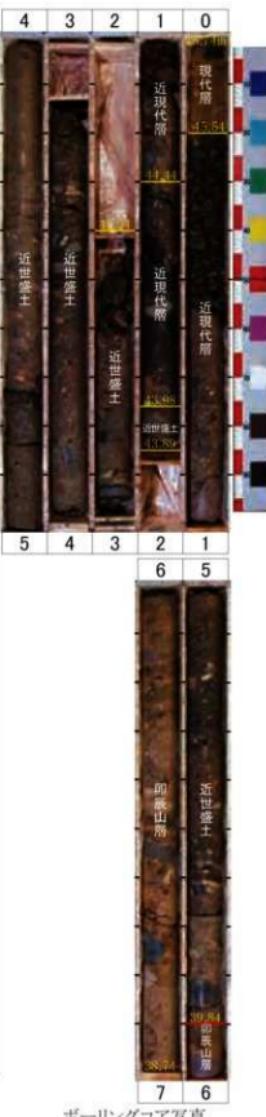
地山境

ボーリングコア柱状図 BP-68 (S=1/50H)

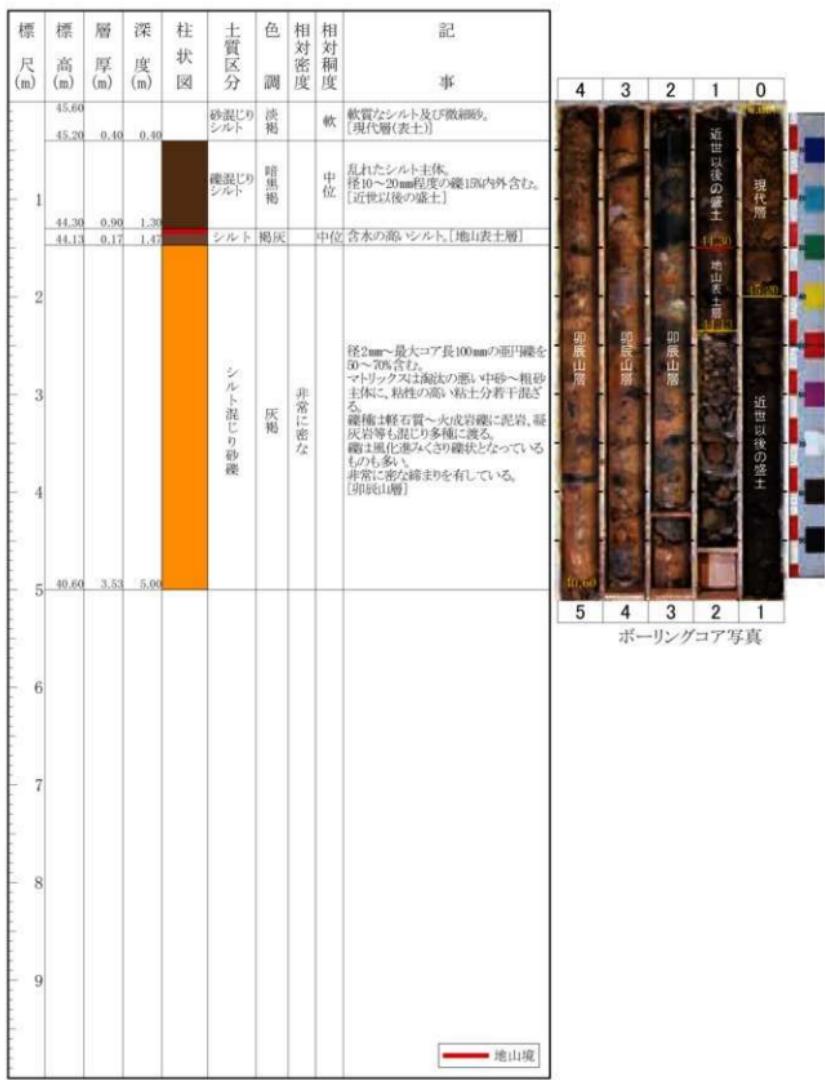
[数寄屋敷西鉢巻石垣背面]

北緯36°33'58.7455"

東経136°39'26.4777"



第207図 ボーリングコア詳細柱状図 74 (BP-68 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-69 (S=1/50H)
【数寄屋敷西鉢巻石垣背面】

北緯36°33'58.4618"
東経136°39'26.6105"

第208図 ボーリングコア詳細柱状図 75 (BP-69地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	45.30				硬泥じりシルト	暗褐	中位	径10mm～最大コア長100mm程度の玉石含んだ不均質なシルト。 マトリックスは褐色のシルト主体で粒性、含水率は程度。 〔現代層〕
1	44.24	1.06	1.06		硬泥じりシルト	灰褐	中位	含水中位なシルト。 〔地山表土層〕
	43.80	0.44	1.50					
2								
3								径2～80mmの凹凸を50%内外含む。 マトリックスは褐色の悪い中砂～粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 硬塑土～堅石質へ火成岩硬に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 硬土風化進みくさり繊状となっている ものの多く、 非常に密な締まりを有している。 〔卯辰山層〕
4								
5	40.30	3.50	5.00					
6								
7								
8								
9								



ボーリングコア柱状図 BP-70 (S = 1/50H)

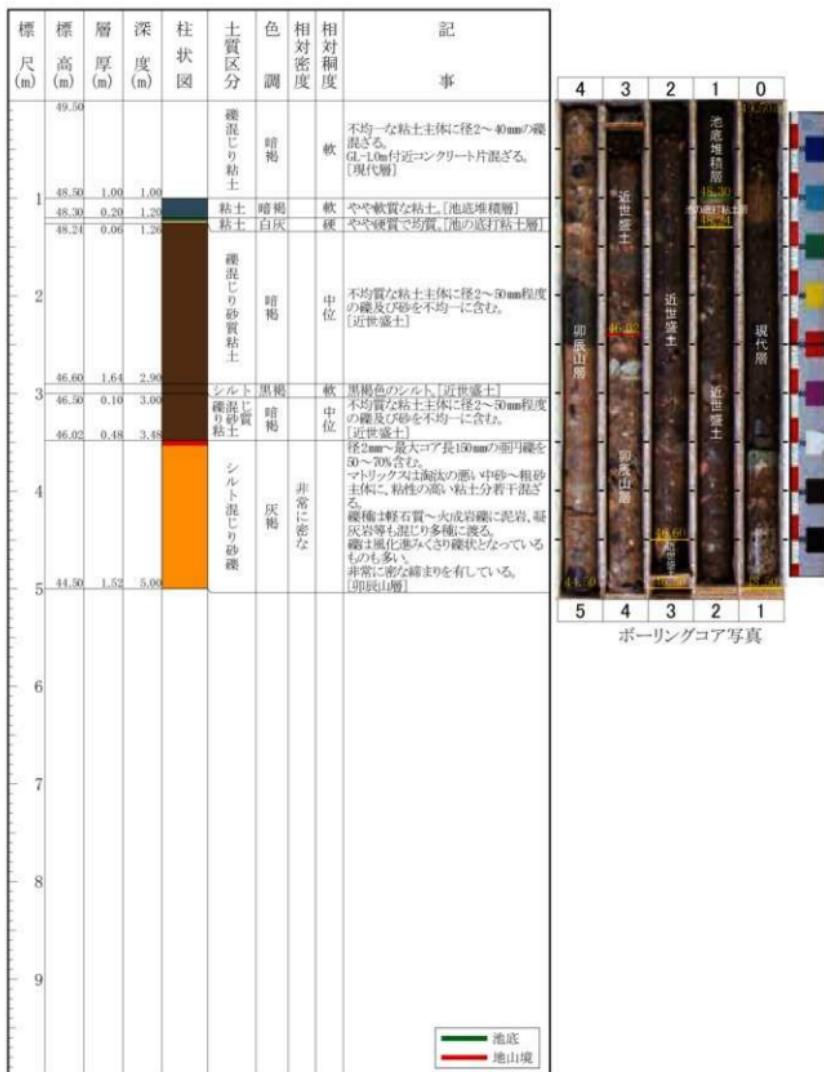
[数寄屋屋敷西鉢巻石垣背面]

北緯 36° 33' 57.9998"

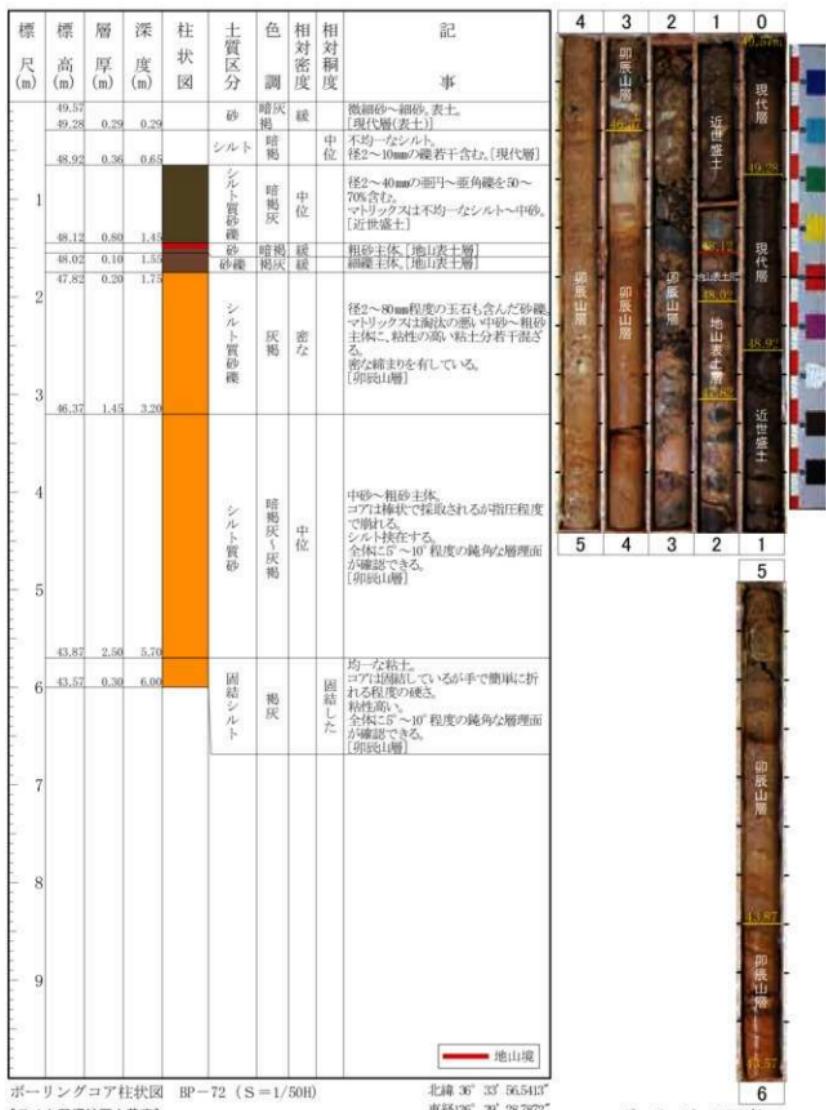
東経137° 39' 26.9687"



第209図 ボーリングコア詳細柱状図 76 (BP-70 地点)



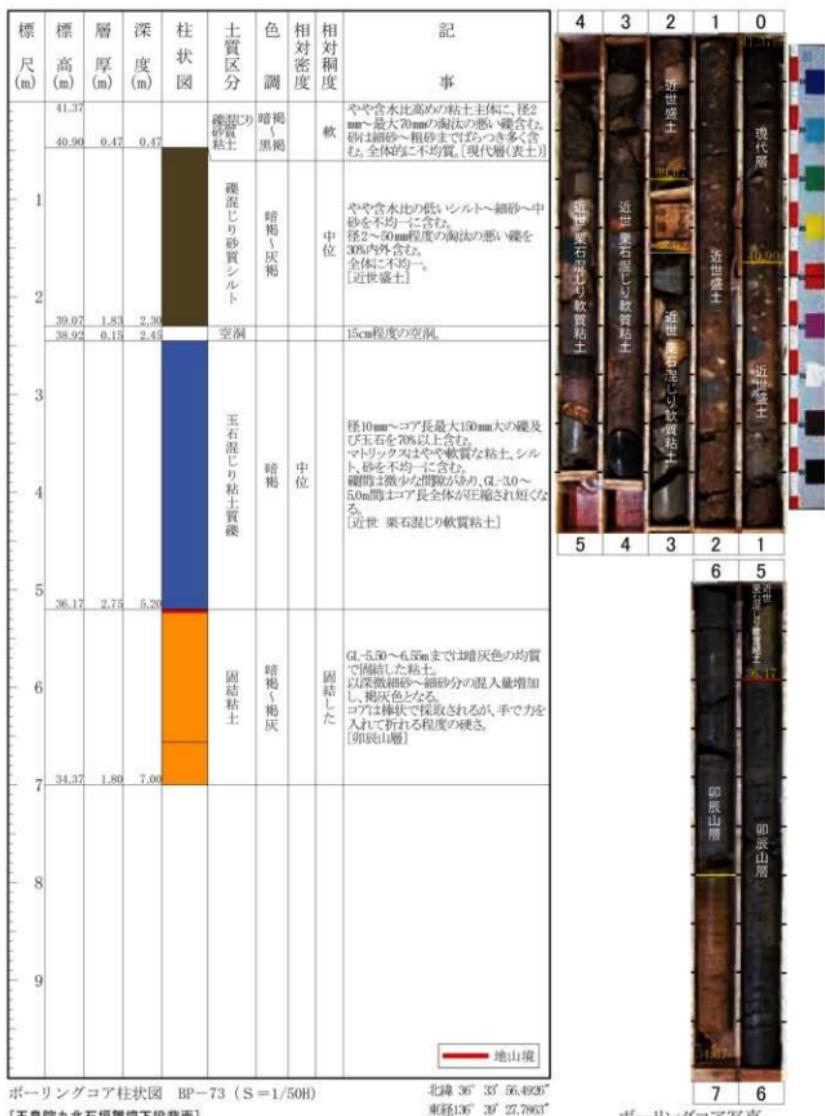
第210図 ボーリングコア詳細柱状図 77 (BP-71 地点)

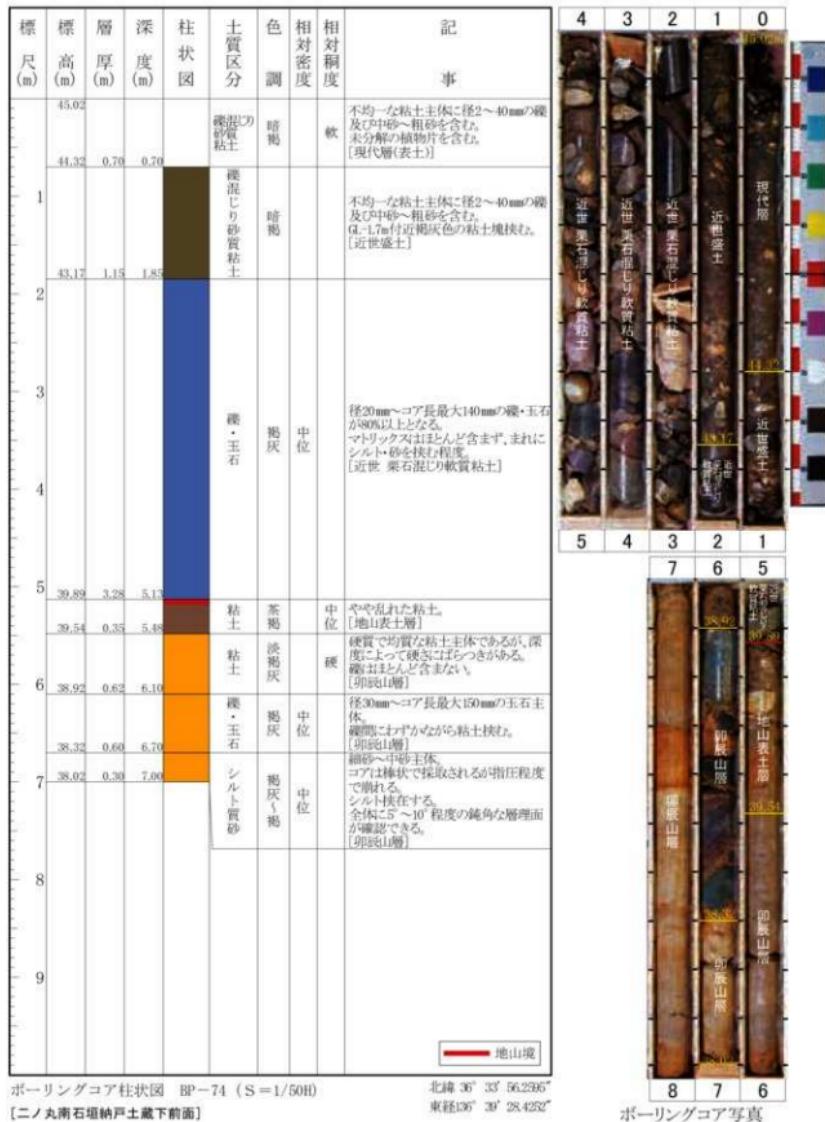


ボーリングコア柱状図 BP-72 (S = 1/50H)
北緯 36° 33' 56.5413''
東経136° 30' 28.7872''

ボーリングコア写真

第211図 ボーリングコア詳細柱状図 78 (BP - 72 地点)





第213図 ボーリングコア詳細柱状図 80 (BP-74 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
46.04									
1	44.72	1.32	1.32		粘土	黒褐色～暗褐色	軟		今木中位の粘土主体。 礫は径2～10mm程度のものを若干含む。 GL-0.0～1.0m間は試掘部でコアは乱れる。 〔現代層(表土)〕
2	44.28 0.44	1.76		褐色砂質シルト	暗褐色	中位			径2～30mmの礫を30～50%含む。 マトリックスはシルト～砂を不均一に含む。全体に不透水層。 〔近世 砂質じり整地層(松板造成土か)〕
2	44.14 0.14	1.90		シルト	黒褐色	中位			黒褐色のシルト。(近世盛土)
	43.84 0.30	2.20		褐色砂質シルト	灰褐色	中位			シルト主体に径2～5mm程度の礫を多く含む。(近世盛土)
	43.14 0.70	2.90		固結シルト	灰褐色	中位			均一な粘土。コアは固結しているが手で簡単に折れる程度の硬さ。粘性高い。層理面難観である。(卯辰山層)
3									
4					シルト質砂	灰褐色～褐色	中位		細粒～中砂主体。 コアは棒状で採取されるが指圧程度で崩れる。 シルト挟在する。 色調は灰褐色～褐色を不均一に繰り返す。 径2～5mm程度の細かい礫が混入する。 〔卯辰山層〕
5	41.04	2.10	5.00						
6									
7									
8									
9									



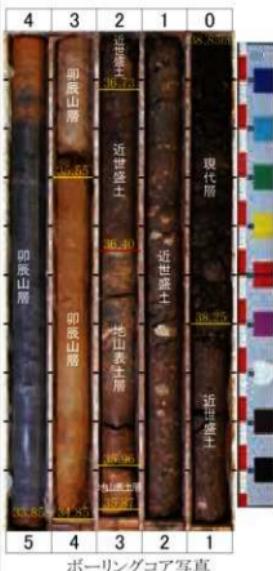
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図 BP-75 (S=1/50H)
[ニノ丸石垣松板門大将檜下西]

北緯36°33'55.7705"
東経136°39'28.4232"

第214図 ボーリングコア詳細柱状図81(BP-75地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 圖	土質 区分	色 調	相 對 稠 度	記 事
	38.85							
1	38.25	0.60	0.60	褐色 砂質 シルト	暗褐	中位	本來の地表面の標高1約39.20m、 ボーリング直前の発掘調査により約 35cm削引され、標高38.85mからボーリ ング調査を開始した。 中位程度の硬さを持つシルト土(体に 径2~10mm程度の礫を1%程度含む、 砂分は微細砂分を不均一に含む。 [現代層(表土)]	
2	36.73	1.52	2.12	褐色 砂質 シルト	暗褐	中位	中位程度の硬さを持つシルト土(体に 径2~40mm程度を30%内外含む。 砂分は微細砂～細砂主体で混入量 にばらつきがある。 [近世盛土]	
3	36.40	0.33	2.12	褐色 砂質 シルト	暗褐	中位	上位と比較しやや繊維多くなる。 [近世盛土(石垣前面地盤層)]	
3	35.96	0.44	2.89	褐色 粘土	茶褐		不均質な粘土。 [地山表土層(地山由来の二次堆積層 か)]	
3	35.87	0.09	2.98	粘土	暗褐		[地山表土層(不整合面か)]	
3	35.55	0.32	3.30	粘土	褐色	中位	粘性の高い均質な粘土。 [卯辰山層]	
4	34.85	0.70	4.00	シ ル ト 質 砂	灰褐	中位	中砂～粗砂主体。 コアは棒状で採取されるが指圧程度 で崩れる。シルト挟在する。 [卯辰山層]	
5	33.85	1.00	5.00	固 結 粘 土	灰褐 ～褐灰	固 結 し た	中～4.0～1kmまで灰褐色、以深暗灰 色の粘土。 均一な粘土。 コアは崩壊しているが手で簡単に折 れる程度の硬さ。 粘性高。 [卯辰山層]	
6								
7								
8								
9								



ボーリングコア柱状図 BP-76 (S=1/50H)
[玉泉院丸北石垣離墻下段 松坂]

第215図 ボーリングコア詳細柱状図 82 (BP-76 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	記事
	34.94							
	34.64	0.30	0.30		シルト	暗褐色	軟	軟質なシルト。 [現代層(表土)]
1					シルト	暗褐色	軟	軟質なシルト。 [近世盛土]
	33.53	1.11	1.41		礫混入砂質粘土	暗褐色	軟	粘性の高い粘土。 径2~20mm程度の礫を5~15%程度含む。全体に不均質。 [近世盛土]
2	33.39	0.14	1.55		有機質シルト	黒褐色	軟	含水比の低いシルト。 径2~5mm程度の礫わずか含む。 [近世盛土・地1由来の二次堆積層]
	32.79	0.60	2.15		粘土	暗褐色	中位	中位(へやや粘質な硬さを持つ粘土。 [近世盛土(二次堆積層)]
3					シルト質砂	灰褐色	中位	細砂～中砂主体。 コアは棒状で採取されるが指圧程度で崩れる。 シルト挟在する。 径2~5mm程度の礫わずか含む。 全体に5°~10°程度の鈍角の物理面が確認できる。 [卯辰山層]
4								
	30.54	2.05	4.40					
5	29.94	0.60	5.00		固結シルト	暗灰褐色	固結した	GL~4.4~4.6mまで暗灰色、以深灰褐色となる。 均一な粘土。 コアは固結しているが手で簡単に折れる程度の硬さ。 粘性高。 GL~4.6m以上柔軟侧面確認できる。 [卯辰山層]
6								
7								
8								
9								

■ 地山境

ボーリングコア柱状図 BP-77 (S = 1/50H)
[玉泉院丸北東部 出島付根]

北緯 36° 33' 56.2846"
東経136° 39' 27.0035"



ボーリングコア写真

第 216 図 ボーリングコア詳細柱状図 83 (BP - 77 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	記事
	31.76 31.51	0.25	0.25	標準じり土	暗褐色	軟	不均質な粘質土。 〔現代層(表土)〕	
1				標準じり粘土	暗褐色	軟	不均質な粘土。 径2~40mm程度の礫不均一に含む。 〔Q2~20m付近コンクリート片含む。 全体に乱れている。〕 〔現代層〕	
2	29.51	2.00	2.25	標準じり砂質粘土	暗褐色	中位	不均質な粘土主体。 全体に乱れている。 径2~40mmの礫及び細砂へ砂を不均一に含む。 〔近世盛土〕	
3	28.16	1.35	3.60	有機質 粘土	黒褐色	軟	有機質で含水比の高い粘土。 径2~15mm程度の礫が含む。 〔池底堆積層〕	
4	27.81	0.35	3.95	シルト 混じり 砂	灰褐色	中位	中砂へ粗砂主体。 ゴブは棒状で採取されるが増圧程度で崩れる。 全体に5°~10°程度の鈍角な層理面が確認できる。 細礫わずか含む。 〔卯辰山層〕	
5	27.06	0.75	4.76	固結 粘土	白灰	硬	均質な粘土。混入物ほとんど無い。 〔卯辰山層〕	
6	26.66	0.40	5.10	シルト 混じり 砂	灰褐色	中位	中砂へ粗砂主体。 ゴブは棒状で採取されるが増圧程度で崩れる。 全体に5°~10°程度の鈍角な層理面が確認できる。 細礫わずか含む。 〔卯辰山層〕	
7	25.76	0.90	6.00					
8								
9								

池底
(地山塊を覆ねる)

ボーリングコア柱状図 BP-78 (S=1/50H)

[玉泉院丸北東部 出島東]

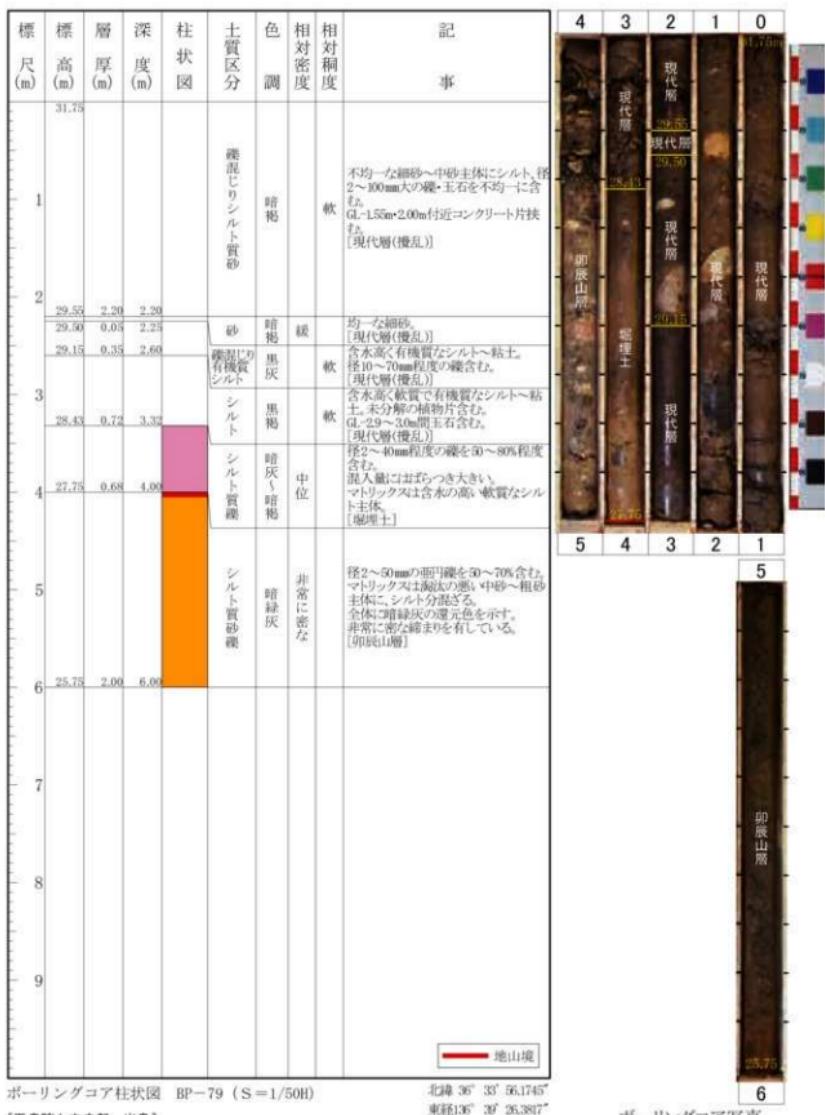
北緯 36° 33' 55.8848"

東経 136° 30' 27.0608"

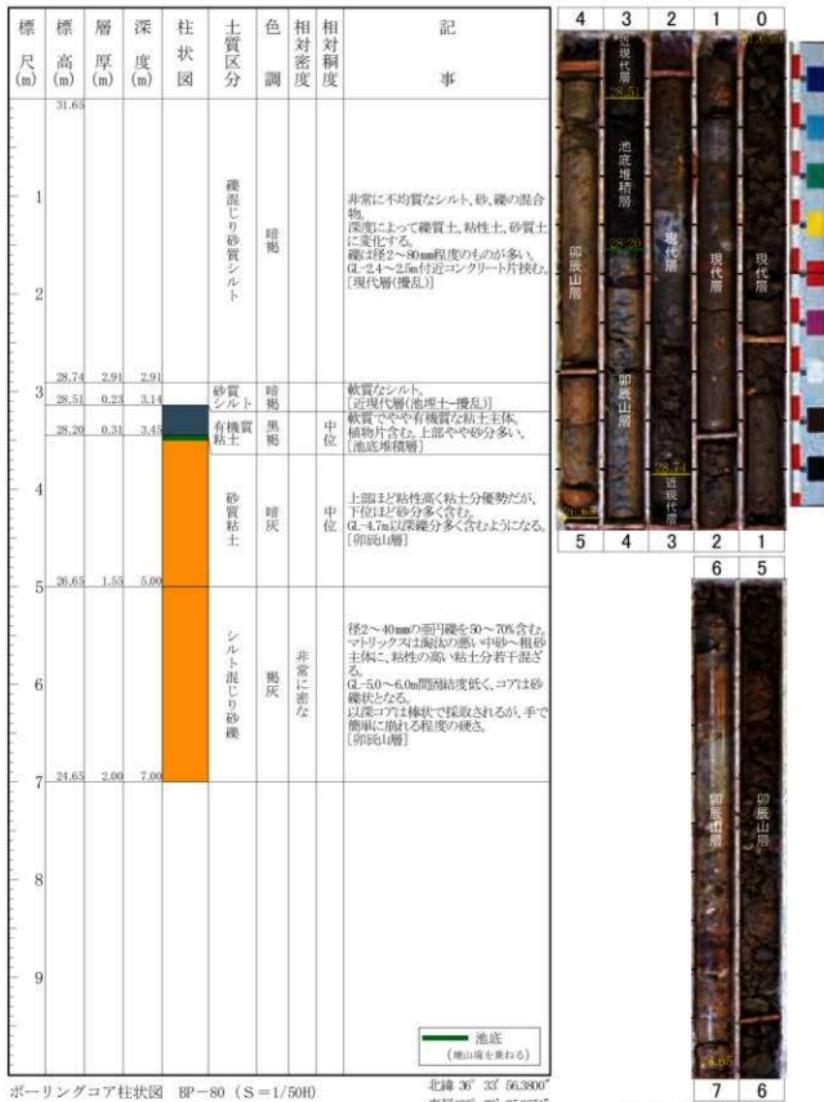


ボーリングコア写真

第217図 ボーリングコア詳細柱状図 84 (BP-78 地点)



第218図 ボーリングコア詳細柱状図 85 (BP - 79 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-80 (S=1/50H)

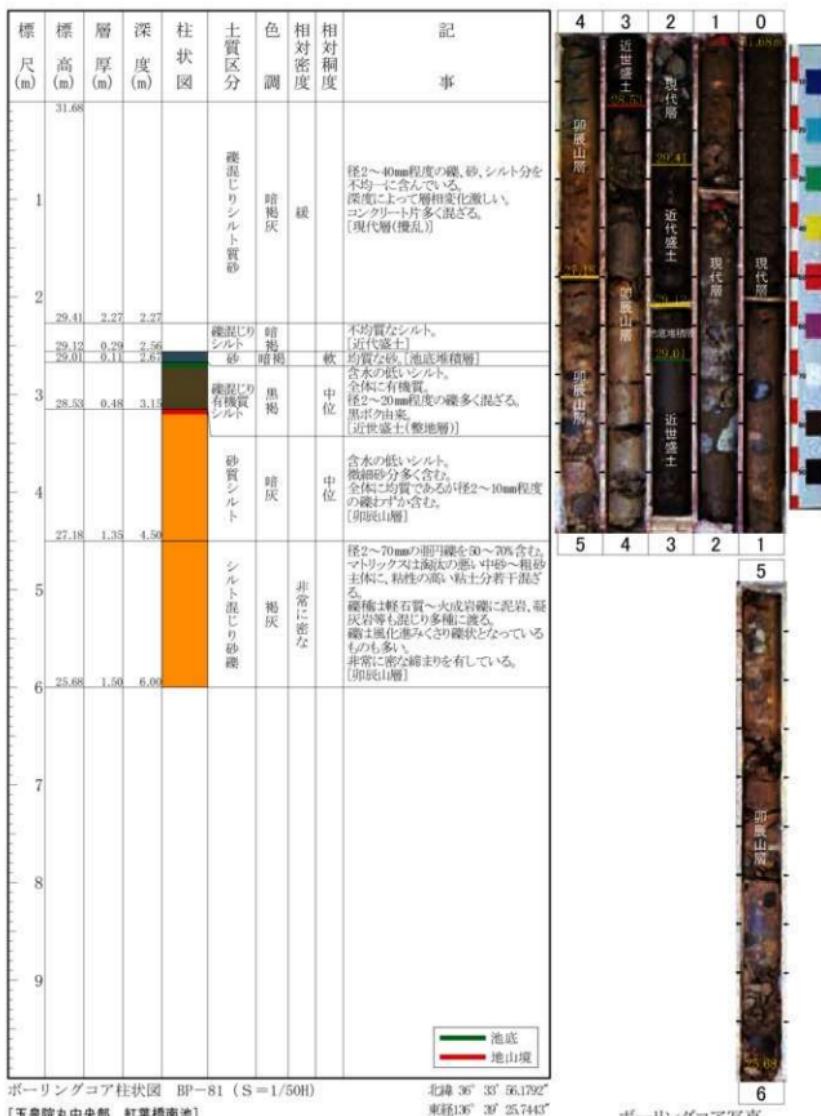
[玉泉院丸中央部 北部池]

北緯 36° 33' 56.3800"

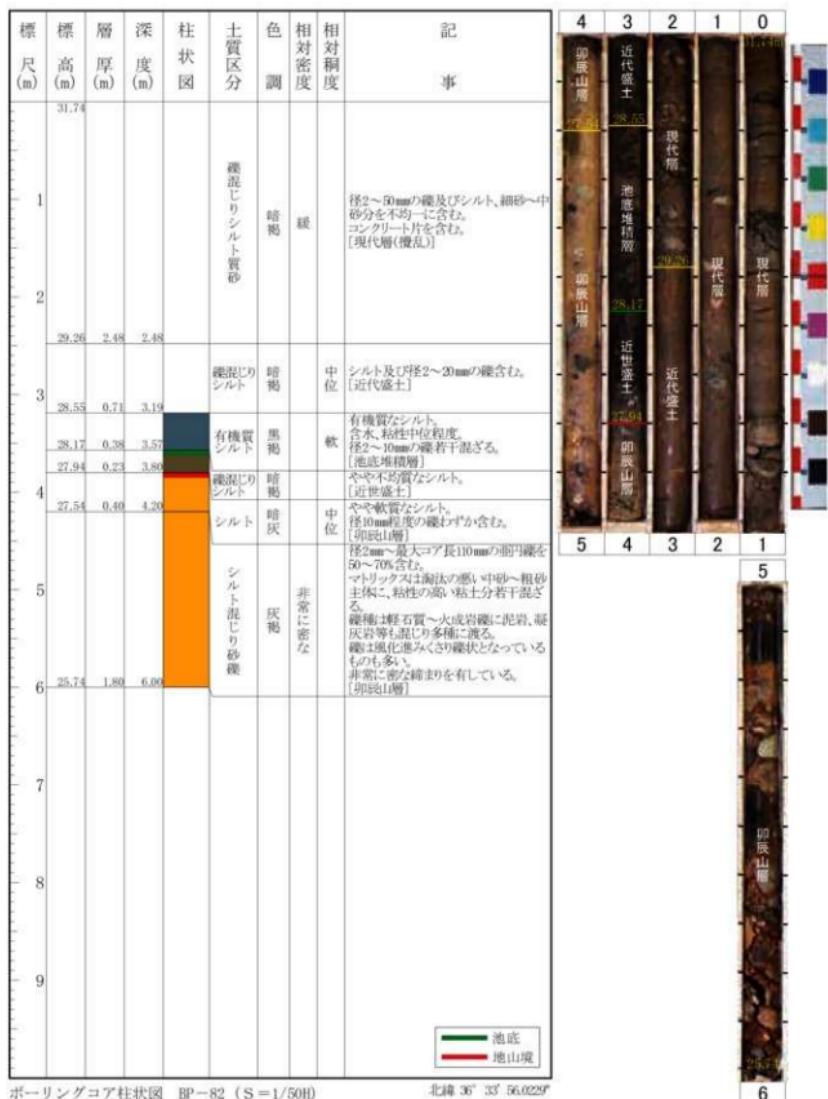
東経 136° 39' 25.9651"

ボーリングコア写真

第219図 ボーリングコア詳細柱状図 86 (BP-80 地点)



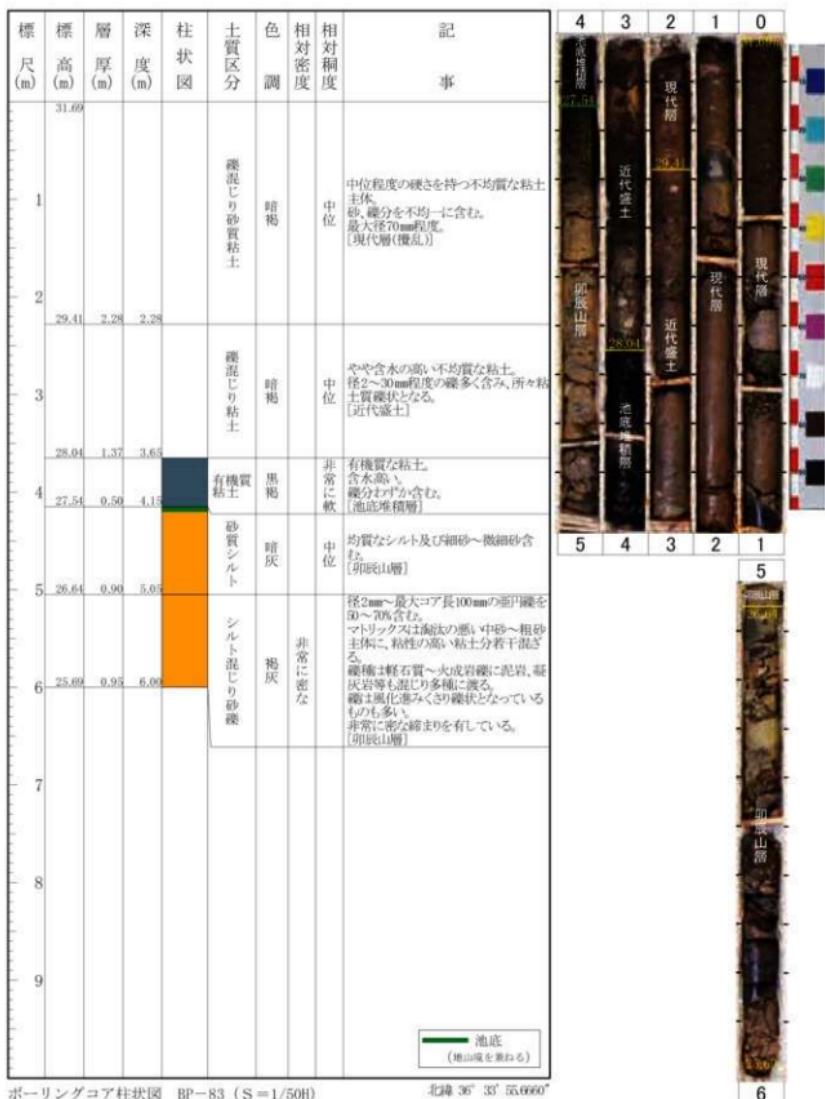
第220図 ボーリングコア詳細柱状図 87 (BP - 81 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-82 (S=1/50H)
[玉泉院丸中央部 紅葉橋南池]

ボーリングコア写真

第221図 ボーリングコア詳細柱状図 88 (BP-82 地点)

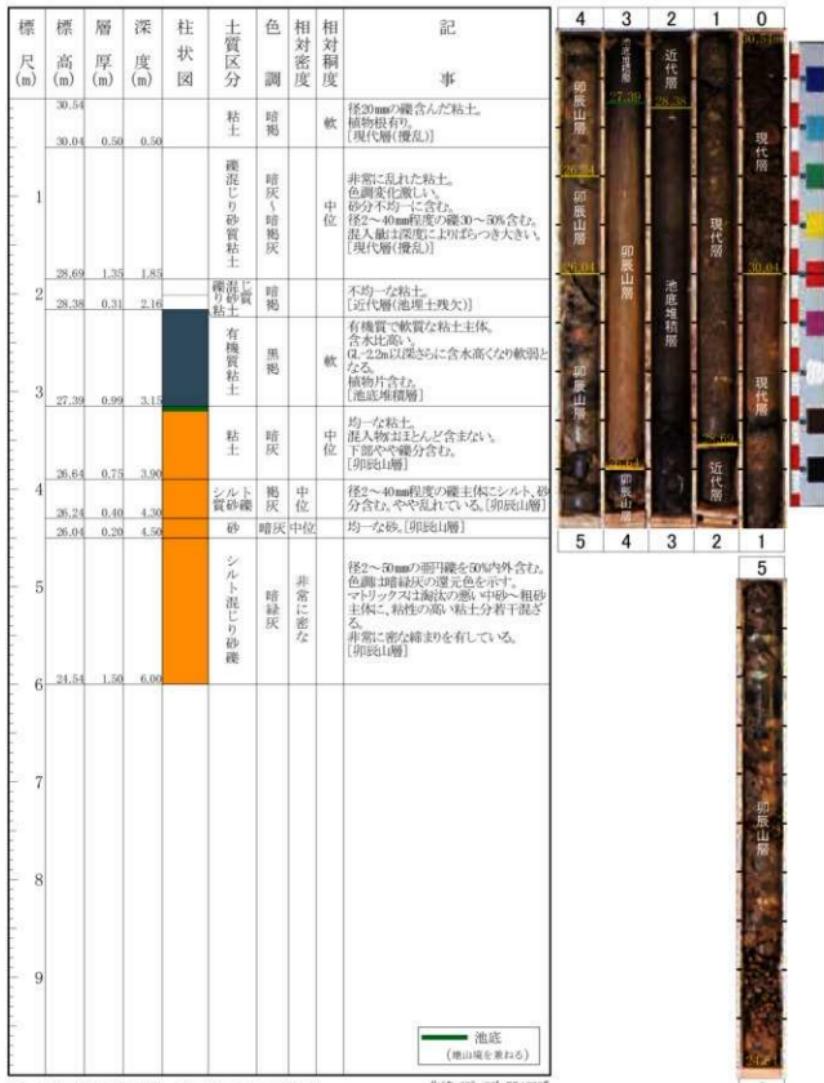


ボーリングコア柱状図 BP-83 (S = 1/50H)
[玉泉院丸中央部 紅葉橋南池]

北緯 36° 33' 55.6660"
東経 136° 39' 25.4944"

ボーリングコア写真

第 222 図 ボーリングコア詳細柱状図 89 (BP - 83 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-84 (S = 1/50H)

[玉泉院丸中央部 池 出島ー中島間]

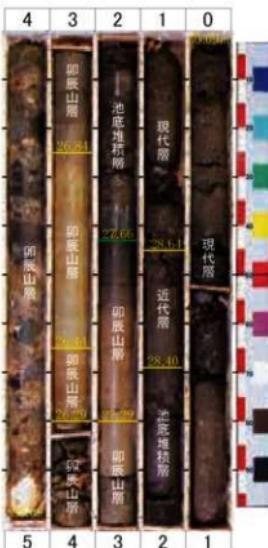
北緯 36° 33' 55.128"

東経 137° 39' 26.114"

ボーリングコア写真

第223図 ボーリングコア詳細柱状図 90 (BP-84 地点)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	30.00								
1	28.64	1.45	1.45	褐色 泥炭 シルト	黒褐色	軟	やや有機質で軟質なシルト。 [現代層(擾乱)]		
2	28.40	0.24	1.69	褐色 泥炭 粘土質 砂	黒褐色	緩	やや有機質で細まりの良い砂。 細砂・中砂主体。 砂1~2~20mm程度のものが主体。 [近代層(池底)]		
3	27.66	0.74	2.45	有機質 粘土	黒褐色	軟	含水多く軟質な有機質粘土。 砂2~若干今む。 G1~2m~2.5m付近融解む。 [池底堆積層]		
4	27.39	0.37	2.80	シルト	褐色	中位	中位程度の硬さを持つ比較的均質な シルト。 コアは棒状で採取される。 [卯辰山層]		
5	26.84	0.45	3.25	シルト質 砂	褐色	中位	中砂・細砂主体。 シルト分多く含む。 [卯辰山層]		
6	26.44	0.40	3.65	シルト	暗褐色	中位	中位程度の硬さを持つシルト。 コアは棒状で採取される。 [卯辰山層]		
7	26.29	0.15	3.80	シルト 混じり 砂礫	暗褐色	中位	細砂・中砂主体。 上部2~3シルト分多い。 [卯辰山層]		
8	25.09	1.20	5.00	シルト 混じり 砂礫	暗褐色	非常に密な	砂2~50%の前田繩を50%含む。 テクスチ角張り感。中砂・粗砂 主体。粒径が細かく、粘土分若干混ざる。 表面に碎石質へ火成岩礫に砕岩、凝 灰岩等も混じり多種に渡る。 緻密化が進みくつき線状となっている もの多く、 非常に密な締まりを有している。 [卯辰山層]		
9									



ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図 BP-85 (S = 1/50H)
【玉泉院丸南部 池 中島（大）面】

北緯 36° 33' 54.3960"
東経136° 39' 26.3360"

第224図 ボーリングコア詳細柱状図 91 (BP-85 地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土質 区分	色 調	相 対 稠 度	記 事	4	3	2	1	0	
			30.66											
1														
2														
3														
			27.23 3.43 3.43											
			26.96 0.27 3.76		砂質粘土暗灰		軟	軟質な粘土。[卯塙山層]						
4														
5														
6														
7			23.66 3.30 7.00											
8														
9														

ボーリングコア柱状図 BP-86 (S = 1/50H)

[玉泉院丸南東部 池 中島 [大] - 中間]

北緯 36° 33' 54.472"

東経 136° 39' 26.7675"



ボーリングコア写真

第 225 図 ボーリングコア詳細柱状図 92 (BP-86 地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 分 区	色 調	相 対 密 度	記 事	
								相 対 稠 度	
	35.64				粘 土	暗 褐 色	軟	植物根含んだ有機質な粘土。 [現代層(表土)]	
	35.24	0.40	0.40					含木中程度のシルト～粘土。 径30mm内外の礫分含む。 [近代層(いもり坂造成土)]	
1	34.66	0.58	0.98	褐色 シルト	暗 褐 色	軟		[近代層(いもり坂造成土)]	
	34.55	0.11	1.09	褐色 シルト	黑 褐				
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								



ボーリングコア柱状図 BP-87 (S = 1/50H)
[本丸附段西側石垣下段北裾]

北緯 36° 33' 55.0786"
東経136° 39' 27.9178"

第 226 図 ボーリングコア詳細柱状図 93 (BP - 87 地点)

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 圖	土 質 分 区	色 調	相 対 密 度	記 事
	40.56				纖混じりシルト	黒褐色	中位	径2~30mm程度の纖維混じるシルト主体。植物根糸含む。 [近代層(?)も含む]
	40.11	0.45	0.45		纖混じりシルト	灰褐色		[近世表土]
	39.86	0.25	0.70					[近世表土]
1	39.73	0.13	0.83					
	39.52	0.21	1.04	シルト質砂	褐色	中位		中砂~粗砂及びシルト主体。 径2~50mm/纖維含む。 やや乱れている。 [近世(?)層(?)]
	39.26	0.26	1.30		シルト	淡褐色		均質なシルト。 [近世表土層(?)](斜面の削れた 二次堆積、近世としては地山の可能性 が残る層)
	38.71	0.55	1.85					
2					粘土	淡灰褐色	固結した	均一な粘土。 コブは棒状で採取される。 粘性高。 [明治以前]
3				シルト混じり砂礫	灰褐色	非常に密な		径2~60mm/面凹縫を50~70%含む。 マトリックスは濁灰及び理い中砂~粗砂 主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 非常に密な締まりを有している。 [卯辰山層]
4	36.56	2.15	4.00					
5								
6								
7								
8								
9								



ボーリングコア柱状図 BP-88 (S=1/50H)
[玉泉院丸東部 東側斜面]

第227図 ボーリングコア詳細柱状図 94 (BP-88 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-89 (S=1/50H)
[玉泉院丸北西部 北西土蔵東]

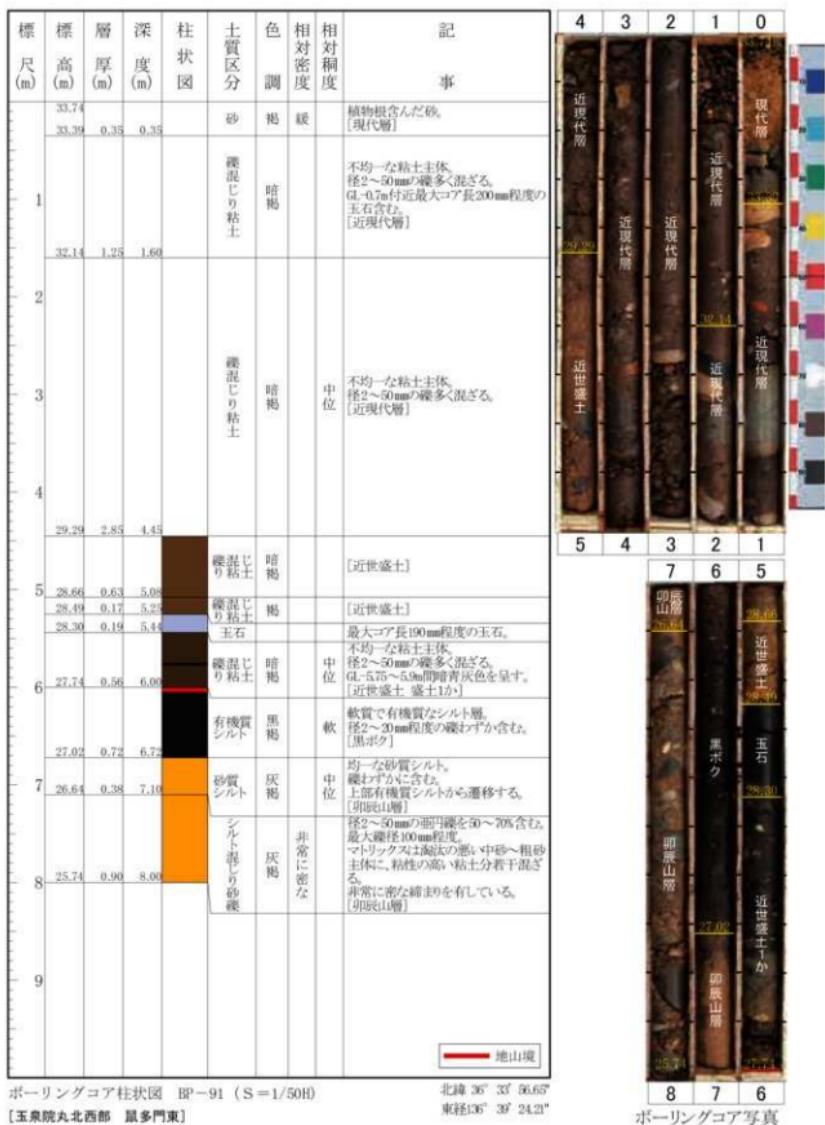
北緯 36° 33' 57.84"
東経 136° 39' 24.0"

ボーリングコア写真

第228図 ボーリングコア詳細柱状図95 (BP-89地点)



第229図 ボーリングコア詳細柱状図96(BP-90地点)



第 230 図 ボーリングコア詳細柱状図 97 (BP - 91 地点)



ボーリングコア柱状図 BP-92 (S=1/50H)
【玉泉院丸西部 南土蔵】

ボーリングコア写真

第231図 ボーリングコア詳細柱状図98(BP-92地点)

引用・参考文献

- 愛知県陶磁資料館2005『桃山陶の華麗な世界』
- 石川県1997「平成8年度地震調査研究交付金 森本断層系に関する調査成果報告書」
- 石川県金沢城・兼六園管理事務所 石川県金沢城調査研究所2012『特別名勝兼六園 萩蝶山石垣等修復工事報告書』
- 石川県金沢城調査研究所2008a『金沢城跡埋蔵文化財確認調査報告書Ⅰ』
- 石川県金沢城調査研究所2008b『戸室石切下場確認調査報告書Ⅰ』
- 石川県金沢城調査研究所2008c『絵図でみる金沢城』
- 石川県金沢城調査研究所2008d『金沢城調査研究所年報1』
- 石川県金沢城調査研究所2008e『金沢城石垣構築技術史料Ⅰ』
- 石川県金沢城調査研究所2009a『よみがえる金沢城2』
- 石川県金沢城調査研究所2009b『金沢城調査研究所在年報2』
- 石川県金沢城調査研究所2009c『金沢城跡玉泉院丸遺構確認調査報報(現地説明会資料)』
- 石川県金沢城調査研究所2010a『金沢城跡石垣修築工事報告書—玉泉院丸南西石垣—』
- 石川県金沢城調査研究所2010b『金沢城の三門一(河北門・橋爪門・石川門)』
- 石川県金沢城調査研究所2010c『金沢城跡玉泉院丸遺構確認調査報報2(現地説明会資料)』
- 石川県金沢城調査研究所2010d『金沢城調査研究所在年報3』
- 石川県金沢城調査研究所2011a『金沢城石垣構築技術史料Ⅱ』
- 石川県金沢城調査研究所2011b『金沢城跡一(河北門)』
- 石川県金沢城調査研究所2011c『金沢城跡二(ノ丸内堀・菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓Ⅰ)』
- 石川県金沢城調査研究所2011d『金沢城調査研究所在年報4』
- 石川県金沢城調査研究所2012a『金沢城跡二(ノ丸内堀・菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓Ⅱ)』
- 石川県金沢城調査研究所2012b『金沢城調査研究所在年報5』
- 石川県金沢城調査研究所2012c『城郭石垣の技術と組織』
- 石川県金沢城調査研究所2013a『戸室石切下場確認調査報告書Ⅱ』
- 石川県金沢城調査研究所2013b『金沢城調査研究所在年報6』
- 石川県金沢城調査研究所2013c『金沢城善普作事史料Ⅰ』
- 石川県金沢城調査研究所2014a『金沢城善普作事史料Ⅱ』
- 石川県金沢城調査研究所2014b『金沢城跡一(石川門付属太鼓廻)』
- 石川県金沢城調査研究所2014c『金沢城跡埋蔵文化財確認調査報告書Ⅱ』
- 石川県金沢城調査研究所2014d『金沢城調査研究所在年報7』
- 石川県教育委員会1970『金沢城二ノ丸跡発掘調査概報』
- 石川県教育委員会1979『金沢市笠原A遺跡調査報告』
- 石川県教育委員会1988『金沢市笠原舞遺跡』
- 石川県教育委員会2001『金沢城フォーラム いま甦る金沢城』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 1998『金沢城跡を掘る 1998』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 1999a『金沢城跡を掘る 1999』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 1999b『金沢城跡を掘る 1999』 vol.2
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2000『金沢城跡を掘る 2000』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2001『金沢 三社町遺跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2002a『金沢市 金沢城跡Ⅰ』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2002b『金沢市 木ノ新保遺跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2002c『金沢市 経王寺遺跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2002d『金沢市 高岡町一ツ水溜跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2002e『金沢市 前田氏(長穂系)屋敷跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2007『金沢市 三社町遺跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2008『七尾市 小島西遺跡』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2010『金沢市 金沢城跡1』
- 石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター 2012『金沢市 金沢城跡2—堂形(第3・4次調査)—』
- 石川県教育委員会・(公財)石川県埋蔵文化財センター 2014a『石川県金沢市 金沢城下町遺跡(丸の内7番地点)』
- 石川県教育委員会・(公財)石川県埋蔵文化財センター 2014b『金沢市 小立野ユミノマチ遺跡』
- 石川県教育委員会・(公財)石川県埋蔵文化財センター 2014c『金沢市 金沢城跡3—堂形(第5次調査)—』
- 石川県教育委員会文化財課1969『重要文化財金沢城 石川門・三十間長屋保存修理工事報告書』
- 石川県教育委員会文化財課2009a『いしかわ文化財ナビ』[http://www.bunkazainavi.pref.ishikawa.lg.jp/]

(2015/03/17参照)

石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2003a『年報1』

- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2004a『年報2』
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2004b『御造營方日並記』上巻
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2005a『年報3』
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2005b『御造營方日並記』下巻
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2005c『金沢城フォーラム 記録集 石垣の匠と技』
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2006a『金沢城跡II』
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2006b『よみがえる金沢城1』
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2006c『金沢東照宮(尾崎神社)の研究』
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2006d『年報4』
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2007a『年報5』
- 石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2007b『金沢城代と横山家文書の研究』
- 石川県教育委員会文化課・金沢御堂金沢城研究調査委員会1991『金沢御堂、金沢城調査報告書I』文献史料編(2分冊)
- 石川県土木部營繕課2001『金沢城公園堀跡・五十間長屋・橋爪門統轄等復元工事報告書』
- 石川県立埋蔵文化財センター1983『普正寺跡』
- 石川県立埋蔵文化財センター1987『金沢市 笠舞A遺跡(III)』
- 石川県立埋蔵文化財センター1993『元菊町遺跡』
- 石川県立埋蔵文化財センター1994『特別名勝 兼六園(江戸町推定地)発掘調査報告一附 本多家上屋敷跡試掘調査報告一』
- 石川県立埋蔵文化財センター1994『金沢城跡車輪橋門発掘調査報告書』
- 石川県立埋蔵文化財センター1997a『金沢城跡石川門前土橋(通称石川橋)発掘調査報告書I』
- 石川県立埋蔵文化財センター1997b『中戸遺跡』石川県立埋蔵文化財センター年報『第17号』
- 石川県立埋蔵文化財センター1998『金沢城跡石川門前土橋(通称石川橋)発掘調査報告書II』
- (財)石川県埋蔵文化財センター2001『年報2(平成11年度)』
- 伊藤さやか2004『金沢城跡』『石川県埋蔵文化財情報』第12号 (財)石川県埋蔵文化財センター
- 伊藤さやか2005『金沢城跡』『石川県埋蔵文化財情報』第14号 (財)石川県埋蔵文化財センター
- 福垣重之・六川啓太2006『金沢市跳子町 表面採集遺物の紹介』『石川考古』第287号
- 井上説夫1969『金沢城跡の發掘』『金沢大学金沢城学術調査委員会』
- 上野佳也1976『金沢城四十間長屋跡発掘調査概報』『日本海文化』No. 3 金沢大学法文学部日本海文化研究室
- 魚木 環2012『金沢城下町遺跡(丸の内7番地点)』『石川県埋蔵文化財情報』第27号 (財)石川県埋蔵文化財センター
- 江戸遺跡研究会2001『図説 江戸考古学研究辞典』柏書房
- (公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究所2014『大阪市文化財情報 輩火』168号
- 岡本 晃1975『金沢市笠舞B遺跡』『石川考古学研究会誌』第18号 石川考古学研究会
- 小野健吉2004『岩波 日本庭園辞典』岩波書店
- 小野正敏1985『出土陶器よりみた15-16世紀における画期の素描』『MUSEUM』416号 東京国立博物館
- 小川 望2008『燒塗壺と近世の考古学』同成社
- 小川望・小林克・両角主り編2007『考古学が語る日本の近現代』同成社
- 学習院大学史料館編2006『写真集 明治の記憶』吉川弘文館
- 加藤克郎2001『金沢城跡』石川県埋蔵文化財情報『第6号』 (財)石川県埋蔵文化財センター
- 加藤克郎2009『金沢城跡』石川県埋蔵文化財情報『第22号』 (財)石川県埋蔵文化財センター
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2002『石川県金沢市 彦三町遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003a『石川県金沢市 昭和町遺跡II』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003b『石川県金沢市 高岡町遺跡II』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003c『石川県金沢市 本町一丁目遺跡III』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003d『野田山墓地』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003e『石川県金沢市 大桑ジョウデン遺跡1』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003f『石川県金沢市 田上北遺跡・田上東遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004a『石川県金沢市 昭和町遺跡III』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004b『石川県金沢市 広坂遺跡(1丁目) I(測量図編)』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004c『石川県金沢市 久昌寺遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004d『石川県金沢市 大桑ジョウデン遺跡2』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004e『石川県金沢市 若松遺跡・田上遺跡群3-1』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005a『石川県金沢市 片町二丁目遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005b『石川県金沢市 広坂遺跡(1丁目) II(古代・中世編、測量図編2)』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005c『石川県金沢市 木ノ新保遺跡II』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005d『平成16年度 金沢市埋蔵文化財調査年報』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005e『石川県金沢市 産2丁目遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005f『石川県金沢市 田上西遺跡2』

- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006a『石川県金沢市 市内遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006b『石川県金沢市 広坂遺跡(1丁目)Ⅲ(近世編1)』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006c『石川県金沢市 本町一丁目遺跡Ⅳ』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006d『石川県金沢市 山科やなした遺跡 山科かなした遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006e『石川県金沢市 田上南遺跡1』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2007a『石川県金沢市 兼六元町遺跡 彦三町一丁目遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2007b『石川県金沢市 下堤・青草町遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2007c『石川県金沢市 広坂遺跡(1丁目)IV(近世編2)』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2008a『石川県金沢市 金沢城懇構跡I ~西外懇構跡、東内懇構跡発掘調査報告書~』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2008b『野田山・加賀藩主前田家墓所調査報告書』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2009a『平成20年度 金沢市埋蔵文化財調査年報』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2009b『辰巳用調査報告書』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2009c『石川県金沢市 広坂遺跡(1丁目)V(金沢能楽美術館地点)』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2009d『石川県金沢市 田上南遺跡2』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2010a『平成21年度 金沢市埋蔵文化財調査年報』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2010b『石川県金沢市 東山一丁目遺跡』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2011a『平成22年度 金沢市埋蔵文化財調査年報』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2011b『石川県金沢市 金沢城懇構跡II ~西内懇構跡(主計町地点)発掘調査報告書~』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2011c『石川県金沢市 金沢城懇構跡III ~西外懇構跡(武蔵町地点)発掘調査報告書~』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2011d『石川県金沢市 土清水塙研跡調査報告書』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2012a『金沢市上屋敷遺跡調査報告書』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2012b『石川県金沢市 金沢城下町遺跡(本多町三丁目地点)』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2012c『野田山・加賀八家墓所調査報告書』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2012d『石川県金沢市 金沢城懇構跡IV 金沢城下町遺跡(西外懇構跡升形地点)発掘調査報告書 遺構編』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2013a『石川県金沢市 小立野四丁目遺跡一天徳院前田家墓所一』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2013b『石川県金沢市 金沢城懇構跡V 金沢城下町遺跡(西外懇構跡升形地点)発掘調査報告書 遺物編』
- 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2014『石川県金沢市 金沢城懇構跡VI 東内懇構跡(枯木橋南地点)発掘調査報告書』
- 金沢市・金沢市教育委員会1991『瓢箪町遺跡』
- 金沢市・金沢市教育委員会1994『金沢市三小牛ハバ遺跡』
- 金沢市・金沢市教育委員会1994『金沢市本町一丁目遺跡』
- 金沢市・金沢市教育委員会1997『安江町遺跡』
- 金沢市教育委員会1989『金沢市笠舞A遺跡IV-第5・6 次発掘調査報告一』
- 金沢市教育委員会1997『金沢市本町一丁目遺跡II 鎌治原原地點』
- 金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2000a『石川県金沢市 田上本町遺跡』
- 金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2000b『石川県金沢市 田上西遺跡』
- 金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001a『金沢市醒ヶ井遺跡』
- 金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001b『金沢市昭和町遺跡I』
- 金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001c『金沢市高岡町遺跡I』
- 金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001d『石川県金沢市 笠舞A遺跡V』
- 金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001e『石川県金沢市 大桑アナグチ遺跡』
- 金沢市史編さん委員会1999「16 田上遺跡」金沢市史資料編19考古 金沢市
- 金沢市理蔵文化財センター 1998『長田町遺跡 長町遺跡 穴水町遺跡』
- 金沢市理蔵文化財センター 1999『下本多町遺跡』
- 金沢市役所1973『稿本 金澤市史』市街編第四 名著出版
- 金沢市立玉川図書館2003『温故集録』一 金沢市図書館叢書(四)
- 金沢大学金沢城学術調査委員会1967『金沢城 その自然と歴史』金沢大学生活協同組合
- 金沢大学埋蔵文化財調査センター 2000『金沢大学文化財学研究』2
- 金沢大学埋蔵文化財調査センター 2001-2002『金沢大学文化財学研究』3・4
- 金沢大学埋蔵文化財調査センター 2003『金沢大学文化財学研究』5
- 金沢御堂・金沢城調査委員会1993『金沢城跡 金沢城跡遺構実態調査概要報告書』石川県教育委員会
- 木越隆三2003「元和~寛文期の金沢城修築について」『研究紀要 金沢城研究』創刊号 金沢城研究調査室
- 木越隆三2004「金沢城全城塗絵図の編年と分類』『研究紀要 金沢城研究』第2号 金沢城研究調査室
- 木越隆三2005a「金沢城の地割図と二の丸御殿絵図』『研究紀要 金沢城研究』第3号 金沢城研究調査室
- 木越隆三2005b「金沢城下 内懇構築時期について』『陶磁器の社会史』桂書房

- 木越隆三2007「近世後期、石垣構築技術「秘伝」の形成過程」『研究紀要 金沢城研究』第5号 金沢城研究調査室
- 木越隆三2008「後藤彦三郎の石垣技術書と初期秘伝の読み方」『金沢城石垣構築技術史料 I』石川県金沢城調査研究所
- 木越隆三2013「金沢の惣構創建年次を再検証する』『日本歴史』第780号 日本歴史学会
- 北垣鶴一郎1987『石垣普請』法政大学出版局
- 北野博司1999「〔発掘余話〕金沢城跡五十間長屋出土の「鍛始」刻石」『石川県埋蔵文化財情報』第2号
(財)石川県埋蔵文化財センター
- 北野博司2000「〔発掘余話〕金沢城跡五十間長屋出土の「鍛始」刻石」『石川県埋蔵文化財情報』第3号
(財)石川県埋蔵文化財センター
- 北野博司2003「金沢城石垣の変遷 I」『研究紀要 金沢城研究』創刊号 金沢城研究調査室
- 北野博司2004「金沢城石垣の変遷 II」『研究紀要 金沢城研究』第2号 金沢城研究調査室
- 九州近世陶磁学会2000『九州陶磁の編年 九州近世陶磁学会10周年記念』
- 九州近世陶磁学会2008『江戸後期における庶民向け陶器の生産と流通(東海・北陸・甲信越編)』
- 久保智康2005「日本海城をめぐる赤瓦」『日本海城歴史体系』第四巻 近世篇 I 清文堂
- 熊谷葉月1999「金沢城跡(三の丸柵跡調査区)」『石川県埋蔵文化財情報』創刊号 (財)石川県埋蔵文化財センター
- 熊谷葉月2013「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第30号 (公財)石川県埋蔵文化財センター
- 経済企画室1969『土地分類基本調査 地形・表土地表・土じょう 金沢 5万分の1』
- 小泉 弘1987『江戸の考古学』ニューサイエンス社
- 国土地理院2002『金沢南方の段丘面編年と変動地形』『国土地理院時報』No. 99
- 小嶋芳孝1978「金沢市長坂古墳群の研究」『石川県立郷土資料館紀要』第9号 石川県立郷土資料館
- 小嶋芳孝1979「北加賀地域古墳群分布調査報告—石川県主要古墳群分布調査第3年度—』『石川考古学研究会誌』第22号
石川県考古学研究会
- 後藤純一1996「上水施設の針に関する一考察」『沙留遺跡』沙留地区遺跡調査会
- 斎藤 進1997「沙留遺跡における上水施設について」『沙留遺跡(第1分冊) —旧沙留貨物駅跡地内の調査—』
東京都埋蔵文化財センター
- 桜井準也2006『ガラス瓶の考古学』六一書房
- 佐々木達夫1980「金沢城跡の発掘—一九七九年一』『日本海文化』No. 7 金沢大学文学部日本海文化研究室
- 佐々木達夫1981「金沢城跡の発掘—1977年一』『金沢大学日本海城研究所報告』第13号
- 貞末堯司・石崎俊哉・前田清彦1986「金沢城の発掘—1981—藤右衛門丸北側法面裾部発掘報告』『金沢大学日本海城研究所
報告』第18号
- 貞末堯司・前田清彦・児玉剛1989「金沢城の発掘—1986年—黒門横北側懸屋部発掘調査報告』『日本海文化』No. 15
金沢大学文学部日本海文化研究室
- 寒川 旭1986「寛政11年(1799年)金沢地震による被害と活断層」『地震』第2輯 第39巻
- 下郷 乾1997「兼六園築庭の歴史」『特別名勝兼六園』 橋本確文堂
- 白峰 旬1998『日本近世城郭史の研究』校倉書房
- 正見 泰2006「金沢城本丸櫓群の囲面について—辰巳櫓・三階櫓の囲面類の検証—』『研究紀要 金沢城研究』第4号
金沢城研究調査室
- 庄田知充2012「金沢・城と城下町の調査成果」『考古学ジャーナル』No. 623 ニューサイエンス社
- 瀬戸 薫2000『北信愛覚書について—天正十五年の金沢城—』『加能史料研究』第12号 石川県地域史研究振興会
(財)瀬戸市文化振興財团2006『江戸時代の瀬戸・美濃・三都と名古屋—』
- (財)瀬戸市文化振興財团2011『瀬戸・美濃窯の近代—生産と流通—』
- (財)瀬戸市文化振興財團埋蔵文化財センター2007『窯跡出土の“近代陶磁”—瀬戸・美濃窯の近代1—』
- (財)瀬戸市文化振興財團埋蔵文化財センター2008『『せともの百年史—中部地方出土の近代陶磁—瀬戸・美濃窯の近代2—』
- (財)瀬戸市文化振興財團埋蔵文化財センター2009『『せともの百年史—中部地方出土の近代陶磁—瀬戸・美濃窯の近代3—』
- (財)瀬戸市文化振興財團埋蔵文化財センター2010『『関西出土の近代陶磁—瀬戸・美濃窯の近代4—』
- 瀬戸市歴史民俗資料館2002『大正2年のせともの暦』
- 千田嘉博2000『織糸城郭の形成』東京大学出版会
- 高沢裕一監修1989『加賀藩御細工所の研究(一)』金沢美術工芸大学美術工芸研究所
- 高沢裕一監修1993『加賀藩御細工所の研究(二)』金沢美術工芸大学美術工芸研究所
- 高塙勝喜編1983『加賀宮已用水—辰巳ダム関係文化財等調査報告書—』辰巳ダム関係文化財等調査団
- 田川捷一1980「金沢と尾山の地名について」『北陸史学』第29号 北陸史学会
- 龍川重徳1999「金沢城跡(本丸附段調査区)」『石川県埋蔵文化財情報』創刊号 (財)石川県埋蔵文化財センター
- 龍川重徳2000「金沢城跡(五十間長屋柵跡調査区)」『石川県埋蔵文化財情報』第3号 (財)石川県埋蔵文化財センター
- 竹間芳明1999「『金沢御堂の再考』『加能史料研究』第11号 石川県地域史研究振興会
- 田中徳英1996「宝曆大火後の金沢城再建における造営組織について」『日本建築学会計画系論文集』480号
- 田中徳英2005「金沢城二の丸御殿の用途による部屋の構成」『研究紀要 金沢城研究』第3号 金沢城研究調査室
- 田中徳英2008『加賀藩大工の研究』桂書房

- 土田友信2000「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第4号 (財)石川県埋蔵文化財センター
 出越茂和2006「金沢城五十間長塁石垣鍛冶に係る神具机について—金沢市波自彌神社所蔵神具机裏書の調査—」
 『研究紀要 金沢城研究』第4号 金沢城研究調査室
 東京大学埋蔵文化財調査室2006『東京大学埋蔵文化財調査室発掘調査報告書7 東京大学本郷構内の遺跡
 工学部14号館地盤』
 東郷正美・池田安隆・今泉俊文・澤祥・平野信一1996「森本-富権断層帯の詳細位置と活動性について」
 『活断層研究』17号
 桥木英道1998「金沢城跡」『石川県立埋蔵文化財センター年報』19号 石川県立埋蔵文化財センター
 富木町1977「富木町史 通史編」
 富田和氣夫・渋星玲美2002「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第7号 (財)石川県埋蔵文化財センター
 富山正明1993「福井県鴻狩寺遺跡出土の陶器鉢」『貿易 陶磁研究』No. 13 日本貿易陶磁研究会
 長山直治2006『兼六園を読み解く—その歴史と利用—』桂書房
 成瀬光司1997「江戸遺跡出土資料による磁器碗・皿の変遷—文様、銘款を中心に—」『東京大学構内遺跡調査研究年報1』
 東京大学埋蔵文化財調査室
 中村洋介・金幸隆・岡田篤正・竹村恵二2003「金沢市街地における河成段丘の形成時期と森本-富権断層帯野町塗堀の第四
 紀後期における上下変異速度」『活断層研究』23号
 中村洋介・宮谷淳史・岡田篤正2006「森本-富権断層における平均上下変位速度分布」『活断層研究』26号
 二宮麻里2012「江戸初期から昭和初期(1657年～1931年)の灘酒造業と東京酒問屋との取引関係の変化」
 『福岡大学商学論叢』第57巻第1・2号
 二宮麻里2013「明治期から大正期における灘酒造業-問屋依存型販売からの脱却と新興商人の酒流通への参入-」
 『福岡大学商学論叢』第57巻第3・4号
 日本海文化研究会編1976『金沢城郭史』日本海文化叢書第三巻 金沢大学法文学部日本海文化研究室
 沼田啓太郎1976「金沢市大桑町中平遺跡報告」『石川考古学研究会々誌』第19号 石川考古学研究会
 林 大賀2000「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第19号 (財)石川県埋蔵文化財センター
 日置 謙1956「改訂増補 加能郷土辞彙」北國書籍印刷
 藤 則雄1975「河岸段丘」『金沢周辺の第四系と道路』
 藤 則雄1983「辰巳用水とその周辺の自然環境」『加賀辰巳用水-辰巳ダム関係文化財等調査報告書-』
 辰巳ダム関係文化財等調査団
 藤 則雄1999「金沢城跡「百間堀」の断層とその周辺の地形」『北陸の考古学III』石川考古学研究会々誌第42号 石川考古
 学研究会
 藤澤良祐1993「瀬戸市史」陶磁史篇 四 瀬戸市史編纂委員会
 北陸中世考古学研究会2006『中世北陸のカワラケと輸入陶磁器・瀬戸美濃製品』
 堀内秀樹1997「東京大学本郷構内の遺跡における年代的考察」『東京大学構内遺跡調査研究年報1』東京大学埋蔵文化財
 調査室
 増山 仁1999「金沢城跡」『金沢市史』資料編19考古 金沢市史編さん委員会
 三浦純夫1994「金沢城本丸跡の石造遺物」『金沢大学 資料館だより』No.5 金沢大学資料館
 三浦純夫1997「金沢城御跡出土の石造遺物」『金沢大学 資料館だより』No.9 金沢大学資料館
 三浦ゆかり1999「金沢城跡いもり坂発掘調査」『石川県埋蔵文化財情報』第2号 (財)石川県埋蔵文化財センター
 見瀬和雄2000「金沢城の創建と前田利家」『石川県史』第39号 石川県立図書館史料編さん室
 渋星玲美・土田友信2001「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第5号 (財)石川県埋蔵文化財センター
 渋星玲美・土田友信他2001「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第6号 (財)石川県埋蔵文化財センター
 森 義1994「16世紀後半から17世紀初頭の陶磁器」『難波宮址の研究』第1号 (財)大阪市文化財協会
 森島康雄2003「中世末から近世初頭の土器・陶磁器」『日本考古学協会2003年滋賀大会資料集』日本考古学協会2003年滋賀
 大会実行委員会
 文部科学省研究開発局地震・防災研究課 地震調査研究推進本部地震調査委員会2014『森本・富権断層帯の長期評価(一部
 改訂)』[http://www.jishin.go.jp/main/p_hyoka02_danso.htm#57] (2015/03/13参照)
 谷口明伸・増山 仁2004「前田土佐守家の下屋敷と醒ヶ井遺跡」『研究紀要』第1号 (財)金沢文化振興財団
 吉岡康暢1985「金沢城の発掘」『金沢城と前田氏領内の諸城』日本城郭史研究叢書 第五巻 名著出版
 吉田純一2003「金沢城の『三階御櫓』」『研究紀要 金沢城研究』創刊号 金沢城研究調査室

報告書抄録

ふりがな	かなざわじょうあと 一ぎょくせんいんまるていえんいちー							
書名	金沢城跡 一玉泉院丸庭園Ⅰー							
副書名	金沢城史料叢書24							
シリーズ名	金沢城公園整備事業に係る埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	8							
編著者名	安中玲美、富田和気夫、増永佑介、本田秀生、石野友康、藤根 久、鈴木 茂、森 将志、佐々木由香、パンダリ スダルシャン、黒沼保子							
編集機関	石川県金沢城調査研究所							
所在地	〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5							
発行年月日	平成27年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″		(m ²)	
かなざわじょうあと 金沢城跡	いしかわけん 石川県 かなざわじょうあと 金沢市丸の内	01	01215	36°	136°	20081001～ 20081212	23	活用目的 調査
				33'	39'	20090511～ 20091222	600	
				58"	35"	20090630～ 20130830 (ボーリング 調査等)		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
金沢城跡	城館	近世	石垣、堀、池、土坑、ピット等	陶磁器、瓦、石製品、金属製品、木製品				
要約	<p>金沢城跡玉泉院丸の整備計画策定の基礎資料とするため、藩政期に存在した庭園遺構の範囲・内容・保存状態等の確認を目的に、発掘調査等を実施した。本書では平成20・21年度(第1～3地点)の発掘調査結果と、主に平成21～25年度に行われたボーリング調査結果等を報告した。</p> <p>玉泉院丸北部の第1地点では、池跡、東岸の石垣根石、作庭以前の堀跡等の一部を確認し、玉泉院丸北部の池が作庭以前の堀を利用し構築されたこと、東岸の石垣が作庭時に構築されたこと等が明らかになった。</p> <p>玉泉院丸西部の第2地点・第3地点では、池跡、護岸の石垣、中島(大)、出島、作庭以前の溝等の一部を確認し、玉泉院丸西部の池が作庭以前の盛土や地山を掘り削り造成されたこと、池の造成に伴い中島(大)や出島を削り出していったことが明らかになった。</p> <p>ボーリング調査では、玉泉院丸全城の旧地形や金沢城初期の堀、池の広がりや変遷等を確認した。</p>							

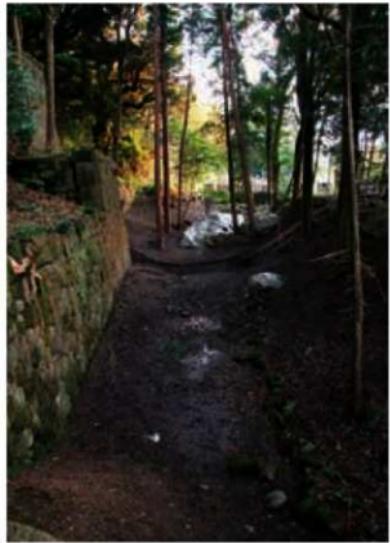


全景（東から）

写真図版1 第1地点 全景（1）



西斜面～東石垣全景(垂直写真)



遠景（北から）



全景（東から）

写真図版2 第1地点 全景（2）



調査着手前（東から）



調査着手前（南西から）



第1地点北 斜面上端石組み暗渠（東から）



第1地点北 斜面裾（南東から）



調査区東部石垣群（北西から）



作業風景（東から）

写真図版3 第1地点 周辺の遺構



西端 北壁土層断面（南から）



西斜面 北壁土層断面（南から）



西斜面檐～東部 北壁土層断面（南から）



東部 南壁土層断面
石垣前面整地層・堀底堆積層（北から）



東部 池底堆積層 瓦質土器出土状況（北西から）



東部 北壁詳細土層断面（南から）

写真図版4 第1地点 庭園造成土、池



石垣前面整地土層（西から）



東部 石垣前面整地土層・No.102土層断面
下は堤底堆積層（西から）



東部 石垣前面整地土層・No.102土層断面（南から）



No.101（北西から）

写真図版5 第1地点 石垣前面整地



石垣2段目以上検出状況（北西から）



角石（南西から）



角石4-7（南西から）



角石4-7（西から）

写真図版6 第1地点 石垣（1）



角石 4-7 前面 戸室チップ検出状況（西から）



角石 4-7 前面 戸室チップ（隅角部片）（北西から）



石 1-1 前面 2dE4 整地層出土戸室チップ（西から）



2段目・3段目間（西から）



石 1-1・1-2（西から）



石 1-1 前面整地層、堀底堆積層（西から）

写真図版7 第1地点 石垣（2）



石4-1（6期）



石4-2（6期）



石4-3（6期）



石4-4（5期）



石4-5（5期）



石4-6（5期）



石4-7（角石5期）



写真図版8 第1地点 石垣（3）



石3-1（5期）



石3-2（5期）



石2-1（5期）



石2-2（5期）



石2-3（5期）



石1-1（根石 4期）



石1-2（根石 4期）



写真図版9 第1地点 石垣（4）



円礎遺構遠景（東から）



円礎遺構（東から）



円礎遺構（東から）

写真図版 10 第 1 地点 下層遺構（1）



堀東部（南西から）



堀東部（西から）



堀西岸（東から）



堀西岸（北東から）

写真図版 11 第 1 地点 下層遺構（2）



石垣抜取跡・池・中島（西から）



中島・池・石垣(抜取跡)（東から）

写真図版 12 第2地点 全景



中島上の跡全景（西から）



跡周辺の土層



跡の暗渠検出状況（西から）



跡の堆積状況（北から）



跡の堆積状況（南から）



跡全景（北から）



跡の堆積状況（北から）



底の断面（北側）

写真図版 13 第2地点 近代遺構、池



陶磁器等出土状況（北から）



陶磁器等出土層位（西から）



石鉢等出土状況（東から）



石鉢出土層位（南から）



円筒形石製品出土状況（北から）



円筒形石製品出土層位



木葉石検出状況（西から）



木葉石出土層位（南から）

写真図版 14 第2地点 遺物出土状況



中島上面全景（北西から）



中島斜面全景（西から）

写真図版 15 第 2 地点 中島（1）



中島上面1（南から）



中島上面2（南から）

写真図版 16 第2地点 中島（2）



中島斜面 1 (南から)



中島斜面 2 (南から)

写真図版 17 第 2 地点 中島 (3)



石組抜取跡 No. 228、229、233（北から）



石組抜取跡 No. 228、229、233（西から）



No. 233 付近の土層（南西から）



中島裾の土層とNo.240（南から）



中島斜面の土層（北西から）



No.232 付近（北から）



No. 250 付近（北から）



No. 242 付近（北から）

写真図版 18 第2地点 中島（4）



石垣 SW6011E 全景（東から）



検出状況 全景（東から）



検出状況 南壁付近



南壁付近の抜取跡埋土と裏込め残欠



土層堆積 北壁付近

写真図版 19 第2地点 石垣周辺（1）



石垣 SW6011E の裏込めと胴木、裾の砂利敷き（南から）



胴木検出状況



胴木検出状況



胴木拡大



胴木拡大

写真図版 20 第 2 地点 石垣周辺（2）



石垣 SW6011E の裏込めと胴木、裾の砂利敷き（西から）



砂利敷拡大（南）



砂利敷拡大（北）



砂利敷層の断面（南壁）



砂利敷層と直下の戸室碎石層（南壁）

写真図版 21 第2地点 石垣周辺（3）



下層遺構 No. 245 (左)、No. 246 (右)



No. 245 検出状況（西から）



石垣抜取時の掘り込みと石垣の裏込め（南壁）



No. 245 埋土中の礎（東から）



No. 245 埋土中の礎（南から）

写真図版 22 第 2 地点 下層遺構 (1)



下層遺構No.245 全景



No. 245 と上層盛土（北から）



No. 245 と上層盛土（東から）



No. 245 と上層盛土（南から）



No. 245 全景（南から）

写真図版 23 第2地点 下層遺構（2）



下層遺構Na246 全景



No. 246 埋土断面（東から）



No. 246 西部の検出状況（東から）



No. 246（左）とNa245（右）



No. 246 西部の埋土断面（西から）

写真図版24 第2地点 下層遺構（3）



護岸石垣・池・出島（西から）



出島・池・護岸石垣（東から）

写真図版 25 第3地点 全景



池埋立時の轍痕（北東から）



池埋立時の轍痕と整地層（西から）



池の埋土堆積状況（南から）



出島南側の埋土堆積状況（西から）



池跡の堆積状況（北から）



池跡の堆積状況と暗渠の断面（北から）



池底の粘土堆積状況（北から）



池底の断ち割り（西から）

写真図版 26 第3地点 近代遺構、池



出島全景（西から）



出島全景（南西から）

写真図版 27 第 3 地点 出島（1）



景石 S 1 全景（西から）



景石 S 1 検出状況（南から）



景石 S 1 （北西から）



景石 S 1 （南西から）



穿孔貝の生痕



景石S 1と周囲の遺構（北から）



景石S 1基底部（西から）



景石S 1基底部（南から）



景石掘方等 No. 313、314、310（西から）



景石抜取跡No.317（北から）

写真図版 29 第3地点 出島（3）



石組根固め No. 308 全景（南から）



No. 308 検出状況（南から）



No. 308 北部（北から）



No. 306 と S 2（南から）



S 2（南西から）

写真図版 30 第3地点 出島（4）



石垣全景（東から）



石垣全景（北東から）

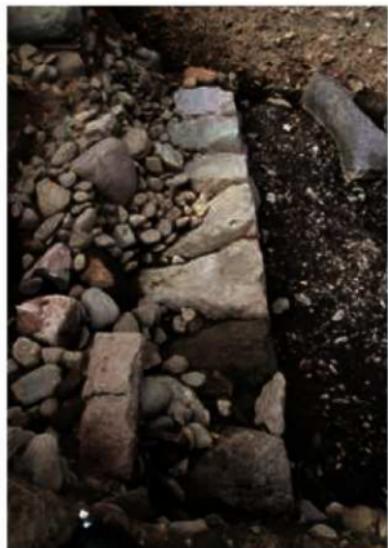
写真図版 31 第 3 地点 石垣（1）



上段の裏込め検出状況（東から）



上段裏込めの礫組成（西から）



築石と裏込め（南から）



築石と裏込め（北から）



石垣北端の背面整地状況（サブトレ南壁）



石垣北端の背面整地状況（サブトレ北壁）

写真図版 32 第3地点 石垣（2）



S 8 正面



S 8 背面



S 8、S 9 間の詰石



詰石の背面



S 9 正面



S 9 背面



S 10 正面



S 10 背面

写真図版 33 第3地点 石垣 (3)



S11 正面



S11 背面



S12 正面



S12 背面



S13 正面



S13 背面



S14 正面



S14 背面

写真図版 34 第 3 地点 石垣 (4)



写真図版 35 第3地点 埋穂 No.318 (1)



埋植 No. 318 全景（南から）



埋植 No. 318 全景（西から）



検出状況（東から）

写真図版 36 第 3 地点 埋植 No.318 (2)



西に傾斜する黒褐色の下層盛土（南東から）



埋柵掘方の南壁で検出した黒褐色の下層盛土

写真図版 37 第3地点 下層盛土



出島上面で検出した下層遺構No.303、304（北から）



下層遺構No.303、304（北西から）



下層遺構No.303 埋土中の礫（北から）



下層遺構 No. 304、309（南から）

写真図版 38 第3地点 下層遺構



200906-B001 P1



200906-B005 P2



200906-B003 P3



200906-B004 P8



200906-B007 P4



200806-B004 P5



200906-B008 P6



200806-B001 P7



200906-B011 P9



写真図版 39 出土遺物 土器・陶磁器（1）



200806-D026 P12



200806-D012 P10

200806-D010 P11



200906-D025

P14



200806-D001

P16



200806-B003 P15

写真図版 40 出土遺物 土器・陶磁器（2）



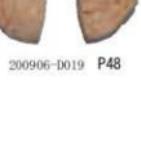
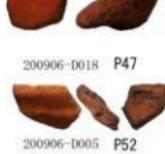
写真図版41 出土遺物 土器・陶磁器（3）



200906-D008 P36



200906-D013 P43



200906-D015 P50

200906-D017 P51



200906-D014 P44

200906-D005 P52

200906-D019 P48

200906-D018 P47

200906-D023 P46

200906-D004 P45

200906-D012 P41

200906-D009 P38

200906-D002 P37

200906-D010 P39

200906-B015 P55

200906-B017 P56

200906-B014 P57

200906-B013 P53



200906-B016 P54



200906-B015 P55

200906-B014 P57

写真図版 42 出土遺物 土器・陶磁器（4）



写真図版43 出土遺物 土器・陶磁器（5）



200906-D042 P75



200906-B058 P76



200906-B046 P77



200906-B043 P78



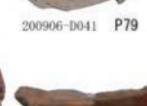
200906-D046 P80



200906-D043 P81



200906-D041 P79



200906-D040 P82



200906-D038 P84



200906-D037 P83



200906-D045 P85

写真図版 44 出土遺物 土器・陶磁器（6）



200906-B029 P86



200906-B025 P87

.



200906-B026 P88



200906-B027 P89



200906-B028 P90



200906-D065 P91



200906-D039 P93



200906-B059 P94



200906-D055 P92



200906-D053 P97



200906-D032 P95



200906-B031 P96

写真図版45 出土遺物 土器・陶磁器(7)



200906-D048 P98



200906-D068 P99



200906-D036 P100



200906-B024 P101



200906-B057 P102



200906-B020 P103



200906-B030 P106



200906-D050 P104



200906-B037 P107



200906-D051 P105

写真図版 46 出土遺物 土器・陶磁器（8）



200906-B038 P108



200906-B036 P109



200906-B023 P110



200906-B032 P111



200906-D062 P114



200906-B033 P112



200906-B039 P115



写真図版47 出土遺物 土器・陶磁器（9）



200906-B060 P118



200906-D060 P119



200906-B057 P120



200906-D052 P121



200906-B034 P122



200906-B042 P123



200906-B042 P123

200906-B042 P123

200906-B042 P123



200906-D061 P124

200906-D035 P125

200906-D064 P126

写真図版 48 出土遺物 土器・陶磁器 (10)



200906-D056 P127



200906-D058 P128



200906-D054 P129



200906-B061 P130



200906-B022 P131



200906-B021 P132

写真図版 49 出土遺物 土器・陶磁器 (11)



200906-D066 P133



200906-B019 P134



200906-B041 P135



200906-D028 P137



200906-B055 P139



200906-B040 P136



200906-B053 P140



200906-B052 P141



200906-D072 P142



200906-D073 P143



200906-B054 P144



P144



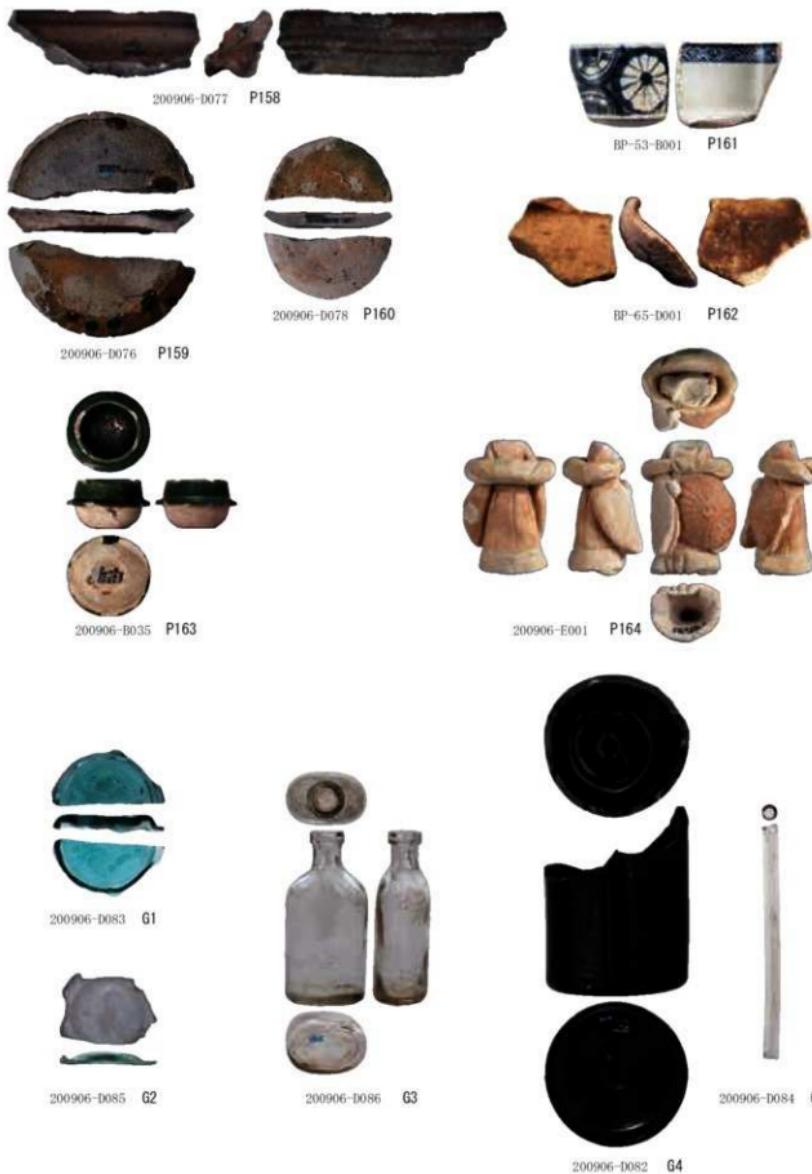
200906-D074 P145



写真図版 50 出土遺物 土器・陶磁器 (12)



写真図版51 出土遺物 土器・陶磁器(13)



写真図版 52 出土遺物 土器・陶磁器・ガラス (14)



200906-D092 T1



200906-D098 T3



200906-D111 T4



200906-D107 T5



200906-D096 T2



200906-D091 T6



200906-D113 T7



200906-D109 T9



200906-D100 T8



200806-D014 T10



200906-D088 T11



200906-D022 T12

写真図版 53 出土遺物 瓦 (1)



写真図版 54 出土遺物 瓦（2）



200906-D114 T22



200906-D110 T23



200906-D116 T24



200906-D105 T25



200906-D089 T26



200906-D087 T27



200906-D101 T29



200906-D095 T28



200906-D102 T30



200906-D115 T31



200906-D104 T32

写真図版 55 出土遺物 瓦 (3)



写真図版 56 出土遺物 石製品（1）



200906-S003

S8



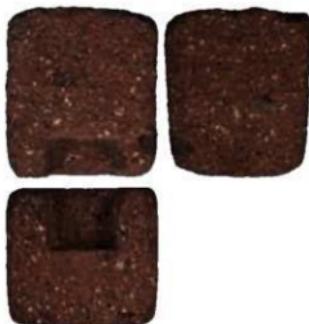
200906-S004

S9



200906-S021

S10



200906-S007

S11



200906-S001

S12

写真図版 57 出土遺物 石製品（2）



200906-S002 S13



200906-S020 S14



200906-S017 S15



200906-S016 S16

写真図版 58 出土遺物 石製品 (3)



200906-S012 S17



200906-S015 S18



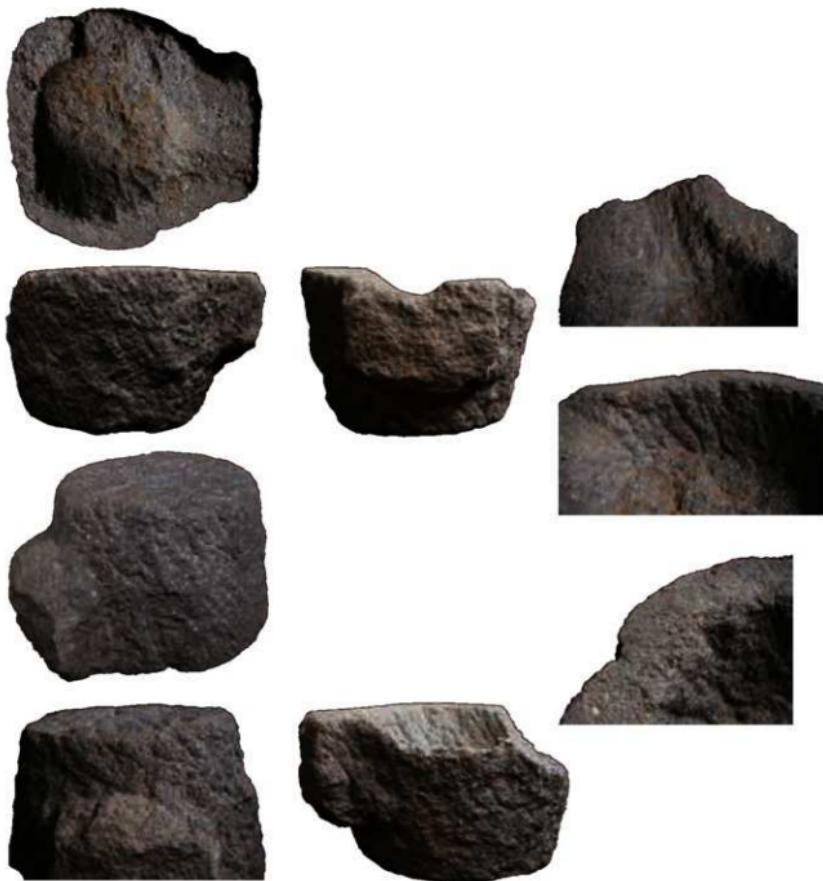
200906-S014 S19

写真図版 59 出土遺物 石製品 (4)



20906-S013 S20

写真図版 60 出土遺物 石製品（5）



200906-5009 S21

写真図版 61 出土遺物 石製品（6）



200906-S010 S22



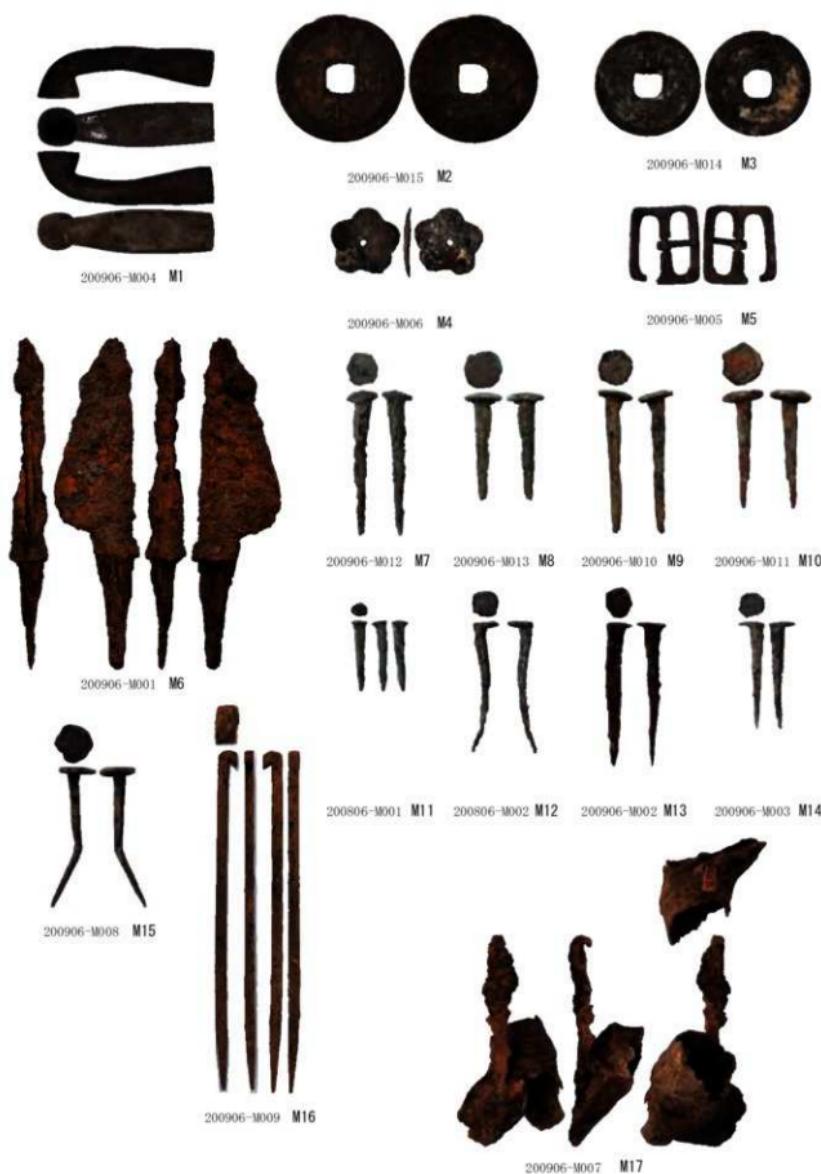
200906-S008 S24



200906-S011 S23



写真図版 62 出土遺物 石製品 (7)



写真図版 63 出土遺物 金属



200906-W001 W1



200906-W004 W2



200906-W003 W3



200906-W005 W4



200906-W002 W6



200906-W006 W7



200906-W007 W5

金沢城史料叢書 24
金沢城公園整備事業に係る埋蔵文化財調査報告書8

金 沢 城 跡
－玉泉院丸庭園 I －

平成 27 年（2015）3 月 31 日 発行

編集・発行 石川県金沢城調査研究所

〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5
電話 076 (223) 9696 FAX 076 (223) 9697
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/bunkazai/kanazawazyo/index.html>
メールアドレス kncastle@pref.ishikawa.lg.jp

印 刷 能登印刷株式会社

